

大阪方言 2000 文^{*}

福盛 貴弘[†]

キーワード：大阪方言、日本語 2000 文、フランス語 2000 文

1 はじめに

本稿は、『*Le livre des deux milles phrases* (フランス語 2000 文)』(Frei 1953) の翻訳版である『日本語二千文』を筆者の母方言である大阪方言に翻訳したものである¹。『*Le livre des deux milles phrases*』は、2000 の語彙項目²を見出しとし、その見出し語に対する例文を示した文の辞典である。語彙間だけでなく、文脈をふまえた差異を示そうという試みであり、その文例が他言語に翻訳されれば、言語間の差異も検証できるだろうという趣旨で刊行された。ヨーロッパではいくつかの言語で翻訳されたが、それ以外の地域での翻訳がなかなかされない中、『日本語二千文』はその趣旨にのっとり、早稲田大学語学教育研究所によって 1971 年に翻訳されたものである。日本

^{*} 本研究は、科学研究費基盤研究(C) (課題番号 26370458) の助成を受けている。

[†] 大東文化大学外国語学部

¹ 本稿を作成した背景を若干述べておく。2012 年 2 月に脳炎を発症した筆者は言語障害を患った。6 月ごろにアクセントやイントネーションは大阪方言であるが、大阪方言の語形が出てこず、共通語の語形のみで話す第一言語喪失に近い症状があらわれた。そこで、自身で考えたリハビリが『日本語二千文』を大阪方言に翻訳する作業であった。これを続けたおかげで、第一言語喪失は比較的短期間で解消された。アンリ・フレも、まさかりハビリに使われるとは思っていなかっただろう。その時の成果を手元に置いておいただけだともったいなく感じ、広く利用してもらおうという思いから公刊にいたった。なお、大阪方言の例文については、その後現在に至るまでに何度か修正を加えている。

データ入力、校正、修正については、池田彩子氏、竹石絵梨氏、岸幸恵氏、児玉奈月氏の協力を仰いだ。この場を借りてお礼申し上げる。

² どの程度あれば対照研究の基盤になるであろうかを考え、コンピュータが発達していない当時としては、ひとまず 2000 文あれば検証しやすいであろうという想定でできあがった。よって、2000 という数字にそれ以上の意味はない。

国内では、『徳之島方言二千文辞典』が 2006 年に刊行されたが、管見の及ぶ限り、他の方言で公刊されたものはないと思われる。

電子機器の発展で大容量コーパスが主流となる中、筆者が 2000 文コーパスを選んだのは、同一の基準での文例に対する翻訳となるため、方言間の対照がしやすいからである。そして、大容量コーパスが整っていない方言での 2000 文コーパスが作成された場合に、対照できる素材が東京方言をもとにした共通語だけでなく大阪方言もある方がいいのではと考えたからである。

大阪方言といっても種々の変異があるが、筆者の言語形成地は大阪市城東区であり、摂津方言を基本とした大阪方言で話している。生まれは 1970 年である。20 代以降は大阪には住んでいないが、日常生活で共通語はほとんど用いていない。共通語の代わりに用いている「よそいきの大阪弁³」と「大阪弁」のスイッチングはできる⁴。本稿で示すのは、こういった言語背景で作成した、筆者の個人語としての大阪方言による方言コーパスである。

2 方針

表記については、漢字かなまじりの共通語表記を用いた。ローマ字表記、IPA 表記、アクセント表示などについては、今後予定しているが、本稿ではひとまず翻訳した文を列記することにした。

また、アクセントやイントネーションは異なるが、形式として共通語と同じような表現をする場合もあるが、そうとしか言えない、そういった方が自然だと判断したものについてはそのまま示し、大阪方言で言える例については共通語の文例は一部を除いて載せない方針をとった。なお、差別語や卑罵語として扱われている語彙に関しては、必ずしも不適切な表現として排除しておらず、それぞれの語彙に対して逐語訳あるいは意識を行なっている。原文の差別語や卑罵語はそのまま掲載している。

³ 筆者の用語としての「よそいきの大阪弁」は、イントネーションがやや共通語寄りで話している大阪方言のことを意味する。

⁴ ただし、他のいわゆる関西弁の影響を受けていない純粋方言ではないことは容易に推測できる。そういう純粋方言が現在において存在するかどうかは不明である。

ついで、記号の凡例を示す。()でくくった語はあってもなくてもいいが、ない方が自然な用例である。{ / }でくくった部分は、例えば{生まれた/ できた}であれば、「生まれた」でも「できた」でもどちらでもかまわないという場合にそのように示した。部分的にはなく、文全体でどちらでもいい場合は、// で区切った。一はその後に会話が続く時に示している(原文ママ)。

配列は『日本語二千文』と同様で、『日本語二千文』の例文は J1、J2……、『大阪方言 2000 文』の例文は O1、O2……といったように番号を付して示す。

3 2000 文一覧

以降のページで、文例一覧を示していく。

A.人間

I.からだ

1.頭・顔

- J1. 頭の上から日がかんかん照りつけている。
 O1. 頭の上から日がガンガン照りつけてる⁵。
 J2. 髪の毛がちぢれている。
 O2. 髪の毛(が)ちぢれてる。⁶
 J3. あの人の頭のとっぺんは髪の毛が薄いね。
 O3. あの人の頭のとっぺん(は)髪の毛が薄いな。
 J4. おでこをなぐられた。
 O4. でこ(を)なぐられた。
 J5. 顔がしわくちやだ。
 O5. 顔がしわくちやや。
 J6. 顔色がよくなった。
 O6. 顔色(が)よくなったわ。
 J7. あんまりこわくて、顔がまっさおになった。
 O7. あんまり{こわいから/ こわーて}、かおが{あおー/ まっさおに}な
 ったわ。
 J8. このカラーはきつくて、首が窮屈だ。
 O8. このカラーきついで、首が窮屈や。

⁵ 「かんかん照り」は分かるが「かんかん照りつける」が分からない。

⁶ 査読者から「が」の省略に関する質問があった。「髪の毛がちぢれている」の方が、この文例では自然である。自身や身近な二人称のことではなく、第三者のことを客観的に叙述している感じがしたので、そういう場合には「が」があった方が適切だと判断した。くだけた表現では言えなくはないので、省略可とした。「が」「は」「を」は基本的には省略してもしなくても言うことはできるが、用法が異なると考えられる。また、それがあった方が言語リズムとして落ち着きがいいと思った時に、省略していないことがある。本稿において、これらの格の記述についてはゆれがある。この問題については、改めて別の機会にその観点から全ての例文を再検証することにする。

2.目

- J9. とくにきれいなのは目だね。
O9. とくにきれいのんは目やな。
J10. 何も見えない。
O10. なんにもみえへん。
J11. ほうぼう見たけど、見当たらなかった。
O11. あっちこっちみたけど、見当たらへんかった。
J12. うわあ、人がじろじろこっちを見てるよ。
O12. うわあ、人がじろじろこっち見てるわ。
J13. 絵はがきを見せてください。
O13. 絵はがき見せてくれへん。
J14. 展覧会はもう始まっているよ。
O14. 展覧会、もう始まっているで。
J15. 視力が衰え始めた。
O15. {目/ 視力}、悪なってきた。
J16. あの人は目がいいね。
O16. あいつ、目一ええなあ。
J17. 目があまりよくないんです。
O17. 目一、あんまりよくないんで。
J18. めがねなしで読めます。
O18. めがねのうても読める。
J19. このごろ近眼がずいぶんふえた。
O19. 最近近眼のやつけっこう増えた。
J20. あの人は盲です。
O20. {あの人/ あいつ}、{目一見えへんねんて/ めくらや}。// あの子は視覚障害者です。

3.耳

- J21. 耳がつめたい。
O21. 耳、冷たい。
J22. (A)何も聞こえないよ。—

- O22. (A)なんも聞こえへんで。 —
 J23. (B)よく耳を澄ませば聞こえるよ。 —
 O23. (B)耳すましてみいや、聞こえるから。
 J24. あの人は耳が聞こえないんです。
 O24. あの人は耳聞こえへんねんで。
 J25. 耳が遠いんです。
 O25. 耳遠いんで。
 J26. かなつんぼだ。
 O26. {聴覚障害者 / 耳聞こえん人 / 耳悪い人 / つんぼ}や。

4.鼻

- J27. ほら、はなが出てるよ。
 O27. おい、鼻出てるぞ。
 J28. (A)何もにおわないよ。 —
 O28. (A)何もにおわんぞ。 —
 J29. (B)鼻のきかないやつだな。
 O29. (B){鼻悪い / 鼻きけへん}やっちゃな。
 J30. さあ、はなをかんで。
 O30. ほら、鼻{かみいや / かんで}。
 J31. おかげでくしゃみが出た。
 O31. ありがとう。くしゃみ出たわ。

5.口

- J32. 口をちゃんと閉じてなさい。
 O32. ちゃんと口閉じとけや。
 J33. くちびるがかさかさになっちゃった。
 O33. 唇かさかさになってしもた。
 J34. 舌をやけどした。
 O34. 舌やけどした。
 J35. このお菓子はレモンの味がする。
 O35. このお菓子、レモンの味する。

- J36. ちょっとこのコーヒーを味わってごらん。
 O36. ちょーちょー、このコーヒー飲んでみ / 味わってみ。
 J37. きのうちを 1 本抜いてもらった。
 O37. 昨日歯ー1 本抜いても一た。
 J38. この歯は虫歯になってる。
 O38. この歯ー虫歯になってる。
 J39. お茶を吹いてさまそうっと。
 O39. {お茶 / お茶熱いし}、{息吹いて / ふーふーして}さまそうや。
 J40. のどが痛くてものがのみ込めない。
 O40. のど痛いから、{もののみこまれへん/ もの食われへん}。

6. 飲食

- J41. こんなもの、食べられないよ！
 O41. こんなん{食べられへん/ 食われへん}で。
 J42. 何か飲み物をください。
 O42. なんかのみもんちょうだい。
 J43. おなかがすいた。
 O43. 腹へった。
 J44. (A)のどがかわいた。—(B)ぼくもだ。
 O44. (A)のどかわいた。—(B)おれも。
 J45. 食欲がないんです。
 O45. 食欲ないわー。// なんも食いたないわ。
 J46. おなかが減ってるわけじゃないんだけど、ぼくは食いしんぼうなんでね。
 O46. 腹減ってるわけやないんやけど、{よう/ ぎょうさん}食うからなあ。
 J47. なかなか口の肥えた人だね。
 O47. 割と舌が肥えた人やな。

7. 胴

- J48. からだつきがいい。
 O48. からだつきがええ。//からだつきええわあ。

- J49. わきっ腹にけがをした。
O49. わき腹けがした。
J50. 背中を痛めた。
O50. 背中痛めた。
J51. 胸に十字架をさげている。
O51. 胸に十字架さげてる。
J52. からだは弱っているが、内臓器官はまだじょうぶです。
O52. からだ弱ってるけど、内臓は丈夫やで。
J53. あの人は心臓が悪い。
O53. あの、人、心臓悪いんちゃうの。
J54. 右の肺がどうにかなってる。
O54. 右の肺、どないかなってる。
J55. とても息苦しそうだった。
O55. めっちゃ息苦しそうやわ。
J56. 胃が痛む。
O56. 胃一痛い。
J57. おなかが痛い。
O57. おなか痛い。

8.手

- J58. 手足が棒のようになった。
O58. 手足が棒みたい。
J59. わたしの腕にさわった。
O59. わたしの腕にさわった。
J60. 肩車をしてやった。
O60. 肩車したった。
J61. [腕時計のバンド]これはきつすぎる。
O61. これはきつすぎる。
J62. テーブルにひじをつくんじゃありません。
O62. テーブルにひじをつくな。
J63. 手がインクだらけだ。早く洗っておいで。

- O63. 手—インクだらけやないか。はよあろてこい。
 J64. 指をくわえてこっちをじろじろ見ていた。
 O64. 指くわえてこっちじろじろ見てるわ。
 J65. [子どものけが]今度は親指だね！
 O65. 今度は親指やな。
 J66. 人さし指をなくしたんだ。不自由だろうね。
 O66. 人さし指なくしたんや。{大変/ 不自由}やろな。
 J67. 不潔だね。そんなにつめを伸ばして！
 O67. 不潔やな。そこまで爪伸ばすか。
 J68. 機械にさわってはいけません。
 O68. 機械に{さわったらあかん/ さわるな}。
 J69. [道路の横断] 手をつないで渡りましょう。
 O69. 手一つないで渡りや。
 J70. わたしの腕をつかんだ。
 O70. わたしの腕をつかんだ。⁷
 J71. 気をつけて持っていてください。
 O71. 気一つけて持っててや。
 J72. 手を放してくださいよ。
 O72. 手—放してくれや。
 J73. (A)ボールを投げて！—
 O73. (A)ボール投げて。—
 J74. (B)そら行くぞ！
 O74. (B)ほな、行くぞ。

9.足

- J75. あの女、足が短いね。
 O75. あの女、足短いなあ。

⁷ 査読者から「わたしの腕つかんだ」は言えないのかという質問があった。「私の腕つかんだ」と言えないことはないが、「私の腕つかまれた」あるいは「私の腕つかんできおった」といったように、より主観的にとらえられる場面の方が省略しやすい。ここでは J70 が客観的な叙述だと解釈したので、「を」を残している。

- J76. くつずれができちゃった。
 O76. くつずれできてしもた。
 J77. ひざを痛めた。
 O77. ひざ{やられた/ 痛めた}。
 J78. ももの骨を折った。
 O78. 太ももの骨折った。
 J79. どうぞお掛けください。
 O79. まあ、座ってください。
 J80. 立っているよりすわっているほうが疲れることもある。
 O80. 立ってるより座ってるほうが疲れることもあるなあ。
 J81. ソファーに寝そべっている。
 O81. ソファーに寝そべってる。
 J82. そら、立って！
 O82. はい、立って！
 J83. あんまり長く立っていたので、くたびれちゃった。
 O83. けっこう長く立ってたんで、疲れてしもた。
 J84. わたしたちはずいぶん歩きました。
 O84. おれら、だいぶ歩いた。 / わたしたちはだいぶ歩きました。
 J85. もう 1 歩も動けないよ。
 O85. もう 1 歩も動かれへん。
 J86. みんながどっとやってきた。
 O86. みんなどっときた。
 J87. [犬]さくをとび越えた。
 O87. 柵をとび越えた。

10. 血・肉・骨

- J88. あの人のはだが黒いね。
 O88. あの人(のはだ)、黒いなあ。
 J89. たまは体内に残った。
 O89. たま(は)、{身体 / 体内}に残った。
 J90. きみの腕、すばらしい筋肉だなあ！

- O90. お前の腕、すごい筋肉やなあ！
J91. [歯医者] 神経を抜いてしまったほうがいいでしょう。
O91. 神経抜いたほうがええんやないの。
J92. 包帯に血がにじんでいる。
O92. 包帯に血一にじんでるわ。
J93. 血管がずいぶん出ているね。
O93. 血管浮きあがってるな。
J94. おとといから脈が弱くなっているんです。
O94. おとといから、脈が弱なってるんやけど。
J95. 骨が 1 本折れている。
O95. 骨 1 本折れてる。

11. 体格

- J96. わたしと身長が同じだ。
O96. おれと身長おんなじ。
J97. まるで小人だね。
O97. ほんま小人やな。
J98. 背が高い
O98. 背一高い。
J99. ずいぶん大きくなったね。
O99. だいぶ大きくなったな。
J100. やせてるように見える。
O100. やせてるんか。
J101. あの女、ちょっと太りすぎだね。
O101. あの女、ちょっと太りすぎやな。
J102. からだが弱っていて歩けません。
O102. からだがきついから歩かれへん。
J103. あいつ、すごい力だよ。
O103. あいつ、すごい力やわ。

12.睡眠・休息

- J104. もうとつくに目がさめていた。
O104. もうとつくに目一さめてた。
J105. あの人は早起きです。
O105. あいつは早起き。
J106. 夜ふかしするから、なかなか起きられないんだよ。
O106. 夜ふかしするから、なかなか起きられへんねやろ。
J107. [彼はどこにいるの?] 寝ています。
O107. [あいつどこにおる?] 寝てる。
J108. ほら、いびきをかき始めたよ。
O108. ほらみてみ一、いびきかき始めた。
J109. 今夜はあくびばかりしていた。
O109. 今晚、あくびばかりしてた。
J110. 眠くなった。寝たいな。
O110. 眠い。寝たい。
J111. この仕事はととも疲れる。
O111. この仕事めっちゃ疲れる。
J112. へたばったよ。
O112. 疲れたわ。
J113. この仕事を終えたら、ゆっくり休まなくちゃ。
O113. この仕事終わったら、ゆっくり休も。

13.健康

- J114. からだをこわすぞ。
O114. からだこわすぞ。
J115. どうも気分がよくないんです。
O115. なんか気分悪い。
J116. 何の病気なの?
O116. なんの病気?
J117. お医者さんの話では、病人はだんだんよくなるそうです。
O117. 医者の話やと、病人はだんだんよくなるらしいで。

- J118. 頭が痛い。
 O118. 頭痛い。
 J119. あの人はかぜを引いているんです。
 O119. あの人の、かぜみたいやで。
 J120. 熱があるんです。
 O120. 熱あんねん。
 J121. 胸がむかむかする。
 O121. 胸がむかむかする。
 J122. 一晩じゅうせきをしていた。
 O122. 一晩中せきしてた。
 J123. 害虫に刺された。
 O123. なんか変な虫に刺された。
 J124. 結核なんです。
 O124. 結核なんよ。
 J125. この病気はすぐうつる。
 O125. この病気すぐうつんねん。
 J126. 腕がはれている。
 O126. 腕、はれてる。
 J127. 足にけがをした。
 O127. 足、けがした。
 J128. [病気] もうよくなりました。
 O128. ようなった。
 J129. かたわだから働けないんだ。
 O129. 体が不自由やから働かれへん。 / かたわやから働かれへん。

14.性・誕生

- J130. あの女、いつだって男と遊びたがっているのさ。
 O130. あの女、いつでも男と遊びたいん / 男遊びしたいんやろ。
 J131. 女っていうのは複雑なもんだ。
 O131. 女はややこしい。
 J132. あの 2 人、いい仲だ。いろんなうわさがたってるよ。

- O132. あの 2 人できてるやろ。いろいろ言われとるしなあ。
J133. あいつ、とうとう悪い病気にかかっちゃった。
O133. あいつ、とうとう悪い病気にかかってしもたらしいな。
J134. もうすぐ赤ちゃんが生まれるんです。
O134. もうじき赤ちゃん生まれるんよ。
J135. 先週赤ちゃんができた。
O135. 先週{赤ちゃん/ こども}{生まれた/ できた}。
J136. おくにはどちら？
O136. どこ出身？
J137. [誕生] 男の子です。
O137. 男や。
J138. いちばん上は女です。
O138. 上は女の子。
J139. 母乳で育てている。
O139. 母乳で育ててる。

15.年齢

- J140. あの 人、いくつだと思えますか？
O140. あれ、いくつや。
J141. あれはまだ若すぎる。
O141. あれはまだ若すぎる。
J142. あの 人たちには生後 3 ヶ月の赤ん坊がある。
O142. あの 人らんとこ、3 ヶ月の子がおる。
J143. この 子たちときたら、いつもわたしにまとわりついて！
O143. こいつら、いつもまとまりつくから。
J144. 僕は弟です。
O144. 私は弟です。
J145. あの 人が妹さんと一緒のところに出会いました。
O145. あの 人が妹さんと一緒の時におうた。
J146. [故人] わたしの兄でした。
O146. わたしの兄でした。

- J147. あの人の姉さんも来ました。
 O147. あいつのお姉ちゃんも来た。 / 彼のお姉さんも来ました。
 J148. 大きくなって、もう一人前だ。
 O148. 大きくなって、もう一人前やな。
 J149. うちの娘もじきにおとなになります。
 O149. うちの娘ももうすぐおとなになります。
 J150. [40 歳の男の死] 働き盛りだというのになくなった。
 O150. 働き盛りやのに死んでしもた。
 J151. [20 歳の女の死] 年ごろになって、これからだというのに……。
 O151. ええ年やねんから、これからやちゅうのに。
 J152. ずいぶんふけて見えるね。
 O152. かなりふけてるなあ。
 J153. おじいさんと結婚した。
 O153. おじいさんと結婚した。

16. 生死

- J154. [病人] 明け方までもたないだろう。
 O154. 明け方までもたんやろな。
 J155. [事故] まだ生きている。死んじゃあいない。
 O155. まだ生きてる。{死んでへん/ 死んでない}。
 J156. あのかた、結核でとうとうなくなられました。
 O156. あのかた、結核でとうとうなくなったみたいやわ、
 J157. おぼれ死んだ。
 O157. 溺れ死んだ。
 J158. 何度も自殺しようとしたことがある。
 O158. 何べんも自殺しかけたわ。
 J159. [事故死] 死体が片付けられた。
 O159. 死体が片付けられた。
 J160. [事故死] 死骸を土に葬った。
 O160. 死骸を土に埋めた。 / 死骸を土に葬った。
 J161. [彼岸] お墓参りでたいした人手でした。

O161. お墓参りですごい人やった。

II. 衣装

17. 料理

J162. あれは家事はよくやるが、料理がだめでね。

O162. うちのんは家事はようやってくれんねんけど、料理がもひとつやねん。

J163. (A)このごろばかにうまいじゃないか。— (B)板前が替わったのさ。

O163. (A)最近けっこううまいやん。— (B)板前さん替わったらしいで。// 板前が替わったんよ。

J164. 台所が暗いね。

O164. 台所暗いなあ。

J165. 生のまま食べるほうが好きだ。

O165. 生で食うほうが好き。

J166. この卵、半熟じゃないか。

O166. この卵、半熟やんけ。

J167. 肉はまだ煮えていない。

O167. この肉、まだ煮えてへんで。

J168. よく焼いたパンなら好きだ。

O168. よう焼けたパンやったら好きやけど。

J169. この肉、焦げてるね。

O169. この肉、焦げてるで。

18. 食事

J170. いつもどこで食事をなさるんですか。

O170. いつもどこで飯食うてんのん。

J171. 朝はあんまり食べません。

O171. 朝はほとんど食べへん。

J172. さあ、昼めしを食べに行こう。

O172. ほな、昼飯行こか。// そしたら、昼飯行くか。

- J173. 夕飯のしたくができました。
 O173. 晩飯できたで。
 J174. 食事の準備ができました。
 O174. ご飯の準備できたで。
 J175. [食卓] どうぞお席にお着きください。
 O175. そしたら、適当に座ってください。 / そしたら、そちらにおかけください。
 J176. まだ食事の用意を済ませてない。
 O176. まだご飯の用意できてない。
 J177. あの娘、お給仕の仕方をちっとも覚えなない。
 O177. あの子、給仕のやり方全然覚えへんなあ。
 J178. これはなかなか高級料理だ。
 O178. これはうまい飯や。 / これええもん使てるなあ。
 J179. このさらはきたないよ。
 O179. この皿汚い。
 J180. おはしの持ち方が違うよ。
 O180. 箸の持ち方違う。
 J181. このナイフ、ちっとも切れないな。
 O181. このナイフ、全然切れへんなあ。
 J182. さじが一つ足りない。
 O182. スプーン 1 個足らん。
 J183. この食堂の食べ物はどうもうまくないな。
 O183. ここの飯、ほんままずいなあ。

19. 食物

- J184. わたしは食べ物に気をつけなければいけないんです。
 O184. わたし、食べものに気一つけなあかんのんで。
 J185. (A)もう少しスプーンいかがですか。—(B)ええ、もうけっこうです。
 O185. (A)スプーンのおかわりは?—(B)もうええわ。// もういらんわ。ごちそうさん。
 J186. あの人は肉を全然食べません。

- O186. あの人全く肉食わんらしいわ。
 J187. きょうは牛肉が出ますよ。
 O187. 今日、ぎゅうやて。
 J188. 何だか羊臭いね。
 O188. なんやこれ、羊臭いなあ。
 J189. どうも豚肉は腹にこたえる。
 O189. あかんわあ、豚は胃一に来る。 / なんか豚は腹に来る。
 J190. ハムかい? もう全部平らげちゃったよ。
 O190. ハム? 全部食うたよ。
 J191. 今晚のご馳走は鳥肉だった。
 O191. 晩のご馳走、{地鶏/ かしわ}やった。⁸
 J192. 生臭いな。
 O192. 生臭いなあ。
 J193. あの方は野菜とくだものだけしか食べない。
 O193. あいつは、野菜と果物しか{食わん/ 食べへん}。
 J194. このキャベツ、腐りかかっている。
 O194. このキャベツ腐りかかってんで。
 J195. これはジャガイモと一緒に食べたほうがおいしいよ。
 O195. これ、ジャガイモと食うたほうがうまいわ。
 J196. この卵、へんなにおいがする。
 O196. この卵、{腐ってんちゃうん/ へんなにおいする}。
 J197. [食卓] パンがまだ出てない。
 O197. パンがまだ。
 J198. 今手が離せないんだよ、ご飯をたいているところだから。
 O198. 今手一はなされへんねん、ご飯たいてる(とこや)から。
 J199. このサラダ、よくかき混ぜてないね。
 O199. このサラダ、よう混ぜてへんのんちゃうん。
 J200. 栄養は豊富だが、そうもしつっこすぎる。
 O200. 栄養あるんかもしらんけど、ひつこい。

⁸ 筆者の内省では、ご馳走として出る鶏肉なら、名古屋コーチンや比内鶏のような地鶏の方が自然である。ただし、かしわも使えないわけではないので、並列に示す。

J201. この肉はあぶらが多すぎる。

O201. この肉あぶら多いなあ。

20.料理の材料・調味料

J202. おまえ、粉だらけじゃないか。

O202. おまえ、粉だらけやないか。

J203. バターが値上がりした。

O203. バターが値上がりした。

J204. このスープはこしょうがききすぎてる。

O204. このスープ、こしょうききすぎ。

J205. この塩、湿ってる。

O205. この塩、湿ってる。

J206. お砂糖をどうぞ。

O206. はい、砂糖。

J207. これ、オリーブ油ですか。

O207. これ、オリーブオイル？

J208. このサラダは酢が足りない。

O208. このサラダ、酢一足らんなあ。 / 酢が足らんサラダやなあ。

21.くだもの・デザート

J209. くだものを 1 かご送ってくれました。

O209. くだものかごを送ってくれた。

J210. リンゴを落としちゃった。

O210. リンゴ落としてしもた。

J211. このナシはよくうれてる。

O211. このナシ、よううれてるなあ。

J212. この種類のオレンジはほかのより水気が多い。

O212. この手のオレンジは、ほかのんより水っ気が多いねん。

J213. サクランボはまだおいしくない。

O213. サクランボまだあかんなあ。

J214. このイチゴ、どこで買ったの？

- O214. このイチゴ、どこで買うたん。
 J215. このブドウ、おいくら？
 O215. このブドウ、いくら？
 J216. やあ、クルミの実が落ちている。
 O216. おっ、クルミが落ちてる。
 J217. あの子はデザートのとてになってやっど現れた。
 O217. あいつ、デザートになってからやっど来たなあ。
 J218. このお菓子はできたてのほやほやです。
 O218. このお菓子、{できたて/ できたてのほやほや} (やで)。
 J219. うん、こっちのビスケットはかりかりしてますよ。
 O219. うん、こっちのビスケットはかりかりしてる。
 J220. おまえはしょっちゅうジャム入ればかりねらってるね。⁹
 O220. おまえは年がら年中ジャムばかりねろとるなあ。
 J221. チョコレートはお好きですか。
 O221. チョコレート好きか。
 J222. あの子はあめばかり食べてる。あの歯を見てごらん。
 O222. あの子、あめちゃんばかり食べてる。歯一見てみい。
 J223. 映画を見た帰りに、アイスクリームを食べに行くんだよ。
 O223. 映画の帰りにアイス食いに行くよ。

22. 飲み物

- J224. ぼくは何か飲み物のほうがいい。
 O224. なんか飲みもん{ないか}のほうがええんやけど}。
 J225. 水をください。
 O225. 水ちょうだい。
 J226. あれは酒に関しちや、通だね。
 O226. あいつは酒はほんま通やな。

⁹ フランス語では甘いものを欲しがると子どもをさます、昔話でも使われている表現である (フランソワーズ・ルーセル氏よりご教示いただいた)。この文を訳すにあたって、筆者は茶筆筒に子どもにはもったいないものが隠されているといった経験をしたことがないので、逐語訳にした。

- J227. このビールはちつともあわが立たない。
 O227. このビール、{全然あわ立たへんやん/ ほんま泡が立たんなあ}。
 J228. あの人は全然飲みません。
 O228. あいつは全然飲まん。
 J229. 大酒飲みだな。
 O229. {ざる/ 大酒飲み/ 左党}やな。
 J230. ぐでんぐでんだ。
 O230. ぐでんぐでんや。
 J231. お茶を 3 杯も飲んだ。
 O231. お茶 3 杯も飲んだ。
 J232. 夜コーヒーを飲むとどうも眠れない。
 O232. 夜コーヒー飲んだら、どうも寝られへん。
 J233. 朝はいつもココアを飲む。
 O233. 朝はいつもココア。
 J234. この牛乳、いたんでる。
 O234. この牛乳、いたんでる。
 J235. コップをひっくりかえした。
 O235. コップ、ひっくりかえした。
 J236. この茶わん、よく洗ってないね。
 O236. この茶わん、ちゃんとあろてないな。

23. 喫煙

- J237. たばこがのみたい。
 O237. たばこがすいたい。
 J238. こっちのを 1 服おつけください。
 O238. こっちのん吸うてください。¹⁰
 J239. ぼくのパイプ、詰まってるんだ。
 O239. 俺のパイプ、詰まってるわ。
 J240. [タバコ屋] 葉巻ありますか。

¹⁰ 「一服する」は用いるが、「一服つける」は用いない。

- O240. 葉巻ある？
J241. たばこは足りる？
O241. たばこまだある？
J242. 火をどうぞ。
O242. ライターいる？
J243. わあ、ひどい煙！ まるで煙突のようだな。
O243. ひっどい煙やなあ。煙突みたいやで。

24. 医学

- J244. むすこは医学を勉強しています。
O244. むすこは医学を勉強してます。
J245. 医者に見放された。
O245. 医者に見放された。
J246. 病院にかつぎこんだ。
O246. 病院にかつぎこんだ。
J247. 医者にかかっている。
O247. 医者にかかっている。// 病院に行っている。
J248. 薬なんか信用しないね、ぼくは。
O248. 薬は信用してない。
J249. 医者の話ではビタミン B の不足だそうだ。
O249. 医者の話やと、ビタミン B が足らんらしい。
J250. すぐ手術してもらわなくちゃあ。
O250. すぐ手術 {せん / してもらわん} と。
J251. やあ、もうなおったの？
O251. なんや、もう治ったんかい。
J252. すぐ歯医者に行ってください。
O252. すぐ歯医者に行かんかい。

25. 繊維製品

- J253. 糸を切っちゃったね。
O253. 糸切ってもたな。

- J254. 針に糸も通せないんだね。
 O254. 針に糸もよう通せんのか。
 J255. このボタン、つけてくれない？
 O255. このボタン、つけてくれへんか。
 J256. どうしてミシンで縫わないの？
 O256. なんでミシンで縫えへんねん。
 J257. 今くつ下を繕っているところだ。
 O257. 今靴下縫うてるところ。¹¹
 J258. おばあさんのころにはまだ自分で糸をつむいでいた。
 O258. おばあさんのころはまだ自分で糸をつむいでたらしい。
 J259. 紡績工場で働いている。
 O259. 紡績工場で働いてる。
 J260. 何だ、この布地の織り方は！
 O260. なんやねん、この布地の織り方は！
 J261. 織物工場にいい働き口を見つけた。
 O261. 織物工場でええ働き口を見つけた。
 J262. (A)このくつ下、もめんですか。—
 O262. (A)この靴下、もめん？—
 J263. (B)いえ、毛です。
 O263. (B)ちやうよ。{ウール/ 毛}や。
 J264. 絹のくつ下はいつも自分で洗います。
 O264. 絹のくつ下はいつも自分で洗ってる。
 J265. 本絹と人絹の区別がつく？
 O265. 絹とレーヨンの区別つく？
 J266. きれは足りる？
 O266. きれ足りてる？
 J267. ぼろきれでこすりなさい。
 O267. ぼろいきれでこすったらええやん。
 J268. 敷布、替えた？

¹¹ 「繕う」を使用語彙として使わないので、「縫う」にした。

- O268. シーツ替えた？
 J269. そろそろ冬ぶとんを出さなくちゃ。
 O269. そろそろ冬ぶとん出さんとあかんなあ。
 J270. 座ぶとんがもうよごれてる。
 O270. 座ぶとんもう汚れてる。
 J271. まくらが固すぎる。
 O271. まくらが固すぎる。
 J272. カーテンをしめなくちゃ。
 O272. カーテン閉めんと。
 J273. この敷物は虫が食ってる。
 O273. この絨毯、虫喰うてる。 / このしきもん、虫食うてる。

26.服装

- J274. あの人は身なりにずいぶん金をかける。
 O274. あいつは服にかなり金かけてる。
 J275. いつも黒い服を着ている。
 O275. いつも黒い服を着いる。
 J276. 何だ、まだ服を着てないのか！
 O276. なんや、まだ服着てへんのか。
 J277. この暑さだ。まあ、上着を脱ぎたまえ。
 O277. 暑いしなあ、上着脱いだら。
 J278. おい太郎！ はだしで遊んでいるとけがするよ。
 O278. 太郎！ はだしで遊んでたらけがするぞ。
 J279. そのあとで暇があったら洋服屋へ行くよ。
 O279. あとで暇やったら服屋さんに行くわ。
 J280. 背広を新調した。
 O280. {スーツ / 背広}を新調した。
 J281. タキシードがないから行きません。
 O281. タキシードがないから行きません。
 J282. 上着を脱がなくちゃ。
 O282. 上着脱がんとな。

- J283. きょうはチョッキはよしとしよう。
 O283. 今日はベスト / チョッキは着んでええか。
 J284. そでをつかんでむりやりに引っ張ってきた。
 O284. そでをつかんでむりやり引っ張ってきた。
 J285. ズボンがちょっと短すぎるな。
 O285. ズボンの丈ちょっと短いな。 / ズボンのすそ短すぎるな。
 J286. せっかくのドレスがしわくちやになっちゃったね。
 O286. せっかくのドレスが{しわしわ/ しわくちや}やな。
 J287. そんな短いスカートをはくのはみっともないよ。
 O287. そんな短いスカート{はいてんのん/ はくんは}みっともないで。
 J288. ポケットにちゃんとしまっときなさい。
 O288. ポケットにちゃんとしまっつけ。
 J289. 裏がほころびた。
 O289. 裏がほころびた。
 J290. このとおり冬の外とうを着てきました。
 O290. このとおりコートを着てきた。

27.服飾品

- J291. ボタンがとれちゃった。
 O291. ボタンとれた。
 J292. ズボンつりがきつすぎる。
 O292. {サスペンダー/ ズボンつり}きつすぎ。
 J293. バンドをゆるめなきゃ。
 O293. ベルトゆるめんと。
 J294. 全部ためしてみたけど、合う帽子が一つもなかった。
 O294. 全部ためしてみたけど、どの帽子 / どれもあわなんだ。
 J295. ネクタイがゆるんでしょうがない。
 O295. ネクタイ、ゆるんでしょうがない。
 J296. 手袋ははめないことにしている。
 O296. 手袋ははめないことにしてる。
 J297. くつがまだみがいてない。

- O297. くつをまだみがいてない。
 J298. ぼくのスリッパ、どこへやっちゃったんだ。
 O298. 俺のスリッパどこ行ったんや。
 J299. この前みたいに、車の中にハンドバッグを忘れないようにね。
 O299. 前みたいに、車ん中に{かばん / ハンドバック}忘れんなよ。

28.化粧・装身具

- J300. お化粧中です。
 O300. お化粧中です。
 J301. 今、床屋へ行ってきたところだ。
 O301. 今、{散髪屋に行ってきた / 髪切ってきた}{ばっかり / とこ}や。
 J302. 髪を刈らなくちゃあ。
 O302. 髪の手刈らんと。
 J303. これからひげをそらなくちゃあ。
 O303. 今からひげそらんと。
 J304. 髪の色を変えたね。
 O304. 髪形変えた? // 髪切った?
 J305. そのうちブラシを買い替えなきゃね。
 O305. そのうちブラシ買い替えんと。
 J306. おまえのくし、ずいぶんよごれてるね。
 O306. おまえのくし、だいぶ汚れてるなあ。
 J307. ぼくの歯ブラシ、もう使えないや。
 O307. 俺の歯ブラシ、もう{ダメなや / あかんなあ}。
 J308. あれは化粧のしかたも知らないんだ。
 O308. あれは化粧のしかたも知らんから。
 J309. ひげそりあとにパウダーなんかつけないよ。
 O309. ひげそったあとで、パウダーなんかいらんやろ。 / ひげそったあとでパウダーなんかつけへんやろ。
 J310. あの女、あんなに塗らたくらなきゃあ、もときれいだろうになあ。
 O310. あの女、あんなけ塗り{まくらん / たくらん}かったら、もうちよい{まし / きれい}やろうに (なあ)。

- J311. あの人はアクセサリーをいっさい身につけない。
 O311. あの人はアクセサリーを全く身につけへん。
 J312. 宝石類はみんなしまいこんだ。
 O312. 宝石類は全部しもた。
 J313. 本物の真珠ですか。
 O313. これほんもんか?// ほんまもの真珠か。
 J314. 指輪をなくさないようにね。
 O314. 指輪なくさんようにな。
 J315. あの人の首飾り、見つかった！
 O315. あいつのネックレス、見つかった！

29. 下着・洗たく

- J316. あした下着をかえなくちゃあ。
 O316. あした下着をかえなやばいな。
 J317. このワイシャツは窮屈だ。
 O317. このワイシャツ、窮屈やなあ。
 J318. きれいなカラーがもう一つもなくなっちゃった。
 O318. きれいなカラーが一つもあらへんで。
 J319. こんなに寒いのに、どうして毛のシャツを着ないの。
 O319. こんだけ寒いのに、なんでウールのシャツ着へんの。
 J320. もっとあったかいズボン下をはかなくちゃ。
 O320. もっとあったかいももひき¹²はかんと。
 J321. 下着のすそが見えてるよ。
 O321. 下着のすそ見えてるで。
 J322. ハンカチを忘れた。
 O322. ハンカチ忘れた。
 J323. くつ下がもう破れた。
 O323. くつ下もう破れた。

¹² ももひきかパッチをよく用いる。ステテコ、スパッツ、メンズタイツは理解語彙であるが、ほとんど使用しない語彙である。ズボン下も理解語彙であるが、全く使用しない語彙である。なお、女性用のレギンスは今一つ理解できていない。

- J324. どうしてこんなに薄いくつ下をはいてるの？
 O324. なんでこんな薄いくつ下履いてるん。
 J325. この生地、洗たくがききますか。
 O325. この生地、洗たくできる？
 J326. これ、洗濯に出さなきゃあ。
 O326. これ{クリーニング/ 洗たく屋}に出さんと。
 J327. ズボンにアイロンかけなくちゃあ。
 O327. ズボンにアイロンかかけんと。
 J328. それはドライクリーニングに出したほうがいいね。
 O328. それドライクリーニングに出したら。

Ⅲ. 住居と輸送

30. 住居

- J329. 2人きりで住んでいる。
 O329. 2人きりで住んでる。
 J330. この家は見晴らしがいい。
 O330. この家は見晴らしがいい。
 J331. このかいわいでいちばん大きい建物だ。
 O331. このへんで一番大きいたてもんです。
 J332. 郊外のこじんまりした家に住んでいる。
 O332. 郊外のこじんまりした家に住んでる。
 J333. りっぱな屋敷を建てた。
 O333. りっぱなお屋敷を建てた。
 J334. 適当な家さえあれば、自分で建てるまでのことはないんだが。
 O334. ええ家があったら、自分で建てへんねやけど。
 J335. あの家は鉄筋だ。
 O335. あの家、鉄筋やな。
 J336. 道を広げるために取りこわされた。
 O336. 道を広げるために取りこわされた。

31.家屋

- J337. 門があければなしになっていた。
 O337. 門が開けっ放しになっていた。
 J338. 壁にひびがはいってる。
 O338. 壁にひび入ってる。
 J339. 雨漏りがする。
 O339. 雨漏り{してる / する}。
 J340. 煙突が詰まってる。
 O340. 煙突が詰まってる。
 J341. 入口のドアにかぎをかけたかい。
 O341. 玄関 / 入り口のドア、かぎかけたか。
 J342. 包みは玄関に置いてきた。
 O342. 包みは玄関に置いてきた。
 J343. [来客に] 廊下がとても狭くて……
 O343. 廊下が狭いんで
 J344. 階段がずいぶん急だね。
 O344. 階段結構急やな。
 J345. (A)何階ですか。—(B)4 階です。
 O345. (A)何階。4 階。// 何階ですか。—(B)4 階お願いします。
 J346. 自分のへやは上にあるんです。
 O346. 私の部屋は{2 階/3 階…}です。// 私の部屋は上の階にあります。// 私の部屋は真上です。¹³
 J347. あの方は下であなたを待ってますよ。
 O347. あの方は下で待ってますよ。

¹³ 「上にある」という言い方が、内省では不自然であった。今いるところの真上にあるなら使える。

例) 物置の上に住んでました。

→1 階が物置でその上(真上の 2 階)に部屋があり、そこに住んでいた。

(学生時代の貸間がこういう状況だったので、この文脈なら使う。)

査読者から、O346 で具体的な数字を指定するのはなぜかという質問があった。筆者にとっては、「上(の階)」といった漠然とした言い方では何かを隠しているようなもってまわった言い方だと感じ、こういう時は特定の階を指定して言う方が自然だという内省結果をもとに文例を作成した。

- J348. このへやには持ち物が全部はいりきらないんですよ。
 O348. この部屋やと持ちもんが全部入らんのよ。
 J349. この教室は薄暗いね。
 O349. この教室薄暗いなあ。
 J350. アパートを捜しているんですが……
 O350. アパートを捜しているんですけど……
 J351. だれかノックをしているよ。
 O351. だれかノックしてんで。
 J352. 机は壁ぎわに寄せてある。
 O352. 机は壁ぎわに寄せたーる。
 J353. 床がでこぼこだ。
 O353. 床がでこぼこや。
 J354. 天井がクモの巣だらけだ。
 O354. 天井、クモの巣だらけやなあ。
 J355. あいてるじゃないか、窓が！
 O355. 窓あいてるやんけ。
 J356. 窓ガラスを割ったのは、あの小僧どもだ。
 O356. 窓ガラス割ったん、{あのガキ / あいつら}やろ。
 J357. 雨戸は閉めておいたよ。
 O357. 雨戸は閉めといたよ。

32.設備

- J358. 最新の設備を備えた家です。
 O358. 最新の設備を備えた家です。
 J359. ここには水道さえないんです。
 O359. ここ、水道もないんよ。
 J360. じゃ口が凍っちゃった。
 O360. じゃ口が凍ってしもた。
 J361. (A)去年からお湯も出るようになってます。—
 O361. (A)去年からお湯も出るようになってます。—
 J362. (B)ガスはどうなんですか？ ありますか。

- O362. (B)ガスは？ あんの。
 J363. 今晚は停電です。
 O363. 今晚停電やて。 / 今晚停電。
 J364. トイレに行きたいのですが.....
 O364. トイレ行きたい (んやけど)。
 J365. ふろ場は今使用中です。
 O365. ふろ、だれか入ってるで。
 J366. ふろの水はまだ半分しかたまってない。
 O366. ふろの水、まだ半分しかたまってへん。
 J367. 今夜はへやを暖かくしてある。
 O367. 今日はへや暖かくしといたから。 // 今晚は部屋暖かくした一る。
 J368. ことしはもうストーブをたき始めた。
 O368. 今年はまだ{ストーブを出した / 暖房つけた}。
 J369. そりゃあ、スチーム暖房のほうがいいさ。
 O369. それやったら、スチームの方がええやろ。

33.家具

- J370. 引っ越す前に家具を全部売り払ってしまった。
 O370. 引っ越す前に家具は全部売ってしもた。
 J371. でも、へやにはいすが三つあったじゃないか。
 O371. ちゃうわ、部屋にイス3つあったやろが。
 J372. ぼくのイスを取っちゃったな。
 O372. 俺の椅子とったな。
 J373. テーブルがぐらぐらする。
 O373. テーブルがぐらぐらする。
 J374. たんすにはもう入れる場所がない。
 O374. このたんす、もう{入らん / 入れるとこない}で。
 J375. それはぼくの机の左の下の引き出しにあるはずだ。
 O375. それやったら、私の机の左下の引き出しにあると思う。
 J376. まだふとんが敷いてないや。
 O376. まだふとんひいてないわ。

34.町

- J377. 住所が変わりました。
 O377. 住所変わった。// 住所が変わりました。
 J378. 今どの辺にお住まいですか。
 O278. 今どの辺に住んでる？
 J379. 都心のほうが、そりゃ便利ですよ。
 O279. 都心の方が便利やろ。
 J380. 人口 50 万人以上の大都市です。
 O380. 人口 50 万人以上の大都市です。
 J381. 山に囲まれたへんびな村です。
 O381. 山に囲まれた田舎の村や。
 J382. 工場は郊外にある。
 O382. 工場は郊外にある。
 J383. 村は丘のふもとにある。
 O383. 村は丘のふもとにある。
 J384. あの人たちはもう都内には住んでいません。
 O384. あの人らはもう都内にはおらへん (なあ)。
 J385. きょう東京へ行ってきた。
 O385. きょう東京に行ってきた。
 J386. あの人たちは地方に落ち着きました。
 O386. あいつらは{地方/ 田舎}に落ち着いた。

35.交通

- J387. 外国語の勉強のために旅行します。
 O387. 外国語を勉強しに旅行します。
 J388. 観光に関しては、まだ後進国だね。
 O388. 観光は、まだ後進国やな。
 J389. 休暇で旅行に行きました。
 O389. 休みなんで旅行に行った。
 J390. こちらに長くご滞在ですか。
 O390. こちらに長く滞在されますか。/ 長くおるんか？

- J391. 交通はすべて閉ざされている。
 O391. 交通機関、全部動いてへん。
 J392. 駅の近くのホテルに泊まった。
 O392. 駅の近くのホテルに泊まった。
 J393. この荷物を税関まで持って行ってください。
 O393. この荷物を税関まで{お願いします/ 持って行って (ください)}。
 J394. トランクは自分で持ちます。
 O394. トランクは自分で持ちます。
 J395. ああ、赤帽が来た。
 O395. おお、赤帽来た。
 J396. どちらへお届けしましょうか。
 O396. どこへ届けますか。
 J397. 家具はあとから運ばせます。
 O397. 家具はあとから運んでもらいます。
 J398. まだまだ、いやな税関が残ってるよ。
 O398. まだまだめんどくさい税関が残ってるよ。
 J399. [新聞] 軍隊が橋を爆破したって出てるよ。
 O399. 軍隊が橋爆破したらしいで。// 軍隊が橋爆破したって新聞に出てるで。

36. 道路

- J400. 確かにこの道に間違いない？
 O400. ほんまにこの道で間違いないか。
 J401. こっちの細道を行ったほうがいい。
 O401. こっちの細い道を行ったほうがいい。
 J402. 東京へ行くには、この道まっすぐでいいんですか。
 O402. 東京に行くには、この道まっすぐでええんか。
 J403. どの道にも人があふれている。
 O403. どの道にも人があふれてる。
 J404. この道を行くと、どこへ行くか知ってる？

- O404. この道を行ったら、どこに行くんか知ってる?¹⁴
- J405. 道を間違えてね……
- O405. 道間違えたんよ……
- J406. おばさんがいて、少し案内してくれた。
- O406. おばちゃんがおってくれた / おったんで、ちょっと案内してもろた。
- J407. ぼくの自転車、使っちゃいやだ。
- O407. ぼくの自転車、{使わんといて / つこたらあかん}。
- J408. やつはオートバイ気違いだ。
- O408. あいつはバイクきちがいや。
- J409. 自分の車で来たんです。
- O409. 自分の車で来たんや。
- J410. ドライブに行かない?
- O410. ドライブ行かへんか。
- J411. タクシーを拾おうよ。
- O411. タクシー{捕まえよ / 拾お}。
- J412. この運ちゃん、道もろくに知らないんだなあ。
- O412. この運転手、まともに道も知らんのか。// この運転手、道をまともに知らんやんけ。
- J413. あいつの運転はむちゃくちゃだ。
- O413. あいつの運転はむちゃくちゃや。
- J414. この辺にはガレージはないし……
- O414. この辺にガレージはないし……
- J415. じゃあ、バスで行こう。
- O415. {そしたら / ほな}、バスで行こ。
- J416. トラックなら全部積めるさ。
- O416. トラックやったら、全部積めるやろ。
- J417. 暑さでタイヤがパンクした。

¹⁴ 「この道行ったら」は言えなくはない。「あの公園通って」のように経路格でも省略は可能である。査読者から、省略の有無が O404 の経路格と O405 の目的格の区別をしているのかという質問があった。J404 のような文例では、筆者の内省では省略しにくい。省略のしやすさが両格を区別する証左になっているかどうかは、今後検討する余地がある。

- O417. {暑うて / 暑さで}タイヤがパンクした。
 J418. 車が故障した。
 O418. 車が故障{した / しおった}。
 J419. 自動車が衝突したんです。
 O419. {車/ 自動車}が{ぶつかった/ 衝突した}(んです / や)。
 J420. ブレーキがきかなかった。
 O420. ブレーキ{きかんかった/ きけへんかった/ きかなんだ}。

37. 鉄道

- J421. [ストライキ] 鉄道は全部止まってしまった。
 O421. 電車、全部止まってるわ。
 J422. この鉄道は開通以来赤字路線なんだ。
 O422. ここの{線 / 電車}、開通以来ずっと赤字(路線)なんや。
 J423. 機関車が脱線した。
 O423. 機関車が脱線した。
 J424. 駅へ迎えに行った。
 O424. 駅に迎えに行った。¹⁵
 J425. いちばん後ろの客車で落ち合おう。
 O425. 一番後ろの車両で落ち合うか。
 J426. 客車に衝突したのは貨物列車です。
 O426. 客車に衝突したのは貨物列車です。
 J427. 貨物列車の受けた被害は大きかった。
 O427. 貨物列車が受けた被害は大きかった。¹⁶
 J428. 特急はまだ来てない。
 O428. 特急まだ来てへん。
 J429. 鈍行は遅れてる。

¹⁵ 「～へ」と「～に」の違いに関して、査読者から質問があった。これは、向格の方言差としてよく指摘されるもので、東京方言話者は「～へ」、大阪方言話者は「～に」を用いる傾向があり、筆者にとっては「～に」の方が自然である。

¹⁶ 「～の」と「～が」の違いに関して、査読者から質問があった。両者の違いは、「{貨物列車の}{受けた被害}」と「{貨物列車が受けた}{被害}」にあると解釈している。筆者にとつては、後者の方が自然である。ただし、これが方言差の問題であるのかは分からない。

- O429. 普通が遅れてる。
 J430. 汽車は雪だらけだ。
 O430. 汽車は雪だらけや。
 J431. いつもまずいなあ、食堂車の料理は。
 O431. いつもまずいなあ、食堂車の料理は。
 J432. この列車には寝台車がついてますか。
 O432. この列車、寝台車なん？
 J433. 乗客にはけがはなかった。
 O433. 乗客には怪我はなかった。
 J434. 切符を買ってきてくれませんか。
 O434. 切符買うてきてくれへん。
 J435. ぎりぎり間に合ったぞ。
 O435. ぎりぎり間におうた。
 J436. 乗車時間が来たようです。
 O436. 出発時間が来たようです。// 電車が来たようです。
 J437. ここで降りるんですよ。
 O437. ここで降りるんや。
 J438. [ストライキのあとで] 汽車は動き始めたかい？
 O438. 電車、動いてる？

38.航海

- J439. 運航休止です。
 O439. 運航休止です。
 J440. すごく退屈したなあ、船の旅は！
 O440. すごい退屈やわ、{船で旅行すんのん / 船旅}は。
 J441. こいつああ、もうかるに決まったらあ、船会社は。
 O441. そら儲かるに決まってるやろ、船会社やったら。
 J442. どの船でフランスで行くんですか。
 O442. どの船でフランスに行くん。
 J443. この汽船はできてから 20 年ぐらいはたとうというしろものだ。
 O443. この汽船はできてから 20 年ぐらいはたってるしろもんや。

- J444. もちろん、エンジンで動く船のほうがずっと新しいさ。
O444. どうぜん、エンジンで動く船のほうがそらずっと新しいやろ。
J445. さあ、いよいよ港にはいったぞ。
O445. さて、いよいよ港に入ったなあ。
J446. 棧橋で会う約束をした。
O446. 棧橋で会う約束をした。
J447. 船は正午に出た。
O447. 船は正午に出た。
J448. あの船、沈没したって！
O448. あの船、沈没したんやて。
J449. あそこにいるのは船長だ。
O449. あそこにいるのが船長や。
J450. へえ、きみは船乗りになりたいの？
O450. ふーん、きみは船乗りになりたいんか。
J451. こんなに船客の少ないのは初めてだ。
O451. こんなに客が少ないんは初めてやな。
J452. あさって船に乗ります。
O452. あさって船に乗ります。
J453. まだ上陸できないよ。
O453. まだ上陸でけへんで。
J454. ぼくは船に残っていた。
O454. 私は船に残っていた。

39.航空

- J455. それになんたって飛行機はまだまだこれから発展するものだしね。
O455. なんやろ、飛行機はこれからまだまだ発展するからなあ。
J456. 東京まで飛んだ。
O456. 東京まで飛んだ。
J457. 飛行機で行くことに決めた。
O457. 飛行機で行くことに決めた。
J458. 娘はパイロットになるつもりなんですよ。

- O458. 娘はパイロットになりたいみたいやな。
 J459. 飛行場は町から遠すぎるね。
 O459. 飛行場、町から遠すぎるな。
 J460. あれはヨーロッパでいちばん大きな飛行場だ。
 O460. あそこ/ あれがヨーロッパでいちばん大きい飛行場や。

40.郵便・電報・電話

- J461. まず郵便局に行くのかね？
 O461. とりあえず郵便局行くんか。
 J462. ポストはどこですか？
 O462. ポスト、どこ？
 J463. 出たついでに、この手紙をポストに出してきてくれないかなあ。
 O463. 出かけるついでに、この手紙ポストに出してきてくれへんか。
 J464. けさの郵便配達はもう来ましたか。
 O464. 朝の郵便、まだか。
 J465. この手紙は切手が貼ってない。
 O465. この手紙、切手が貼ってない。
 J466. ぼくのはがき、着きましたか。
 O466. こっちからのはがき、着いた？
 J467. いつもこんな印刷物で、うちの郵便受けはいっぱいだ。
 O467. いつもチラシとかダイレクトメール¹⁷で、うちの郵便受けはいっぱいだ。
 J468. 今度は小包か！
 O468. 今度は小包か。
 J469. 外国郵便の料金はいくらですか。
 O469. 国際郵便の料金、なんぼ？
 J470. 切手はどこで売ってますか。
 O470. 切手どこで売ってる？
 J471. 書留にしたほうが安全でしょうね。

¹⁷ 「こんな印刷物」は迷惑なものの代表としてチラシやダイレクトメールで意識した。

O471. 書留の方が安全やな。

J472. この手紙にいちいち返事を書くなんて、やりきれないなあ。

O472. この手紙にいちいち返事を書くんは、{無理やな/ めんどくさいなあ}。

J473. 医者に電話した？

O473. 医者に電話した？

J474. ひよっとして、もし電報を受け取ってなかったとしたら……

O474. ひよっとして、電報をうけとってへんかったら……

J475. この電報は無線電報でしたか？

O475. これ、無線電報やったんか？

IV. 産業・経済

41. 行動・仕事

J476. 口ばかりで、行動はさっぱりだね。

O476. 口ばかりで、なんもせえへん / でけへんなあ。

J477. あの人のほうがおまえよりよく仕事をするよ。

O477. あいつの方が、おまえよりよう働くわ / よっぽど仕事するわ。

J478. 猛烈に勉強した。

O478. めちゃくちゃ勉強した。

J479. とにかく、あの人は活動家だからね。

O479. とにかく、あいつは{活動家や / よう動く}からなあ。

J480. ここの暮らしは退屈でやりきれない。

O480. ここでの生活は退屈であかんわ。

J481. あまり頭はよくないが、なかなか勉強家です。

O481. あんまり頭はよくないけど、割と勉強家やな。

J482. あれは出無精だから、いくら誘ったって出てこないな。

O482. あれは{出無精 / インドア派}やから、なんぼ誘っても出てけえへんやろ。

J483. やつは職を失った。

O483. あいつは職を失った。

- J484. ちょうど 2 年間勤めました。
 O484. ちょうど 2 年間勤めました。
 J485. 気の毒に、あの男、もう何年も遊んでいるんだ。
 O485. 気の毒やなあ、あの{おっさん / にいちゃん}、もう何年{遊んでるんやろ / 遊んでんねん}。
 J486. また、あの工場ではストライキが始まった。
 O486. またあの工場でストライキやととるで。
 J487. (A)きみ、休みを申し出るの?—(B)どうも言いにくいや。
 O487. (A)おまえ、休むって言うんか? —(B)なんか言いにくいなあ。
 J488. (A)何してる人ですか?—
 O488. (A)何{してる / してはる}人ですか。—
 J489. (B)実業家です。
 O489. (B)実業家。// 会社やってる人です。
 J490. むすこを自分の会社に入れた。
 O490. むすこを自分の会社に入れた。
 J491. [おそい帰宅] 会社で残業してたんだよ。
 O491. (会社で) 残業{してた / やった}んや。

42. 工業・技術

- J492. あっちの技術のほうが進んでいる。
 O492. あっちの技術の方が進んでる。
 J493. 今では機械でどんどん造られる。
 O493. 今やと機械でどんどん造るさかい。
 J494. 自動式もいいけど、慣れないうちはかえってやっかいだね。
 O494. 自動でもええんやけど、慣れへんうちはかえってめんどくさいな。
 J495. 機械が止まっちゃって、今困ってるよな。
 O495. 機械が止まってしもて、今困ってるんや。
 J496. モーターがどうかしたようだ。
 O496. モーターどないかなったみたいや。
 J497. 電気代と水道代は別です。
 O497. 電気代と水道代は別 (や / です)。

- J498. この柱時計はどうもぐあいが悪いね。
 O498. この柱時計、なんか{おかしい / 変や}な。
 J499. ことしは産業界はたいした景気だね。
 O499. 今年の産業界はすごい景気やってな。
 J500. いや、あれは工場のサイレンさ。
 O500. いや、あれは工場のサイレンやで。

43. 道具・容器

- J501. あいにく道具を持ち合わせていませんから、今はできません。
 O501. 今ちょうど道具を持ってないんで、今はでけへんわ。
 J502. きっと、かぎをなくしちゃったんだ。
 O502. たぶんかぎなくした / なくしてしもたんやな。
 J503. このかぎは油を少し差さなくちゃあ。
 O503. このかぎはちょっと油を差さんとあかんわ。
 J504. 棒が折れた。
 O504. 棒が折れた。
 J505. 外からは何も見えない。すっかり板で囲ってあるから。
 O505. 外からはなんも見えへん。全部板で囲った一るんで。
 J506. このひもは紙でできてる。
 O506. このひもは紙でできてる。
 J507. このなわでだいじょうぶかい？
 O507. このなわでだいじょうぶか。
 J508. 針金をいちいち使ったんじゃあ、お金がかかってたいへんだ。
 O508. 針金をいちいち使ったら、金がかかって大変や。
 J509. ナイフがなくなった。
 O509. ナイフがなくなった。
 J510. はさみはどこへ行っちゃったんだ。
 O510. はさみどこ行った。
 J511. 車輪のほうは、まあだいじょうぶですが……
 O511. 車輪は大丈夫やけど。
 J512. 入れ物を取り替えた。

- O512. 入れもん取り替えた。
 J513. その箱はどこで手に入れたの？
 O513. その箱、どこで手に入れたん/ 買うたん/ もろてきたん？
 J514. 箱に入れて送ったほうがいい。
 O514. 箱に入れて送ったらええんちゃうの。
 J515. ふたがよくしまっていない。
 O515. ふたがちゃんとしまっていへん。
 J516. ちょっとこの袋に入れてみてごらん。
 O516. ちょー、この袋に入れてみーやー。
 J517. こりゃあまた、珍しいびんだな。
 O517. こらまた、珍しいびんやな。
 J518. 管が詰まってるらしい。ちょっと吹いてみてごらん。
 O518. 管が詰まってるらしいで。ちょっと吹いてみー。

44.武器

- J519. 凶器を持っていた。
 O519. 凶器を持ってた。
 J520. この鉄砲、ずいぶん旧式だね。
 O520. この鉄砲、かなり旧式やな。
 J521. 機関銃のほうは、最新式だ。
 O521. 機関銃は最新式やな。
 J522. 何の大砲だい、こりゃあ？
 O522. 何の大砲や、これ。
 J523. 警官はデモ隊に発砲した。
 O523. 警官はデモ隊に発砲した。
 J524. あごを弾丸でやられた。
 O524. あごを{銃/ 鉄砲/ 弾丸}でやられた。// あごを撃たれた。
 J525. 砲弾にやられた。
 O525. 砲弾でやられた。
 J526. 爆弾は不発だった。
 O526. 爆弾は不発やった。

- J527. 軍艦に乗って行ったんですよ。
 O527. 軍艦に乗って行ったんよ。
 J528. その戦闘ではタンクが大活躍した。
 O528. その戦闘ではタンクが大活躍した。

45.所有

- J529. たいした財産家だ。
 O529. すごい{大金持ち / 財産家}や。
 J530. この土地は中村さんの所有地です。
 O530. この土地は中村さん{のん / の所有地}{や/ です}。
 J531. なくさないように気をつけたまえ。
 O531. なくさんように気一つけや。
 J532. ひとつ、家主に頼んでみるか。
 O532. わかった、大家さんに頼んでみるわ。
 J533. この調子だとやっこさんすってんてんになってしまうぞ。
 O533. この調子やとあいつすっからかんになるぞ。
 J534. 一生懸命働いて金持ちになった。
 O534. 一生懸命働いて金持ちになった。
 J535. あの人たち、存命中は楽な暮らしをしていたけど……
 O535. あいつら、生きてる間は楽な生活してたけど。
 J536. 貧乏のふりをしている。
 O536. 貧乏のふりをしてる。
 J537. とうとうこじきに成り下がった。
 O537. とうとうこじきになりおった。
 J538. あちらのほうを差し上げましょう。
 O538. あれをあげましょう。
 J539. ぼくの贈り物をどうしても受け取ろうとしないんです。
 O539. 私からの贈ったもんをなんでか受け取ってくれへんのよ。
 J540. めいめいに二つずつやりました。
 O540. それぞれに 2 個ずつやった。
 J541. まだ 1 度も返事をもらいません。

- O541. まだ 1 回も返事をもらって{へん / ない}{わ。
 J542. 一ついただいてもよろしいですか。
 O542. 1 つもらっても{ええ / いいですか / よろしいか}？
 J543. それを拝借させていただきませんかでしょうか。
 O543. それ{拝借してよろしいでしょうか / 貸してもらえませんか}。
 J544. やつ、またたかりにきやがった。
 O544. あいつ、またたかりに来おった。
 J545. これはいただいてしまってよろしいのでしょうか。
 O545. これはいただいてよろしいんですか。
 J546. おつりは忘れずに返すんですよ。
 O546. おつりは忘れんと返せよ。
 J547. どうしてみんな捨てちゃうの？ もったいないね。
 O547. なんで全部捨てるん？ もったいないやろ。
 J548. どろぼうが忍び込んだ。
 O548. 泥棒が入った。

46. お金

- J549. お金の持ち合わせある？
 O549. 持ち合わせある？
 J550. [お札] あいにく大きいのしかなくて……
 O550. {大きいの/ 万札}しかないんですけど。
 J551. (A)このお札をくずしてくれないか。—
 O551. (A)これくずしてくれへんか。—
 J552. (B)細かいの、持ってないんだ。
 O552. (B)今、細かいの、ないねん。
 J553. はい、おつりです。
 O553. はい、おつりです。
 J554. [こじきに] いくらか恵んでやれよ。
 O554. なんぼか恵んだれや。
 J555. でも、5000 円も払ったんだからね。こちらとしては気前よくやったつもりなんだよ。

- O555. しかし、5000 円も払ったんやで。こっちとしたら気前ようやったつもりなんやて。
- J556. 支払いは小切手でいいですか。
- O556. 支払いは小切手で{ええか/ いいですか}。
- J557. がまぐちを盗まれた。
- O557. 小銭入れとられた/ 盗まれた。
- J558. さいふに気をつけなよ。
- O558. さいふに{気一つけーよ / 気ー一つけやー}。
- J559. 銀行はもうしまっていた。
- O559. 銀行もう閉まっていた。

47. 収入・支払い

- J560. たくさんもうけた。
- O560. {ぎょうさん/ けっこう}もうかった。
- J561. 収入が減ってきた。
- O561. 収入が減ってきた。
- J562. なかなかいい給料を取ってる。
- O562. けっこうええ給料もろてる/ もろてるんちゃうの。
- J563. むちゃくちゃに金を使ったもんだよ。
- O563. 昔はめちゃくちゃ金つこたなあ。
- J564. この家を買うのにいくら出したんです？
- O564. この家買うのん、いくらかかったん？
- J565. 現金で払いますよ。
- O565. 現金で (払います)。
- J566. 月賦で買えないんですか。
- O566. ローンで{いけます/ 大丈夫です/ 買えます}か。
- J567. あの男がどんなにけちだか知ってるだろう。
- O567. あの男がどんなけちか分かっているやろ。
- J568. おやじはけちんぼで、むすこのほうはその分だけ乱費家ときている。
- O568. おやじはけちで、むすこは反動でつかいまくりの浪費家やからなあ。
- J569. 値段がついてないね。

- O569. 値段がついてへんで。
 J570. これ、7万円したよ。
 O570. これ、7万円したわ。
 J571. 高すぎて、とても手が出ないよ。
 O571. 高すぎて、手一出へんわ。
 J572. 今はそんなぜいたくはできない。
 O572. 今はそんな贅沢は{でけへん / 無理や}から。
 J573. 安物は信用できない。
 O573. やすもんは信用でけへん。
 J574. 学生は入場無料だ。
 O574. 学生は入場無料(や。
 J575. バス代が値上げになった。
 O575. バス代上がった。
 J576. もうちょっとまけてもらえないかなあ。
 O576. もうちょいまけてくれへんか。
 J577. 帳面に付けといてください。
 O577. {帳簿 / 帳面}に付けといて。
 J578. あとで精算しよう。
 O578. あとで精算しよ。

48.商売

- J579. 商売をしている。
 O579. 商売(を)してる。
 J580. 地所を少しばかり買った。
 O580. 地所を少し買った。
 J581. 店を売ってしまった。
 O581. 店売ってしもた。
 J582. 注文したのはこれじゃないよ。
 O582. 注文したん、これちゃうで。
 J583. ちびちび値切った。
 O583. {ちよっとずつ / ちょいちょい / ちびちび}値切った。

- J584. 古本で手に入れた。
 O584. 古本を買うた。// 古本で手に入れた。
 J585. ちょうど向こう側に店があります。
 O585. ちょうど向こう側に店があります。
 J586. ここに店を持っている。
 O586. ここに店を持ってる。
 J587. [火事]品物はみんなやられちゃった。
 O587. 商品、全部やられてしもた。
 J588. おあいにくさまですが、その品物はございません。
 O588. すいません。そのしなもんはございません。
 J589. この町には小さな小売商しかいない。
 O589. この町には小売商しかおらん。
 J590. おとくいはみんな日本人です。
 O590. おとくいさんはみんな日本人です。

V. 社会生活

49. 家族と親せき

- J591. (A)子供が 10 人もあるんですよ。—(B)大家族ですね。
 O591. (A)子供が 10 人もおるんやて。—(B)大家族やな。
 J592. わたしのいとこと結婚した。
 O592. 私のいとこと結婚した。
 J593. それに、最近離婚の数もずいぶんふえたしね。
 O593. ほんで、最近離婚した数がかかなり増えたよな。
 J594. えっ、未亡人なんですか、あの人は？
 O594. えっ、未亡人なん、あの人。
 J595. ああ、あれはだんなさんに違いない。
 O595. ああ、あの人はだんなさんやろ。
 J596. 奥さんは、だんながたばこをのみすぎるって言うてました。
 O596. 奥さんが、だんながタバコを吸いすぎるって言うてました。
 J597. むずかしいもんだね、嫁としゅうとの仲は。

- O597. むずかしいもんやな、嫁と姑の仲は。¹⁸
- J598. お子さんは今何人いらっしゃいますか。
- O598. お子さんは今何人いらっしゃいますか。
- J599. むすこさんが老後の楽しみでした。
- O599. むすこさんが老後の楽しみでした。
- J600. かえってお嬢さんのほうがお喜びでしょう。
- O600. かえってお嬢さんのほうがよろこんでるんとちゃうのん。
- J601. (A)ご兄弟は多いんですか。—(B)4 人兄弟です。
- O601. (A)ご兄弟は多いんですか。—(B)4 人兄弟です。
- J602. あのひとと妹さんをお呼びしました。
- O602. あのひとと妹さんをお呼びしました。
- J603. 両親ともまだ達者です。
- O603. 両親ともに健在です。
- J604. おとうさんの言うことを聞かなきゃいけないよ。
- O604. お父さんの言うこと聞かなあかんで。
- J605. お帰りになったらおかあさんによろしく。
- O605. 帰ったらお母さんによろしく言うといて。
- J606. ほんとうのおかあさんじゃないんだってね。
- O606. ほんまのお母さんやないんやて。
- J607. これでわたしもおじいさんになったね。
- O607. これで私もおじいさんやな。
- J608. おばあさんは相変わらずお達者ですか。
- O608. おばあさんは相変わらずお元気ですか。
- J609. その人にはおじさんのところで会った。
- O609. その人にはおじさんのとこで会った。
- J610. この本もおじさんのでした。
- O610. この本もおじさんのやった。

¹⁸ 「嫁」と「夫の父」の関係より、「嫁」と「夫の母」の関係の方が悪いと考え、「姑(しゅうとめ)」とした。フランス語原文は「*belle-mère*」である。日本語の「しゅうと」は義父も義母もどちらも指す用法であるので、ここでは原文および現実に従い「しゅうとめ」と訳した。

J611. いとこです。

O611. いとこ(や/ です)。

J612. うちの親せきは貧乏人ばかりだな！

O612. うちの親せきは貧乏人ばかりやな。

50.個人と集団

J613. そりゃあ社会の罪だ。

O613. そら (社会の) 罪やわ。

J614. それは私事じゃないかね。

O614. それは私事やないか。

J615. まずわたしの名まえを聞いた。

O615. まず私の名前を聞いてきた。

J616. それはどの中村さん？

O616. それはどの中村さん？

J617. 太郎、すぐ来ないとひどい目にあわせるぞ。

O617. 太郎、すぐ来んかったら、ひどい目にあうぞ。

J618. これは花子さんへ。

O618. これは花子さんに。

J619. 人の言うことなんか構ってられるかい！

O619. 人の言うことなんか構ってられるか。

J620. 人込みで迷子になった。

O620. 人込みで迷子になった。

J621. 7時 15分前に散会した。

O621. 7時 15分前に散会した。

J622. 会社の創立 50 周年記念の祝賀会があった。

O622. 会社の創立 50 周年記念の祝賀会があった。

J623. あの人は知りません。

O623. あの人は知らん。

J624. (A)あの人を知ってますか。—(B)ええ、一、二度会ったことがあります。

O624. (A)あの人知ってる？ —(B)はい。1,2 回会うたことがあるわ。

- J625. つきあいの悪い人だね。
 O625. つきあいの悪いやっちゃな。
 J626. 個人の庭だから入れない。
 O626. 人んちの庭やから入ったらあかん。
 J627. 国立の学校です。
 O627. 国立の学校です。
 J628. なにしろ人口が 100 万になったことだしね。
 O628. なんやかんやで人口が 100 万人になったしなあ。
 J629. これから発展していく国だ。
 O629. これから発展していく国や。
 J630. 国家のためというわけか！
 O630. 国家のためというわけ{なんやな/ か}！
 J631. [外国人] 日本に骨を埋めました。
 O631. 日本に骨を埋めました。
 J632. (A)わたしは日本人です。—(B)あの人もそうですよ。
 O632. (A)私は日本人です。—(B)あの人もそうや。
 J633. あの方は外国で生まれた。
 O633. あの方は外国で生まれた。
 J634. 何だい、あの外人たちは！
 O634. なんや、あの外人は！

51. 礼儀と儀礼的表現

- J635. さあさあ、どうぞご遠慮なく。
 O635. まあまあ、ご遠慮なく。
 J636. どうも、ご親切に。
 O636. どうも、ご親切に。
 J637. そう言っちゃ悪いけど、ずいぶん冷たい人だなあ。
 O637. 言うたら悪いけど、ほんま冷たいやっちゃなあ。
 J638. 酔っ払ってひどい悪態をついていたんですよ。
 O638. 酔っ払ってとんでもない悪態ついていたんですよ。
 J639. せっかくのお志でしたのに申しわけありませんでした。

- O639. せっかくのお志でしたのに申しわけありませんでした。
 J640. (A) どうもご苦労さんでした。—(B) どういたしまして。
 O340. (A) お疲れ様でした。—(B) どうも。
 J641. ていねいに包んでくださいね。
 O641. ていねいに包んでや。
 J642. (A) 品物を見せてください。—(B) はい、かしこまりました。
 O642. (A) しなもんを見せてください。—(B) はい、かしこまりました。
 J643. (A) コーヒーをもう 1 杯いかがですか。—(B) いただきます。
 O643. (A) コーヒーをもう 1 杯{どう かが}ですか。—(B){ありがとうご
 ざいます。/ いただきます}。
 J644. 伺えないかもしれません。
 O644. 行かれへんかもしれません。
 J645. 何ですって？
 O645. なんやて？

52. あいさつ・呼びかけ

- J646. わたしにそっけないあいさつをした。
 O646. 私にそっけないあいさつをした。
 J647. こんにちは。
 O647. こんにちは。
 J648. こんばんは。
 O648. こんばんは。
 J649. 初めまして。
 O649. はじめまして。
 J650. こんにちは。お元気ですか。
 O650. こんにちは。{お元気ですか/ 元気}。
 J651. (A) どうだい？—(B) まあ、元気だよ。
 O651. (A) どないや。—(B) まあ、元気や。
 J652. すいませんが、駅へ行く道を教えていただけませんか。
 O652. すいません。駅に行く道を教えていただけませんか。
 J653. ちょっと遅れちゃって、どうもすみません。

O653. すんません、遅れてしもて。

J654. おじやまじゃありませんか。

O654. おじやまとちやいますか。

J655. (A)ゆっくりしていられませんので、これで失礼します。—(B)じゃあ、また。

O655. (A)すいません、今日はゆっくりできませんので、これで(失礼します)。
—(B) ほな、また。// また、来てください。

J656. さよなら。またあしたね。

O656. {ほな/ さいなら}、またあした。

J657. あのかたは何とおっしゃいますか。

O657. あの方は何とおっしゃいますか。

J658. やあ、あなたでしたか、小林さん。

O658. ああ、{あんたやった/ あなたでした}か、小林さん。

J659. (A)そういうふうにしてよ。—(B)はい、かしこまりました。

O659. (A)そんなふうにして。—(B)はい、かしこまりました。

J660. (A)あのご婦人はどなたですか。—

O660. (A){あのご婦人/彼女}はどなたですか。—

J661. (B)加藤さんの奥さんじゃないですか！

O661. (B)加藤さんの奥さんやないですか。

J662. もしもし、かさをお忘れですよ。

O662. すいません、かさ忘れてますよ。

J663. 若い女のかたが面会に見えてますよ。

O663. 若い女のかたが面会に見えてますよ。

J664. (A)鈴木さんいらっしゃってますか。—(B)ええ、いらっしゃってると
思います。

O664. (A)鈴木さんいらっしゃってますか。—(B)はい、いらっしゃってると
思います。

J665. 花子さん、車が来ましたよ。急いで！

O665. 花子さん、車来たよ。急いで！

53. 訪問

- J666. あの人たちを呼んでごちそうしようじゃないか。
 O666. あの人ら呼んでごちそうせーへんか。
 J667. (A)後ほどまたおたずねします。—(B)ええ、どうぞ。
 O667. (A)後ほどまた。—(B)また、どうぞ。
 J668. 中村さんにお目にかかりたいんですが……
 O668. 中村さんにお目にかかりたいんですけど。
 J669. (A)しまった、忘れ物をしちゃった。—(B)何さ?—(A)名刺だよ。
 O669. (A)しもた、忘れもんしてしもた。—(B)何?—(A)名刺や。
 J670. たずねてきても絶対に会ってやらないぞ。
 O670. 来たところで絶対会わへんからな。
 J671. お通ししなさい。
 O671. お通しして。
 J672. 客間にお通ししなさい。
 O672. 客間にお通しして。
 J673. その日はお客があってね。
 O673. すいません。その日はお客さんが来てたもんで。

54. 娯楽・スポーツ

- J674. 冗談が好きだ。
 O674. 冗談が好きや。
 J675. 本気で言ってるの?
 O675. 本気で言うてんのんか?
 J676. 会の最後はダンスになった。
 O676. 会の最後はダンスになった。
 J677. (A)じゃあ、トランプでもやるか。
 O677. (A)そしたら、トランプでもするか。
 J678. (B)たまにはほかのことをしたら。
 O678. (B)たまにはほかのことせーや。
 J679. 道々、おもちゃを買えってきかなかったんだよ。
 O679. 帰りながらずっとおもちゃ買えってきかへんかったんよ。

- J680. あの年でまだ人形で遊んでるよ！
 O680. あの年でまだ人形で遊んでんのんかい。
 J681. この町にはおもしろいことがあまりない。
 O681. この町はおもしろいことがほんまないなあ。
 J682. あの人の妹と踊ってる。
 O682. あの人の妹と踊ってる。
 J683. スポーツもやりすぎると毒だよ。
 O683. スポーツもやりすぎたら毒やで。
 J684. 確かにいつもの調子が出なかったようだな。
 O684. 確かにいつもの調子が出へんかったみたいやな。
 J685. この学校でいいのはフットボールだけさ。
 O685. この学校で頑張ってるんはフットボールだけや。
 J686. テニスをやるといいよ。
 O686. テニスやったらええんちゃうん。
 J687. すばらしい試合だったなあ。
 O687. ええ試合やったなあ。

55.地位

- J688. 社会的地位の割りに収入は少ないほうだ。
 O688. 社会的地位の割りに収入は少ないほうや。
 J689. 支配人はこちらですか。
 O689. 支配人はこちらのかたですか。
 J690. お店をやめてデパートに勤めることになったそうだよ。
 O690. 店辞めてデパートで働くことになったみたいやで。
 J691. 近ごろは労働者の収入もよくなったもんだ。
 O691. 最近は労働者の収入もよくなったんやな。
 J692. 小林さんが会長になった。
 O692. 小林さんが会長になった。
 J693. 昨晚の会には大臣も来ていた。
 O693. 昨日の夜の会合には大臣も来てた。
 J694. 政府が、だいいち、はっきりした方針を示していないのだからね。

- O694. 大体、政府がはっきりした方針を示してへんからなあ。
 J695. 王位についてのは弟のほうだ。
 O695. 王位についてのは弟のほうや。
 J696. 加藤さんの奥さんは貴族の出です。
 O696. 加藤さんの奥さんは貴族の出です。
 J697. みんな中流向きの住宅です。
 O697. 全部中流向きの住宅です。
 J698. 庶民の出だ。
 O698. 庶民の出や。
 J699. わたしではわかりかねますので、主人と替わります。
 O699. わたしやとよう分かりませんので、主人と替わります。
 J700. 女中を 2 人も使っている。
 O700. 女中を 2 人もつこてる。
 J701. 向かいの女中はいつも窓に立ってる。
 O701. 向かいの女中はいつも窓に立ってる。
 J702. (A)まったくあんな慣習は文明国の恥だ。 —
 O702. (A)ほんまあんな慣習は文明国の恥やな。 —
 J703. (B)実際そうだよ。ちょっと野蛮だね。
 O703. (B)ほんまやな。けっこう野蛮やな。

56.和・不和

- J704. ぼくもそれに大賛成だよ。
 O704. おれもそれに大賛成やわ。
 J705. 意見が分かれた。
 O705. 意見が分かれた。
 J706. (A)賛成ですか、反対ですか。 —
 O706. (A)賛成ですか、反対ですか。 —
 J707. (B)そんな話、聞くのもいやだね。
 O707. (B)そんな話、聞きたないわ。
 J708. 友達の少ない人です。
 O708. 友達が少ない人です。

- J709. 人とあまり心安くしすぎるのもよしあしだ。
 O709. 人とあんまり気安くしすぎるのもよしあしやなあ。
 J710. 2 人とも口をきかないところを見ると、さてはけんかしたんだね。
 O710. 2 人とも口きかへんところを見る限り、けんかしたんやな。
 J711. いつも仲よく暮らしてきた。
 O711. いつも{仲よう/ 仲よく}暮らしてきた。
 J712. 昔はよくけんかしたもんだ。
 O712. 昔はようけんかしたもんやなあ。
 J713. 一家を養っていかなければならない。
 O713. 一家を養うていかなあかん。
 J714. まだすねかじりです。
 O714. まだすねかじりです。
 J715. 20 年間一緒に働いている。
 O715. 20 年間一緒に働いてる。
 J716. ぼくのことならだいじょうぶ、なんとか弁明してみせるさ。
 O716. おれのことやったら大丈夫やから。なんとか(弁明)するから。
 J717. 10 分後に助けが来た。
 O717. 10 分後に助けが来た。
 J718. こんなくだらないことなら、わざわざ出かけていくこともなかったのさ。
 O718. こんなくだらんことやったら、わざわざ出かけんでもよかったやろが。
 J719. それはあなたに任せます。
 O719. それはそちらに任せます。

57. 社会的束縛

- J720. わたしの言いつけを何一つ実行しなかった。
 O720. 私の言いつけを何一つやらへんかった。
 J721. どうしてもそうしなければならないんだ。
 O721. どないしてもそうせなあかんねん。
 J722. 自由を束縛されてるから、まったくかわいそうだよ。

- O722. 自由を束縛されてるから、ほんまかわいそうやわ。
 J723. 外出の許可を求めた。
 O723. 外出の許可を求めた。
 J724. やかましい！ そんなにがやがや騒ぎなさんな。
 O724. やかましわ。 そんなにごちゃごちゃ騒ぐな。
 J725. いけません。
 O725. あかん。
 J726. でも、どうして言うことを聞かなかったんだい？
 O726. あんなあ、なんで言うことを聞かんかったんや。
 J727. この組は規律正しい。
 O727. この組は規律正しい。
 J728. あの人が実権を握ってるのさ。
 O728. {あいつ/ あの人}が実権を握ってる{んや/ らしいで}。
 J729. この辺に交番がありますか。
 O729. この辺に交番ありますか？
 J730. おまわりに連れていかれたよ、あの酔っ払い。
 O730. おまわりさんに連れていかれたで、あの酔っ払い。
 J731. どろぼうは高飛びしないうちにつかまった。
 O731. どろぼうは高飛びせーへんうちにつかまった。

58. 法律・裁判

- J732. 法律の勉強をしている。
 O732. 法律の勉強をしてる。
 J733. この法律はもう無効だ。
 O733. この法律はもう無効や。
 J734. どういう権利があって？
 O734. どういう権利があんねん。
 J735. 事件は裁判ざたになった。
 O735. 事件は裁判ざたになった。
 J736. あなたの責任ですよ。
 O736. 君の責任やで。

- J737. あの男はその責めを問われて訴えられた。
 O737. あの男はその責任を問われて訴えられた。
 J738. 弁護士がなかなかよくやってくれた。
 O738. 弁護士がほんまようやってくれた。
 J739. 訴訟を起こしたって勝ちめはないさ。
 O739. 訴訟起こしても勝ち目ないで。
 J740. 弁護士はいいのを選ばないといけませんよ。
 O740. 弁護士はええのん選ばんとあかんで。
 J741. ととも頭のいい判事ですてね。
 O741. すごく頭がええ判事やからなあ。
 J742. 例の件はどうとう判決が下ったそうだね。
 O742. 例の件、どうとう判決下ったみたいやな。
 J743. 結局無罪放免になった。
 O743. 結局無罪放免になった。
 J744. 有罪と宣告された。
 O744. 有罪{と宣告された/ や言われた}。
 J745. あの男は当然厳罰を受けるべきだ。
 O745. あの男は、当然厳罰を{受けなあかん/ 受けるべきやな}。
 J746. 見つかったら罰金じゃ済まないよ。
 O746. 見つかったら、罰金じゃすまんぞ。
 J747. あそこに見える建物は刑務所です。
 O747. あそこに見えるたてもんは刑務所や。
 J748. スパイは銃殺された。
 O748. スパイは銃殺された。
 J749. いつも賞をひとり占めにしたのはあの子だった。
 O749. いつも賞をひとり占めにしたんはあの子やった。

59. 軍隊

- J750. 軍籍に身を置いている。
 O750. {軍隊/軍籍}に身を置いている。
 J751. いや、兵卒だけさ。

- O751. いや、{兵士/ 兵卒}だけや。¹⁹
 J752. 士官のほうはその必要がないんだ。
 O752. 士官はその必要がないんや。
 J753. 平和だって？ いや、なかなか戦争は終わるまいよ。
 O753. 平和やて？ うーん、なかなか戦争は終わらんよ。
 J754. 戦争のおかげで何もかも高くなった。
 O754. 戦争のせいで何もかも高くなった。
 J755. 休戦の話があるけれど、まだ確かな筋からの情報ではない。
 O755. 休戦の話があるけど、まだちゃんとした筋からの情報やないんで。
 J756. それでとうとう降参したんだね、敵は。
 O756. それでとうとう降参したんやな、敵は。
 J757. やっぱり一種の同盟さ。
 O757. やっぱり一種の同盟や。
 J758. その戦いではそっちのほうで旗色が悪かった。
 O758. その戦いではそっちのほうで旗色悪かったんやな。
 J759. しかし、よく勝てたね、そんな少ない兵力で。
 O759. しかし、よう勝てたな、そんなけ少ない兵力で。
 J760. つまりは空軍にやられたというわけなんだ。
 O760. 結局、空軍にやられたちゅうわけなんやな。

VI. 精神活動

60. 意志・欲求

- J761. 少なくとも3カ月はいるつもりだ。
 O761. 少なくとも3カ月はいるつもりや。
 J762. 今出かけようとしていたところです。
 O762. 今出かけようとしてたところです。

¹⁹ フランス語原文の 571 は「soldat」であるので、「兵士」でもかまわないと思うが、752 の「officier」における「士官、上官」と区別するために、『日本語二千字』では「兵卒」という訳語を用いたと推測した。「兵卒」は使用語彙ではないが、この翻訳を通じて「士官」と対比させるために学んだ語彙であるので、選択できるという形で掲載した。

- J763. 断りもしなかったが、さりとて承知もしなかった。
- O763. 断りはせんかったけど、{うんとも言わんかった/ 承知もせんかった}。
- J764. (A)やってくれる?—(B)とんでもない。
- O764. (A)やってくれへん。— (B)あかんに決まってるやろ。
- J765. さあ、しっかりね。だいぶ進歩してるよ。
- O765. しっかりやってや。だいぶ進歩してるし。
- J766. だから言わないこっちゃないじゃないか。
- O766. だから言わんこっちゃない。
- J767. あ いつの言うことなんか聞いちゃだめだよ。
- O767. あいつの言うことなんか聞いたらあかんぞ。
- J768. 好きなのをお取り。
- O768. 好きなん取ったら。
- J769. やっと結論が出た。
- O769. やっと結論出た。
- J770. とても精力家だよ。
- O770. かなりの精力家やで。
- J771. やつはいくじなしだ。
- O771. あいつは{こんじよなし/ いくじなし}や。
- J772. なんでもかって気ままにやろうとするんだね。
- O772. なんでも勝手気ままにやろうとするのやなあ。
- J773. 意地っ張りで、言い出したら聞かないんだから。
- O773. 意地っ張りやから、言い出したら聞かへんのよなあ。
- J774. あいつは大それた望みを持っている。
- O774. あいつはでっかい{野心 / 野望}を持ってる。
- J775. (A)やってみただけど、とうていだめだった。
- O775. (A)やってみただけど、ほんまあかんかった。
- J776. (B)もうあきらめたほうがいいんじゃない?
- O776. (B)もうあきらめたほうがええんとちゃうの。
- J777. できるだけことはしてあげたんだが……
- O777. できるだけことはしてやったんやけど。

J778. 笑わずにはいられなかった。

O778. 笑わずに{おれんかった/ おれなんだ/ いられんかった}。// 笑わんと{おれんかった / おれなんだ / 無理やった}。

61.感情

J779. そのことを根に持っているようですよ。

O779. そのこと、根に持ってるらしいで。

J780. 感動して涙が出た。

O780. 感動して涙が出た。

J781. 穏やかな性質です。

O781. 穏やかな性質です。

J782. まあ落ち着けよ。そんなにいらいらしたってしょうがないよ。

O782. まあ落ち着けや。そんなにいらいらしてもしゃあないやろ。

J783. 勇気がないな。

O783. 勇気ないなあ。

J784. すっかりしょげてたよ。

O784. ほんまへこんでたなあ。

J785. すごくこわかった。

O785. すごくこわかった。

J786. まったくずぶとい盗みようだ。

O786. ほんま大胆な盗みようやな。

J787. あの人をすっかり信用しています。

O787. あの人をすっかり信用しています。

J788. わたしを疑っているんですかね？

O788. 私を疑ってんのんか？

J789. おや、切符をどうしちゃったかしら。

O789. あれ、切符どこいったんやろ。

J790. もちろん断ったよ。

O790. もちろん断ったよ。

J791. そいつあままったく妙な話ですね。

O791. なんや、ほんま変な話やなあ。

62.快・不快

- J792. [入浴] さっぱりしていい気持ちだ。
- O792. さっぱりしてええなあ。
- J793. あっちっち！ 指をやけどしちゃった。
- O793. あっつ。指やけどした。
- J794. にこにこして喜んだ。
- O794. にこにこして喜んだ。
- J795. 顔が悲しげだ。
- O795. 顔が悲しげだ。
- J796. よかった！ 本人はさぞかし喜ぶことだろう。
- O796. よかったなあ。本人、めっちゃ喜ぶやろな。
- J797. (A)いつも運が悪いんだ。—
- O797. (A)いつも運が悪いねん。—
- J798. (B)くよくよするなよ。
- O798. (B)くよくよすんなや。
- J799. そのたよりで安心した。
- O799. そのしらせで安心した。
- J800. わたしの贈り物をとても喜んでくれた。
- O800. {私からの贈りもんを/ 私が贈ったもんで}すごく喜んでくれた。/
- J801. とても不満そうだったぜ。
- O801. すごく不満そうやったぞ。
- J802. ちくしょう！ あのやろう、またじゃましに来やがった。
- O802. くそっ。 あいつ、またじゃましに来おった。
- J803. あの人の冗談ときたらおかしくって。
- O803. あいつの冗談はおもしろいわ。
- J804. 気に入ったのなら、買ってもいいよ。
- O804. 気に入ったら、買うてもええよ。
- J805. それは気に入らないね。高すぎるよ。
- O805. それは気に入らんわ。高すぎる。
- J806. 確かに頭はあんまりいいほうじゃないが、かわいいじゃないか。
- O806. 確かに頭はあんまりよくないけど、かわいいやんか。

- J807. でも、好きで一緒になったんだろう？
 O807. でも、好きで一緒になったんやろ。
 J808. どうにもがまんのできないやつだ、あいつは！
 O808. どうもがまんでけへんなあ、あいつは。
 J809. その女をくどいているところだった。
 O809. その女をくどいてるとこやった。
 J810. (A)もうたくさんだ。—
 O810. (A)うんざりやわ。—
 J811. (B)おこらないでくれよ。今のは冗談だから。
 O811. (B)怒らんといてくれや。今のは{しゃれ / 冗談}やんか。
 J812. よかった！ それならもう金を借りに来なくなる。
 O812. よかったなあ。それやったら、もう金借りに来んやろ。
 J813. まだやってこない。しょうがない、もうこれ以上は待てないや。
 O813. まだ来んのか。もうあかん、これ以上は待てん。
 J814. こっちは平気だね。
 O814. こっちは平気やから。

63.対人感情

- J815. おまえなんか、がりがりもうじゃだ。
 O815. おまえ、金の亡者やんけ。
 J816. お高くってつきあいきれないよ、あの連中は。
 O816. お高くとまっててつきあいきれへんわ、あの連中は。
 J817. あんな大ぼら吹き、みたこともないや。
 O817. あんな大ぼら吹き、みたことないわ。
 J818. 控えめな人だから、押しをきかすなんてことはできないのさ。
 O818. 控えめな人やから、押しきるなんてことはでけへんよ。
 J819. 赤っ恥をかいた。
 O819. {大恥 / 赤っ恥}かいた。
 J820. みんなの前ですっかりどぎまぎしてしまった。
 O820. みんなの前ですっかりうろたえてしもた。
 J821. その娘は恥ずかしがって、ろくろく口もきけなかった。

- O821. その娘は恥ずかしがって、ろくに口もきけなかった。
 J822. あの男には感謝の気持ちってものがちっともないんだ。
 O822. あの男には感謝の気持ちってもんが全然あらへん。
 J823. いとこがあの人にやきもちをやいている。
 O823. いとこがあの人にやきもちやいとる。
 J824. まあ見てろよ、かたきを討ってやるから。
 O824. まあ見とけ、かたきは討ってやるから。
 J825. (A)あいつをそのままにしておくもんか、絶対に！—
 O825. (A)あいつをそのままにしておくわけないやろ。絶対にな。—
 J826. (B)ほんとにひどいしうちだよ。
 O826. (B)ほんまにひどいしうちやな。
 J827. もうちょっと同情してやったっていいんじゃないかね。
 O827. もうちょい同情してやってもええんちゃうの。

64. 価値判断

- J828. これをどう思う？
 O828. これどう思う？
 J829. いえ、何でもありませんよ。
 O829. いや、何でもないわ。
 J830. いちばんたいせつなことだ。
 O830. 一番大切なことや。
 J831. その景色はわざわざ見に行くだけの値打ちがあるのかね。
 O831. その景色はわざわざ見に行く値打ちがあるんか。
 J832. この小説をどう評価したらいいのかわからないや。
 O832. この小説、どない評価したらええんか分かん。
 J833. よく知らせてくれました。
 O833. よう知らせてくれた。
 J834. 懲らしめてやらなきゃあ、あのろくでなしめ。
 O834. 懲らしめてやらんとあ、そのろくでなしは。
 J835. 料理はまあまあというところで、とびきり上等とまではいかないな。

- O835. 料理はまあまあというレベルなんで、めちゃくちゃうまいまでは{いかへん / いかん}な。
- J836. そうしたって別にさしさわりはないさ。
- O836. そうしたところで別に差し障りはないから。
- J837. 家も何もないかわいそうなやつだ。
- O837. 家もなんもないかわいそうなやつやねん。
- J838. そんなことまったくばかげてると思うよ。
- O838. そんなんほんまあほちゃうかと思うわ。 / そんなんほんまばかげてると思うわ。
- J839. しんぼう強い人たちには感心するよ。
- O839. {我慢強い / 辛抱強い}やつらには感心するわ。
- J840. 遅刻してしかられた。
- O840. 遅刻して怒られた。
- J841. いったいぜんたい、こんなことってあってもいいものかね？
- O841. なんかほんま、こんなんあつてええんか。
- J842. あの人のために思ってのことなのに.....
- O842. あいつのことを思ってのことやのになあ。
- J843. そんなことしちゃ、絶対きみの損だ。
- O843. そんなことしたら、絶対おまえが損するで。
- J844. 若けりゃ若いほどいい。
- O844. 若けりゃ若いほどええ。
- J845. そのほうがもっと悪いよ。
- O845. そっちのほうがもっと悪いわ。
- J846. あまり端のほうを歩くとあぶないよ。
- O846. あんまり端っこ歩いたら危ないで。
- J847. このはしごはだいじょうぶかい？
- O847. このはしご大丈夫？

65.注意

- J848. だいじょうぶ通れるよ。ただよっぽど気をつけなくちゃあね。
- O848. たぶん通れる。結構気一つけて通ってや。

- J849. わたしはそれにふと気がついた。
 O849. 私はそれにふと気がついた。
 J850. どこが違うか教えてあげよう。
 O850. どこが違うか教えたるわ。
 J851. 片時も用心を忘れないように。
 O851. いつでも用心すること忘れんなよ。
 J852. あれは輸出用です。とくに念入りに作ってあります。
 O852. あれは輸出用。そやから、とくに念入りに作ったーります。
 J853. [事故] 不注意からさ、やっぱり。
 O853. 不注意からやろ、やっぱり。
 J854. だれも子どもの世話をする人がいない。
 O854. 子どもの世話する人が誰もおれへん。
 J855. おもしろいことがあったんだよ。
 O855. おもしろいことがあってん。
 J856. がまぐちをなくしたんじゃないかな。
 O856. 小銭入れをなくしたんやないか。
 J857. そこらじゅう捜したけどな。
 O857. そこらじゅう捜したんやけどな。
 J858. わあ、こんな虫が！ 見に来てごらん。
 O858. うわっ、こんな虫おるで。見に来てみー。
 J859. さんざ捜したあげく、とうとう見つからなかった。
 O859. さんざん捜したけど、結局見つからなかったわ。
 J860. それを発明したのはだれだっけ？
 O860. それ発明したん、{誰や/ 誰やった}？

66.思考

- J861. ほんとうに靈魂が不滅だと思ってるのかい？
 O861. ほんまに靈魂が不滅やと思ってるんか？
 J862. 人間がまだ未熟だ。
 O862. 人間がまだ未熟や。
 J863. ちょうどそのことを考えていたんだ。

- O863. ちょうどそのこと考えてたんや。
 J864. この考えをどう思う？
 O864. この考えどう思う？
 J865. ふとその考えが浮かんだ。
 O865. ふとその考えが浮かんだ。
 J866. そのことはとっくり考えた。
 O866. そのことはじっくり²⁰考えた。
 J867. そそっかしい女だ。ろくに考えもしない。
 O867. そそっかしい女や。ろくに考えもせんで。
 J868. そういうことなら、文句なしに承諾したらいいでしょう。
 O868. そういうことやったら、文句なしで承諾でいいでしょう。
 J869. 間違ってるかどうか決めるのはわたしのすることじゃない。
 O869. 間違ってるかどうか決めんのんは、私のすることやない。
 J870. 色を見分けることができない。
 O870. 色を見分けられへん。
 J871. まったく別のことと混同してるんだよ。
 O871. まったく別のことと混同してるんや。
 J872. 若い人のほうが分別のある行動をとることもあるさ。
 O872. 若い人の方が分別のある行動をとることもあるやろ。
 J873. 物の道理をわきまえた人だ。
 O873. 物の道理をわきまえた人や。
 J874. ちょっと頭がおかしいんじゃない、きみは？
 O874. ちょっと頭おかしいんとちゃうか、おまえ。
 J875. あまり早口だから、一言も分からない。
 O875. あまりに早口やから、一言も分からない。
 J876. わけは簡単さ。
 O876. わけは簡単やろ。
 J877. 頭がいいぞ。
 O877. 頭ええなあ。

²⁰ 「とっくり」が使用語彙ではない。

J878. [ばか] どうも足りないようだね、少し。

O878. どっかちょっと足らへんみたいやな。

J879. 自分じゃ天才のつもりなんだ。

O879. 自分は天才のつもりなんやろ。

J880. 気違い病院に入れられた。

O880. 精神 (科) 病院に入れられた。

67. 知識

J881. あの人はそれを知ってるの？

O881. あの人、それ知ってるん？

J882. どこからそんなことを聞き込んできたんだい？

O882. どっからそんなこと聞いてきたんや。

J883. ここしばらく姉や妹からたよりがない。

O883. 最近ずっと姉や妹から連絡がない。

J884. (A) いったいどこへ行ったのかしら。—

O884. (A) いったいどこに行ったんや。—

J885. (B) ほんとにおかしいですね。

O885. (B) ほんまおかしいな。

J886. 汽車の時間を問い合わせた。

O886. 汽車の時間を問い合わせた。

J887. たよりがあつたら、すぐ知らせます。

O887. 連絡があつたら、すぐ知らせます。

J888. 箱の中に隠した。

O888. 箱の中に隠した。

J889. こと細かに明かしてくれた。

O889. {めっちゃくちゃ丁寧に / こと細か}に説明してくれた。

J890. 専門家に言わせると、この機械はもう使いものにならないそうだ。

O890. 専門家に言わせたら、この機械はもう使いもんにならない{らしいで / そうや / ということや}。

J891. 頭もとても鋭いし、いい学者になるだろう。

- O891. 頭{めちゃくちゃ/ かなり/ けっこう}ええから、ええ学者になる{やろ/ んとちゃうか}。
- J892. 科学にたいへん興味を持っている。
- O892. 科学に{めちゃくちゃ/ かなり/ すごく}興味{がある/ を持っている}。
- J893. いや、ラテン語だって知らないよ。
- O893. いや、ラテン語{かて/ も}知らんよ。
- J894. 隠れもない、だれでも知っていることさ。
- O894. だれでも知ってる{んちゃうんか/(こと)やろ}。
- J895. 内々にある人から打ち明けられたことだ。
- O895. 内々{で/ に}ある人から{聞いた/ 打ち明けられた}ことやねんけど。
- J896. これはここだけの話だよ。
- O896. これはここだけの話や{からな/ で}。

68. 記憶

- J897. 頭はいいようだが、記憶力のほうはどうかね？
- O897. 頭はええみたいやけど、記憶力はど(う)や(ねん)？
- J898. さあて、みやげは何にしようかね。
- O898. さて、みやげは{どない/ 何に}しよ。
- J899. 何と言ったっけな、あの人の名は。ええと……どうしても思い出せない。
- O899. 何{ちゅうた/ やった}っけ、あの人の名前。うーん、あかんわ、{どないしても/ どうしても}{思い出されへん/ 出てこん}(わ)。
- J900. [曲]そらでひけるかい？
- O900. そらでひけるか？
- J901. 今となっては、ばかなことをしたと後悔してるんじゃない？
- O901. 今となったら、あほなことしたんやないかと後悔してるんちゃうか。
- J902. ほんとに忘れ物はないかい？
- O902. (ほんまに)ほんま忘れもんはない(ん)か？
- J903. どうも物覚えが悪くて……
- O903. どうも物覚えが悪うて。

J904. 小さいころは物覚えがとてもよかったんだが、すっかりだめになってしまった。

O904. 小さいときは物覚え{よかった/ すごかった}んやけど、今はほんまあかん{ようになってしもた/ わ}。

69.想像力

J905. ゆうべは変な夢を見た。

O905. 昨日変な夢を見た。

J906. 思いもつかないことですよ。

O906. 思いもつかんかったわ。// 思ってもなかったわ。

J907. そりゃあきみのひとり合点さ。

O907. それはおまえの思いこみやろ。

J908. 当たったあ、そのとおりでよ。

O908. 当たり (や)。その通りや。

J909. きのお目にかかれると思っていましたのに.....

O909. 昨日{会える/ お目にかかれる}と思 (っ) てたん{です/ や}けど。

J910. また思いがけない出費だ。

O910. また思いがけん出費や。

J911. あいつにはがっかりしたなあ。察してくださいよ。

O911. あいつはがっかりやわ。察してくれ{や/ よ}。

J912. これが最後の望みの綱だ。

O912. これが最後のたよりや。

J913. ああ、もう見込みがない。

O913. あかん、もう見込み (が) ない。

J914. ちょっとお待ちください。

O914. ちょっとお待ちください。

J915. 少しはしんぼうできなくちゃあ。

O915. ちょっとはしんぼう{できんかあ/ せな/ せーよー}。

J916. これっぽっちもしんぼうできないんだから.....

O916. なんもしんぼう{でけへんのやなあ/ できんのか}。

J917. 予言したことはみんなほんとうになってしまった。

O917. 予言したこと、全部{ほんまになってしもた/ あたってしもた/ ほんまになった} (わ)。

70. 性格・道徳

J918. まったくしかたのない性質だな。

O918. ほんま{どうにもならん/ どうしようもない}{やっちゃ/ 性質や}な。

J919. そこがやっこさんのとりえさ。

O919. そこがあいつのとりえやろ。

J920. どうせぼくは欠点だらけだよ。

O920. どうせおれは欠点だらけやろ。

J921. わたしが職につけたのはあの人のおかげです。

O921. 私が職につけたのはあの人のおかげです。

J922. 遅れたのはきみのせいだよ。

O922. 遅れたんはおまえのせいやろ。

J923. あんなろくでなしのまねなんかしないほうがいいよ。

O923. あんなろくでなしのまねなんかせんほうがええよ。

J924. いいみせしめだよ。

O924. ええみせしめやわ。

J925. 他人のしていることに興味なんかないね。

O925. 他人のしていることに興味ないわ。

J926. 正当な扱いを受けなかった。

O926. まともな扱いを受けへんかった。

J927. 不公平だよ。

O927. 不公平やわ。

J928. ねえ、子どもができちゃったんだってさ。いい恥っさらしだ。

O928. なあ、子どもできたんやて。ええ恥さらしやの一。

J929. 自分の務めを忠実に果たした。

O929. 自分の務めを忠実に果たした。

J930. 言いにくいことだが、ほんとのところ、あの男正直じゃないな。

O930. 言いにくいんやけど、ほんまの{ところ/ はなし}、あの男正直やないな。

- J931. うぶだなあ、おまえは！
- O931. {純情/ 無邪気}²¹やなあ、おまえは。
- J932. 抜けめのないやつだ。
- O932. 抜けめのないやつや・
- J933. そんな悪いこと、良心が許さない。
- O933. そんな悪いこと、良心が許さん。
- J934. あの人のごきげんください。
- O934. あの人のごきげんしだいやな。
- J935. きょうは上きげんのようだね。
- O935. 今日は上機嫌みたいやな。
- J936. 気をつけろよ。きょうはごきげん斜めだぜ。
- O936. 気一つけや。今日はご機嫌斜めやで。
- J937. さあ、さあ、騒がないで、これをお上がり。
- O937. はいはい、黙ってこれを食べなさい。
- J938. お行儀よくしなさい。
- O938. 行儀よくせーやー。
- J939. (A)あの男の品行を知ってるかい？—
- O939. (A)あの男の{素行/ 品行}を知ってるか？—
- J940. (B)しんは悪くないんだが、ただ女ぐせが悪くてね。—
- O940. (B){根は悪く/ 悪いやつや}ないんやけど、女ぐせが悪うてなあ。—
- J941. (C)今までは堅い男だとばかり思っていたのに……—
- O941. (C)今まで堅い男やと思(っ)てたんやけど。—
- J942. (A)道徳的にはいけないやつだよ。
- O942. (A)道徳的にはろくでもない{やつや/ やっちなあ}。

71. 宗教

- J943. ご信仰は何ですか。おさしつかえありませんでしたら……
- O943. どちらの宗教信仰されてます？ さしつかえなかったらでよろしいんですが。

²¹ 原文は「naïf」である。筆者にとって、「うぶ」は頻度の高い使用語彙ではない。

- J944. 国によって信ずる神も違うさ。
 O944. 国によって信じる神（様）も違うやろ。
 J945. (A)わたし自身は信者というわけじゃありませんが、他人の信仰は尊重します。—
 O945. (A)私はどっかの{なにか/ なんか}を信じてるわけやないんやけど、人が何を信じようとそれはそれで尊重します。—
 J946. (B)すると、無信仰なんですね？
 O946. (B)そしたら、{無宗教なんや/ 無信仰なんや/ 信仰してね}な。
 J947. いつも日曜に教会へ行きますか。
 O947. いつも日曜に教会に行くん？
 J948. あの身なりから見て、あれはきっと牧師だよ。
 O948. あの格好やったら、たぶん牧師やな。
 J949. 信者になった。
 O949. 信者になった。
 J950. もうすぐクリスマスだ。
 O950. もうすぐクリスマスやな。
 J951. 病院は宣教師が建てたのです。
 O951. 病院は宣教師が建てたんやて。
 J952. そんなことは単なる迷信にすぎない。
 O952. そんなん単なる迷信{やろ/ やで}。
 J953. よくお化けの話をしてくれた。
 O953. お化けの話をようしてもろた。

VII. 表現・伝達

72.表示

- J954. 印をつけておいた。
 O954. 印をつけといた。
 J955. 話しぶりからみると、あの人はなかなか利口らしい。
 O955. 話しぶり（から）みてる、あの人が割りとかしこらしいで。
 J956. にこやかな顔を見せる。

- O956. にこやかな顔を見せる。
 J957. わたしをにらんだあの人の目つきったらなかった。
 O957. 俺をにらんだあいつの目つきゆうたらなかったなあ。
 J958. おかしくておなかの皮がよじれるほどだった。
 O958. おかしくて腹の皮がよじれそうやった。
 J959. (A)どこにいる？ —(B)あそこだ。こっちを向いてにこにこしてるよ。
 O959. (A)どこにおる？ —(B)あそこ。こっち向いてにこにこしてるわ。
 J960. おや、ふくれつつらをしてるよ、子どもみたいだね。
 O960. おうおう、ふくれつつらしてるで。子どもみたいやな。
 J961. キスシーンはカットされてる。
 O961. キスシーン (は) カットされ{てる/ とった}。
 J962. あの人はすわって泣き出した。
 O962. あの人は座って泣き出した。
 J963. 呼び声がしたぞ。
 O963. 呼び声あったで。// 誰か呼んでるで。
 J964. 身ぶり手ぶりを交えて話す。
 O964. 身ぶり手ぶりを交えて話す。
 J965. 人を指さすのは失礼だよ。
 O965. 人を指さすのは{失礼やで/ あかん}。

73. 言語

- J966. あの 2 人は何語で話してる？
 O966. あの 2 人、何語で話してる？
 J967. [外国人に]日本語がうまくなりましたね。
 O967. 日本語うまなつたな。
 J968. 日本語がわからないふりをしていた。
 O968. 日本語分からんふりしてた。
 J969. うまい訳が出ませんでしたね。
 O969. {ええ/ うまい}訳が出てけーへんかったな。
 J970. ええと、あの字はどう書いたっけな。ちょっと度忘れしちゃった。
 O970. あれ(やあれ)、あの字どう書いたっけ。ちょっと度忘れしてしもた。

- J971. それは何ていうものですか。
 O971. それは何ていうもん (なん) ?
 J972. どんな文章の中にあっただかを全文を言ってみて。
 O972. どんな文章にあっただか全文言うてみて。
 J973. 辞書を引けばいいじゃないか。
 O973. 辞典引いたらええだけのこっちゃろが。
 J974. あの人の言うことなら何でも信じるよ。
 O974. あの人が言うことやったら何でも信じるで。
 J975. ぼくにはまだ何とも言ってこないよ。
 O975. 私にはまだ何とも言ってきて{へん/ ない}で。
 J976. どんな人だったか言ってみてくれない?
 O976. どんな人やっただか言うてみてくれへんか。
 J977. ひそひそそばで話してられたんじゃあ、耳について本が読めないじゃないか!
 O977. よこでひそひそ話されたら、{気が散って/ 耳について}本が読まれへんやろが。
 J978. ぺちやくちゃ一日じゅうおしゃべりばかりして!
 O978. ぺちやくちゃぺちやくちゃ一日じゅうおしゃべりばかりしやがって。
 J979. あの人は黙りこくっていた。
 O979. あの人は黙りこくってた。
 J980. それはどういう意味ですか?
 O980. それどういう意味 ({なん/ や}) ?

74. 会話

- J981. ご用件は何でしょうか。
 O981. ご用件は何でしょうか。
 J982. 話の最中にだれかがやってきた。
 O982. 話の最中に誰か来た。
 J983. 軽い雑談をかわしているところだった。
 O983. {軽く雑談してる/ 軽い雑談をかわしている}ところやった。

- J984. その人たちは議論に熱中していた。
 O984. その人らは議論に熱中してた。
 J985. もうおそすぎるといのが、あの人の言い分です。
 O985. もうおそすぎるといのが、あの人の言い分です。
 J986. 演説は大受けだった。
 O986. 演説は大受けやった。
 J987. 「助けて！」と叫んだ。
 O987. 「助けてー」と叫んだ。
 J988. あの、ちょっと！
 O988. ちょう、すみません。
 J989. もしもし、何か落としましたよ。
 O989. なんか落とし{たよ/ てるで}。²²
 J990. あのね、ちょっと君に話があるんだが.....
 O990. あんなあ、ちょっとだけ君に話があるんやけど。
 J991. うん、2羽とも見えるよ。
 O991. うん、2羽とも見えるよ。
 J992. 前もって知らせることができなかつたのかね、まぬけだな！
 O992. 前もって知らせられへんかつたんか、どあほが。
 J993. [病気]骨と皮ばかりになっちゃった。
 O993. {骨と皮だけ/ 骨皮筋衛門}になつてしもた。
 J994. さあ、食べよう。
 O994. ほな、{食う/ 食お/ 食べよ}か。
 J995. さあ、静かに食事をさせてくれよ。
 O995. あんなあ、静かに飯食わせてくれや。
 J996. 全部見終わりましたか。
 O996. 全部見た？// 最後まで見た？// 全部見終わった？
 J997. どちらにも子どもが2人ずつある。

²² 筆者の個人語では、この場面で「おにいさん」、「おねえさん」などと呼びかけるか、あるいは肩をたたいて言う方が自然である。よって、筆者にとっては、「もしもし」を使用語彙としていないため、表現を示す必要はなかった。ただし、理解語彙ではあるし、使う人もいるので、(もしもし)を冒頭に置くことも考えられる。

O997. どっちにも子どもが 2 人ずつおる。

75. 応答

J998. ただちょっと聞いてみただけです。

O998. ちょっと聞いてみただけやんか。

J999. ちょっとお聞きしたいことがあるんですが……

O999. ちょっと聞きたいことがあるんやけど。

J1000. あんな返答をされようとは思ってもいなかった。

O1000. あんな返事をしてくと (は) 思ってもなかった。

J1001. あの人は日本人ですか。

O1001. あの人日本人 (なん) ?

J1002. あれは日本人でしょう。

O1002. あれ日本人ちゃうのん。

J1003. あれは日本人じゃないでしょう?

O1003. あれ日本人ちゃうんちゃうん。

J1004. (A) あれはだれ? —(B) ぼくの友だちで鈴木ってんだ。

O1004. (A) あれだれ。 —(B) 俺の友だちで鈴木っていうねん。

J1005. 2 人のうちどっちが行くんだね?

O1005. 2 人のうちどっちが行くねん。

J1006. 今何をしてるところだい?

O1006. 今何してんねん。

J1007. 犬はどこへ行ったんだ?

O1007. 犬どこ行ったんや。

J1008. ここからどのくらい離れてるの?

O1008. ここからどれくらい離れてるん。

J1009. この前あの人に会ったのはいつだった?

O1009. こないだあの人に会ったんいつやったっけ。

J1010. さあて、もう何時かな。

O1010. さて、もう何時や。

J1011. いったいどのくらいここにいるつもりだい?

O1011. いったいどれくらいここにおるつもりやねん。

J1012. あの人はいくつですか。

O1012. あの人いくつや。

J1013. 大きさはどのくらいあるの？

O1013. 大きさをどれくらいあんのん。

J1014. (A)砂糖を注文したよ。—(B)いくら？

O1014. (A)砂糖注文しといたで。 —(B)どれくらい。

J1015. (A)鉛筆を買ってきた。—(B)何本？

O1015. (A)鉛筆買うてきた。 —(B)何本？

J1016. それ、いくらしたの？

O1016. それ、なんぼやったん。

J1017. それはどんな種類の本ですか。

O1017. それどんなジャンルの本？

J1018. まだ会ったことがない。どんな女だい？

O1018. まだ会うたことない。どんな女や。

J1019. どうして行かないんだよ？

O1019. なんて行かへんねん。

76. 肯定・否定

J1020. (A)わかったかい？—(B)ああ、わかったとも。

O1020. (A)わかったか。—(B)うん、わかった。

J1021. (A)晩めし、まだ？—(B)いや、済ませて来たよ。

O1021. (A)晩飯まだ？ —(B)ごめん、もう{食うてきた/ 済んだ}。

J1022. いやとは言いづらかったんでね。

O1022. 嫌て言いにくかったんや。

J1023. やった覚えはないときっぱり言った。

O1023. やった覚えはないとはっきり言うた。

J1024. そうだと誓って言った。

O1024. そうやと誓って言った。

J1025. 約束したのに来なかった。

O1025. 約束したのにこーへんかった。

77. 真実性

- J1026. (A) どちらの申し立てがほんとうなのか。—(B) どちらもほんとうではありません。
- O1026. (A) どっちの申し立てがほんまやねん。—(B) どっちもうそやわ。// どっちもほんまやない。
- J1027. そう言ったのはあの人かもしれない。
- O1027. そう言うたんはあの人かもしれらん。
- J1028. きっと汽車に乗り遅れたよ。
1028. たぶん電車に乗り遅れたやろ。
- J1029. まあ受け取るまいよ。
- O1029. まあ受け取らんとくわ。
- J1030. それは間違いだ。そう書くんじゃないよ。
- O1030. それは違う。そう書くんやない。
- J1031. とんでもない間違いをしたね。
- O1031. とんでもない間違いかたしたな。
- J1032. 人をだますなんてことはできない人だった。
- O1032. 人をだます{んは/ やなんて}でけへん人やった。
- J1033. さんざうそをついてわたしをだまし通してきたんだ。
- O1033. さんざんうそついて、私をだまし通してきたんやな。
- J1034. (A) あの女がとったんだと思うよ。—
- O1034. (A) あの女がとったん{やと思うわ/ ちゃうか}。—
- J1035. (B) うん、どうも怪しいな。
- O1035. (B) そなや、かなり怪しいな。
- J1036. 確かに。どうもありがとう。
- O1036. そやな。ありがとう。
- J1037. 必ず来ますよ。
- O1037. 必ず来るよ。
- J1038. それが何よりの証拠じゃないかね。
- O1038. それが何よりの証拠や{ない/ あらへん}か。
- J1039. どうもものごとを大げさに言うのがお好きのようですね。
- O1039. どうもものごとを大げさに言うのんが好きなのやな。

J1040. あの先生の説明ははっきりしていますか。

O1040. あの先生の説明ちゃんとしてるか。

78.文字

J1041. そのニュースは新聞に大きく出ていた。

O1041. そのニュースは新聞に大きく出てた。

J1042. まわりの騒がしさなど気にもかけず、平気で本を読み続けた。

O1042. まわりのやかましさを気にせんと/ 気にもかけへんで、平気で本を読んど(一)

るわ。

J1043. きみみたいに字がうまく書けたらなあ。

O1043. お前みたいに字がうまいこと書けたらなあ。

J1044. この署名、読めないな。

O1044. この署名、読まれへんな。

J1045. どういう字を書くんです？

O1045. どういう字を書くの？

J1046. (A)鉛筆で書いてもいいですか。—(B)ええ、けっこうです。

O1046. (A)鉛筆で書いてもええ？ —(B)ええよ。

J1047. (A)消しゴム、見なかった？—(B)知らないよ。

O1047. (A)消しゴム、見へんかった？ —(B){見てへん/ 知らん} (わ)。

J1048. (A)ぼくのペン持ってったのだから？—(B)おれじゃないよ。

O1048. (A)俺のペン持っていったん誰や。 —(B)俺{ちゃう/ やない}で。

J1049. (A)ちょっとインクを持ってきて。—(B)もうないよ。

O1049. (A)ちょっとインク持ってきて。 —(B)もうないで。

J1050. しまった！ 万年筆を忘れた。

O1050. しもた。万年筆忘れた。

J1051. この紙はタイプライターには向かないね。

O1051. この紙タイプライターには向かんなあ。

J1052. どうも印刷がよくないね。

O1052. どうも印刷がよくないな。

J1053. 紙を二、三枚取ってくれ。

- O1053. 紙を 2,3 枚取ってくれ。
 J1054. ちょっとノート貸してくれないか。
 O1054. ちょっとノート貸してくれへんか。
 J1055. あの文房具屋のかどを曲がればいいんです。
 O1055. あの文房具屋のかどを曲がったらええよ。

79.文学

- J1056. 文学じゃ飯が食えないからね。
 O1056. 文学{やと/ じゃ}飯食われへんからな。
 J1057. 今じゃ一流作家だよ。
 O1057. 今じゃ一流作家やな。
 J1058. 好評だよ、今度の小説は。
 O1058. 好評 (みたい) {やぞ/ やで}、今度の小説は。
 J1059. 散文ですか、詩ですか。
 O1059. 散文? 詩一?
 J1060. この詩はむずかしすぎる。まさに判じ物だね。
 O1060. この詩一難しすぎるわ。{パズル/ 謎かけ}²³みたいやな。
 J1061. 詩集を出した。
 O1061. 詩集を出した。
 J1062. 詩のほうの才能はそれほどでもない。
 O1062. 詩一の (方の) 才能は{たいしたこと/ それほどでもない}な。

80.芸術

- J1063. だれだい、この肖像?
 O1063. だれや、この肖像?
 J1064. これかいたのはだれ?
 O1064. これかいたんだれ (や) ?

²³ 原文は「casse-tête」である。「判じ物」が使用語彙ではない。「ジグソーパズル (筆者の音声ではジグゾーパズル)」だと、絵が描かれたピースを合わせて行くという課程とあわないため、違和感を感じた。「パズル」としたのは、一定の方法にのっとり、論理的に詰めていけば解が導き出せるという点から、原文に合わせてそうした。ただ、よく分からない時に何と言うかを内省してみると、筆者にとっては「謎かけ」という方がなじむ。

- J1065. 図画の成績がいちばんいいんですよ。
 O1065. 図画の成績が一番ええんよ。
 J1066. 写真を 1 枚とりたいところだね。
 O1066. 写真 1 枚とっどこか。
 J1067. このカメラを売って新しいものを買いたいな。
 O1067. このカメラ売って新しいのん買いたいな。
 J1068. 新聞に写真も出ていたよ。
 O1068. 新聞に写真出てたで。
 J1069. これはまたうまくかけてるね。
 O1069. これほんまうまくかけてるなあ。
 J1070. さあ、この絵はこれででき上がりだ。
 O1070. よし、この絵はこれでできあがりや。
 J1071. [子どもに]そうだね、絵本でもやったらどうだい？
 O1071. そやな。絵本でもやったらええやん。
 J1072. 彫刻も出てるよ。
 O1072. 彫刻も出てるで。
 J1073. (A)芝居に行きたいなあ。—
 O1073. (A)芝居行きたいなあ。—
 J1074. (B)今何をやってるの？
 O1074. (B)今何やってんの。
 J1075. 喜劇しか書けない。
 O1075. {コメディ—/ コント/ 喜劇}しか書かれへん。
 J1076. 悲劇だなんていっても、こっけいな場面がずいぶんあるよ。
 O1076. 悲劇やゆうても、おもしろい場面けっこうあるやん。
 J1077. また映画の話か！
 O1077. また映画の話かい。
 J1078. あの女優の新しい映画見た？
 O1078. あの女優の新しい映画見た？
 J1079. スターになることを夢みてる。
 O1079. スターになること夢みてる。

81.音楽

- J1080. 音楽がやんだ。
 O1080. 音楽が{終わった/すんだ/やんだ}。
 J1081. この歌の文句を知ってますか。
 O1081. この歌の歌詞知ってる？
 J1082. あの人のほうがじょうずにひきますよ。
 O1082. {あの人/ あいつ}のほうが{うまい/ 上手に引く}よ。
 J1083. ピアノを少しやります。
 O1083. ピアノをちょっと。// ピアノはちょっとやったら引けます。
 J1084. 2人ともバイオリンひきだ。
 O1084. 2人ともバイオリン{奏者/ ひき}や。
 J1085. とても有名なオーケストラだよ。
 O1085. {めっちゃくちゃ/ めっちゃ}有名なオーケストラやで。
 J1086. 土曜に音楽会があるけど、行こうか。
 O1086. 土曜音楽会があんねんけど、行くか。
 J1087. プレーヤーがほしいんですが.....
 O1087. プレーヤーがほしいんやけど。
 J1088. さあ、お茶でも飲みながらレコードを聞こうよ。
 O1088. ほな、茶一（でも）飲みながらレコード聞こか。
 J1089. [音楽学校で]今何の曲をやっているんだい？
 O1089. 今何の曲やってんの。
 J1090. (A)何をひいているんですか。—(B)ショパンのワルツです。
 O1090. (A)何ひいてんの。—シ(B)ヨパンのワルツや。

82.美醜

- J1091. [景色](A)すばらしいじゃないか。—(B)ほんとにね。
 O1091. (A)すばらしいやんか。 —(B)ほんまやな。
 J1092. (A)おまけにひどいぶすときてるんだぜ。 —
 O1092. (A)ついでにめっちゃくちゃぶさいくなんやで。 —
 J1093. (B)たで食う虫もすきずきさ。

O1093. (B)たで食う虫もすきずきやて言うやろ。// いろんな好みがあるんやから、ええやろ。

J1094. 芸術についちゃ無知だね。

O1094. 芸術 (に{ついて/ 関して}) は無知やな。

J1095. 手を見せてごらん。きれいかい？

O1095. 手一見せてみ一。きれいか？

J1096. 洋服をすっかりよごしちゃったね。

O1096. (洋) 服めちゃくちゃ汚してしもたな。

J1097. (A)手を洗ってこよう。—(B)ぼくも。

O1097. (A)手一あろてこよ。 —(B)おれも。

83.教育・出版・報道

J1098. 細君より教育がないんだ。

O1098. 嫁はんより学がない{んや/ ねん}。

J1099. 教養のない人だ。

O1099. 教養がない{やっちゃ/ 奴や}。

J1100. 日本語を始めてからどのくらいになるんですか。

O1100. 日本語始めて、どれくらいになるん？

J1101. あの人がぼくにフランス語を教えてくれるのです。

O1101. あの人が私にフランス語を教えてくれるんよ。

J1102. あの先生、教え方がうまくないな。

O1102. あの先生、教え方{うまない/ へたくそ}な。

J1103. いや、いや、教授になったと聞いていますよ。

O1103. ちゃうちゃう、教授になりはったって聞けるで。

J1104. 学校が焼けちゃった。

O1104. 学校焼けてしもた。

J1105. この大学には金がない。

O1105. この大学金{ないん/ 持ってへんの}よ。

J1106. (A)どうしたんですか。—(B)生徒が車にひかれたんです。

O1106. (A)どないしたんや。 —(B)生徒が車にひかれたみたいやで。

J1107. だめ、だめ、いつも学生でいっぱいさ。よそへ行ったほうがいいよ。

- O1107. あかんあかん、いつも学生でいっぱいやから。よそ行ったほうがええで。
- J1108. 高校のときの同級生です。
- O1108. 高校んときの同級生や。
- J1109. 学校でどんな勉強しているの？
- O1109. 学校で何{勉強して/ やって}{んのん/ るん}？
- J1110. 宿題もなにもほったらかしになっちゃったじゃないか。
- O1110. 宿題もくそもなんもほったらかしやないか。
- J1111. あいつ、落第した。
- O1111. あいつ、落第しおった。
- J1112. あの人は及第した。
- O1112. あいつ、合格しおった。
- J1113. 貸してあげた本、どうしちゃったの？
- O1113. 貸してやった本、どないしてん。
- J1114. そうだね、ぼくには第 3 章がいちばんおもしろかったな。
- O1114. そやな、おれには第 3 章がいちばんおもしろかった (か) な。
- J1115. いや、あの本屋にはないだろう。
- O1115. {うーん/ いや}、あの本屋にはないやろ。
- J1116. なかなかの蔵書家だ。
- O1116. なかなかの蔵書家や。// うちにめちゃくちゃ本持つてる人や。
- J1117. けさの新聞どこへやった？
- O1117. {今日の朝刊/今朝の新聞}どこにやった？
- J1118. この記事をちょっとごらんよ。
- O1118. この記事ちょー見てみー (や)。
- J1119. 何ページに出てるの？
- O1119. 何ページに出てるん。
- J1120. (A)最近出た本です。—
- O1120. (A)最近出た本や。—
- J1121. (B)どこの出版社から出たんのです？
- O1121. (B)どこの出版社から出{た/ てんの}ん？
- J1122. うちのラジオ、また調子が悪いんだ。

O1122. うちのラジオ、また調子悪いねん。

B. 自然と抽象概念

VIII. 生物と事物

84. 大地と自然

- J1123. [他民族]やっぱりわれわれと同じ人間さ。
 O1123. やっぱりおれらとおんなじ人間やで。
 J1124. 自然の成り行きに任せるよりしかたがないよ。
 O1124. 自然の成り行きに任せるしかないんやないか。
 J1125. 世界一周をするんです。
 O1125. 世界一周すんねん。
 J1126. もうじき陸が見えるぞ。
 O1126. もうすぐ陸が見える{ぞ/ よ/ で}。
 J1127. 労働者たちは地面を掘っている。
 O1127. {労働者たち/ 土方}は地面を掘ってる。
 J1128. この地方へ行くのはこれが初めてだ。
 O1128. この地方に行くん、これが初めてや (ねん)。
 J1129. ますますアジアがいやになってきた。
 O1129. どんどんアジアがいやんなってきた。
 J1130. どんどこか想像できないよ。
 O1130. どんどこか想像でけへん。
 J1131. いなかに住んでる。
 O1131. いなかに住んでる。
 J1132. 山へ行った。
 O1132. 山に行った。
 J1133. 丘の上は見晴らしがいい。
 O1133. 丘の上は見晴らしがええ。
 J1134. 下のほうは谷になっていた。
 O1134. 下のほうは谷になってた。

- J1135. 平野は海岸まで広がっている。
 O1135. 平野は海岸まで広がってる。
 J1136. 岩が道の上におおいかぶさってる。
 O1136. 岩が道{をふさいでる/ におおいかぶさってる}。
 J1137. 庭へ石を投げたんです。
 O1137. 庭に石を投げたんや。
 J1138. ひづめにじやりがはいった。
 O1138. ひづめにじやりが{はいった/ はいってしもた}。
 J1139. くつに砂がはいった。
 O1139. 靴に砂{入った/ 入ってしもた}。
 J1140. 土を運び出しちゃってください。
 O1140. 土を運び出してください。
 J1141. 道路はひどいほこりだ。
 O1141. 道路はすごいほこりや。
 J1142. どろが底にたまった。
 O1142. 泥が底にたまった。
 J1143. この景色はおもしろくない。
 O1143. この景色おもしろない。
 J1144. 見晴らしのいい家がいいな。
 O1144. 見晴らしがええ家がええなあ。

85.物質

- J1145. 何に使うの、そいつは？
 O1145. .なんにつかうの、それ。
 J1146. これは毒だぞ、気をつけろよ。
 O1146. これは毒や、気一つけや。
 J1147. 木でそれを作った。
 O1147. 木一でそれを作った。
 J1148. わあ、階段は石でできてらあ。
 O1148. うわ、階段石でできてるわ。
 J1149. 木は湿気で腐っちゃうよ。

- O1149. 木一は湿気で腐ってまうよ。
 J1150. 冬の用意に石炭を買い込んだ。
 O1150. 冬の準備で石炭を買い込んだ。
 J1151. この金属はさびついてしまった。
 O1151. この金属さびついてしもた。
 J1152. 鉄製です。
 O1152. 鉄製や。
 J1153. 値打ちなんかあるもんか。ただのブリキじゃないか。
 O1153. 値打ちなんかあるかい。ただのブリキやろが。
 J1154. 爆弾は鋼鉄板を突き抜けた。
 O1154. 爆弾は鋼鉄板を突き抜けた。
 J1155. これは金貨じゃないよ。
 O1155. これは金貨やないで。
 J1156. 銀の指輪をはめている。
 O1156. 銀の指輪はめてる。
 J1157. 気をつけて、ガラスはこわれやすいから。
 O1157. 気一つけや。ガラスは壊れやすいで。
 J1158. 皮で製本させた。
 O1158. 皮で製本させた。
 J1159. [女中に]せっけんを出して。
 O1159. 石鹼出して。

86.植物

- J1160. 植物に興味を持っている。
 O1160. 植物に興味がある。
 J1161. 道には雑草がいっぱいはえていた。
 O1161. 道は雑草だらけやった。// 道には雑草がいっぱいはえとった。
 J1162. 木が切り倒されている。
 O1162. 木一切り倒されてる。
 J1163. 小枝 1 本動かない！
 O1163. 小枝 1 本動かへん。

- J1164. 木の葉がみんな散ってしまった。
 O1164. 木の葉が全部散ってしもた。
 J1165. 森のまん中に家が 1 軒ある。
 O1165. 森のまん中に家が 1 軒ある。
 J1166. 林を通り抜けていった。
 O1166. 林を通り抜けていった。
 J1167. 庭作りが好きだ。
 O1167. 庭作りが好きや。
 J1168. この近くに公園がある。
 O1168. この近くに公園がある。
 J1169. 庭に木を植えさせた。
 O1169. 庭に木一植えさせた。
 J1170. 花見に行った。
 O1170. 花見に行った。
 J1171. ことしはバラの咲くのがおそかった。
 O1171. 今年はバラが咲く (の) んが遅かった。
 J1172. バラはしおれて、もうみんな散っちゃってる。
 O1172. バラはしおれて、全部散ってしもた。
 J1173. 今月は菊の展覧会がある。
 O1173. 今月は菊の展覧会がある。

87. 農業

- J1174. 長年ブラジルで百姓をしたた。
 O1174. 長年ブラジルで百姓してた。
 J1175. 畑作りがうまい。
 O1175. 畑作りがうまい。
 J1176. 荒れ果てた寂しいところです。
 O1176. 荒れ果てたさみしいとこや。
 J1177. 家のうしろはジャガイモ畑だ。
 O1177. 家の裏はジャガイモ畑や。
 J1178. 麦を作ってる。

- O1178. 麦を作ってる。
 J1179. ことしのできはどうかだね？
 O1179. 今年のできはどないや。
 J1180. この木には実がならない。
 O1180. この木ーには実がならへん。
 J1181. (B)いや、このリンゴは熟してるよ。 —
 O1181. (B)いや、このリンゴ熟してるで。 —
 J1182. (A)熟してなんかいないったら！
 O1182. (A) 熟してへんって。

88. 動物

- J1183. この動物はほんとにかわいそうだ。
 O1183. この動物ほんまかわいそやなあ。
 J1184. この沼にはカモがいっぱいいる。
 O1184. この沼にはカモがいっぱいおる。
 J1185. なかなか人になれないんです。
 O1185. なかなか人に{なつかんねや/ なれへんのよ}。
 J1186. 牛の群れに出くわした。
 O1186. 牛の群れに{出おた/ 出くわした}。
 J1187. いいえ、これは雌牛です。
 O1187. ちゃう、これは雌牛 (や)。
 J1188. 乗りにくい馬だ。
 O1188. 乗りにくい馬や。
 J1189. 羊がメーメー鳴いている。
 O1189. 羊がメーメー鳴いてる。
 J1190. 豚が 1 頭逃げたぞ。
 O1190. 豚 1 頭逃げたで。
 J1191. ネコが鳴いてるんだよ。
 O1191. ネコが鳴いてるんや。
 J1192. (A)かみつきますか、おたくの犬は？ —
 O1192. (A)かみつくん？ おたくの犬。 —

- J1193. (B)決してかみつきません。
 O1193. (B) 絶対かみつかんよ。
 J1194. [犬]しっぽを振ってる。
 O1194. しっぽを振ってる。
 J1195. [天井で]ネズミが騒いでるぞ。
 O1195. ネズミが騒いでるで。
 J1196. 鳥を撃ち落とした。
 O1196. 鳥を撃ち落とした。
 J1197. わあ、きれいな羽だ！
 O1197. うわ、きれいな羽やなあ。
 J1198. 鳥の飛び方を観察した。
 O1198. 鳥の飛び方を観察した。
 J1199. 近ごろめっきりスズメがいなくなった。
 O1199. 最近ほんまスズメがおらへんようになったなあ。
 J1200. やあツバメだ。ほう、もう帰ってきてるんだなあ。
 1200. おおツバメや。ふーん、もう帰ってきてるんか。
 J1201. ヘビが大きらいだ。
 O1201. ヘビが大嫌いや。
 J1202. 虫にめちやくちやに刺された。
 O1202. 虫にめちやくちや刺された。
 J1203. きれいなチョウチョだね。どこでつかまえたの？
 O1203. きれいなチョウチョやな。どこでつかまえたん。
 J1204. しかし、ミツバチにしちゃちょっと形が変だね。
 O1204. しかし、ミツバチやとしたらちょっと形が変よな。
 J1205. 砂糖にアリがまっ黒にたかっていた。
 O1205. 砂糖にアリがたかっってまっ黒やわ。
 J1206. このハエを追っ払ってくれよ。
 O1206. このハエ追い払ってくれや。
 J1207. ああ、憎らしい蚊だ！
 O1207. ほんまにくたらしい蚊一や。
 J1208. ひどく蚊にさされちゃった。

O1208. めっちゃ蚊一に{くわれた/ さされた}。

89.水

J1209. 水道の水が出ない。

O1209. 水道の水出一へん。

J1210. 海が荒れてる。

O1210. 海が荒れてる。

J1211. 上げ潮だ。

O1211. 満ち潮や。

J1212. 海水浴が大好きだ。

O1212. 海水浴が大好きや。

J1213. 堤防が切れた。

O1213. 堤防が決壊した。

J1214. それから小さな川に出た。

O1214. それから小さい川に出た。

J1215. この湖にはいろんな種類のさかながたくさんいる。

O1215. この湖にはいろんな種類のさかながいっぱいおる。

J1216. 池のほとりを散歩した。

O1216. 池のほとりを散歩した。

J1217. (A)井戸の水がかれた。 —

O1217. (A)井戸の水枯れた。 —

J1218. (B)泉も急に干上がっちゃった。

O1218. (B)泉も急に干上がってしもた。

J1219. 水道の水が止まらない。

O1219. 水道の水が止まらへん。

J1220. このコップに水を少しついでくれ。

O1220. このコップにちょっとだけ水入れて。

J1221. [おもちゃ]船を浮かべるくらいの水はあるさ。

O1221. 船を浮かべるくらいの水はあるわな。

J1222. 波が静まってきた。

O1222. 波が静まってきた。

- J1223. とても泳ぎがうまい。
 O1223 {めちやくちや/ すごく}泳ぎがうまい。
 J1224. あっちの浅瀬を渡ったほうがいいよ。
 O1224. あっちの浅瀬渡ったほうがええで。
 J1225. 雨で川の水が増した。
 O1225. 雨で川の水が増した。
 J1226. 畑はみんな水浸しになった。
 O1226. 畑は全部水浸しになった。
 J1227. 海岸はすっかり荒らされた。
 O1227. 海岸かなり荒らされた。
 J1228. ほんとうの島かい？
 O1228. ほんまもの島か？

90. 狩り・つり

- J1229. 狩りが好きだ。
 O1229. 狩りがすきや。
 J1230. 獲物をたくさん持ち帰った。
 O1230. 獲物をぎょうさん持ち帰った。
 J1231. カモを撃った。
 O1231. カモを撃った。
 J1232. つりがじょうずだ。
 O1232. つりが{じょうずや/ うまいねん}。
 J1233. さかなは手からつると逃げた。
 O1233. 魚は手一からつると逃げおった。

91. 空気・風

- J1234. あそこのほうが空気がいい。
 O1234. あっちのほうが空気がええ。
 J1235. このへやあ、むっとするな。
 O1235. この部屋、むっとするなあ。
 J1236. ひどい風通しだな。

- O1236. ひどい風通しやな。// 風通し悪いなあ。
 J1237. 風が吹きだした。
 O1237. 風が{吹き始めた/ 吹きだした}。
 J1238. 風が吹きすすさんでいた。
 O1238. 風が吹きすすさんでた。
 J1239. あらしはじきに静まるよ。
 O1239. 嵐はそのうち{やむやろ/ 静まるわ}。
 J1240. 風がやんだ。
 O1240. 風がやんだ。
 J1241. ほこりで目が見えない。
 O1241. ほこりで{目一/ 前}見えへん。

92. 太陽と雲

- J1242. 雲の間から日がさした。
 O1242. 雲の間から日がさした。
 J1243. 日がまぶしくってしょうがない。
 O1243. 日がまぶしゅうてしょうがない。
 J1244. やけにうっとうしいね。
 O1244. やけにうっとうしいな。
 J1245. 空は晴れてる。
 O1245. 空は晴れてる。
 J1246. 空が晴れ上がった。
 O1246. 空が晴れ上がった。
 J1247. 雲行きが怪しいぞ。
 O1247. 雲行きあやしいな。
 J1248. 空が曇ってきた。
 O1248. 空が曇ってきた。

93. 天候

- J1249. 霧が一面にかかっていた。
 O1249. 霧が一面にかかっていた。

- J1250. 野原にもやが立ち込めている。
O1250. 野原にもやが立ち込めてる。
J1251. 草にまだ露が残っている。
O1251. 草にまだ露が残ってる。
J1252. 霜が一面に降りている。
O1252. 霜が一面に降りてる。
J1253. (A)天気はどうだい?—
O1253. (A)天気はどないや。—
J1254. (B)上天気だよ。
O1254. (B)ええ天気やわ。
J1255. 天気ははっきりしない。
O1255. 天気ははっきりせーへん。
J1256. いやな天気だな!
O1256. いやな天気やな。
J1257. やっと天気が回復した。
O1257. やっと天気が回復した。
J1258. 一雨来そうだ。
O1258. 一雨来そうやな。
J1259. ひどい降りだ。
O1259. ひどい降りや。
J1260. 頭上の雲から大粒の雨が降ってきた。
O1260. 頭上の雲から大粒の雨が降ってきた。
J1261. どしゃ降りだ。
O1261. どしゃ降りや。
J1262. ただの通り雨だよ。
O1262. ただの通り雨やろ。
J1263. しまった! かさを忘れてきた。
O1263. しもた。かさ忘れてきた。
J1264. 見てごらん、きれいなにじ!
O1264. 見てみ、きれいなにじ。
J1265. 天候は荒れもようだ。

- O1265. 天候は荒れ模様やな。
 J1266. 雷が鳴っている。
 O1266. 雷鳴ってる。
 J1267. 一晩じゅういなずまが光っていた。
 O1267. 一晩中稲妻光っと一った。
 J1268. ひょうで作物がやられやしなかつただろうか。
 O1268. ひょうで作物やられへんかつたやろか。
 J1269. 雪が降ってるぞ。
 O1269. 雪降ってるで。

94. 気温

- J1270. 気温が下がった。
 O1270. 気温が下がった。
 J1271. とても暑い。
 O1271. めっちゃ暑い。
 J1272. 日が出て気温が上がった。
 O1272. 太陽が出てきたんで気温が上がった。
 J1273. そこは涼しくて気持ちがいい。
 O1273. そこは涼しいんで気持ちいい。
 J1274. 一雨降って涼しくなった。
 O1274. 一雨降ったんで涼しなった。
 J1275. じっと立ってたんじゃ寒いでしょう。少し歩き回ったほうがいいですよ。
 O1275. じっと立ってるんは寒いやろ。そこらへんちょっと歩き回ったほうがええんとちゃうの。
 J1276. ゆうべは氷が張った。
 O1276. ゆうべは氷が張った。
 J1277. 池には氷が張り詰めている。
 O1277. 池には氷が張り詰めてる。
 J1278. 氷が解けだした。
 O1278. 氷がとけだした。

95.天体

- J1279. ことしは太陽に黒点があるんだってね。
 O1279. 今年は太陽に黒点あるんやてな。
 J1280. このごろは 4 時から 5 時にはもう日が上がります。
 O1280. 最近では 4 時 5 時に日一のぼります。
 J1281. 日が沈んだ。
 O1281. 日一沈んだ。
 J1282. 月の光がへやにさし込んでいる。
 O1282. 月の光が部屋にさし込んでる。
 J1283. 満月だ。
 O1283. 満月や。
 J1284. 月明かりで散歩している。
 O1284. 月明かりで散歩してる。
 J1285. 星が出た。
 O1285. 星 (が) 出た。。
 J1286. 空一面に星が出ている。
 O1286. 空一面に星 (が) 出てる。

IX. 現象

96.感覚・知覚

- J1287. 船酔いはしなかったけど、でも変な気持ちでした。
 O1287. 船酔いはせーへんかったけど、変な感じがした。
 J1288. ええ、すがすがしくていい気持ちです。
 O1288. はい、すがすがしゅうてええ気持ちやわ。
 J1289. この布地にさわってごらん。少しがさがさしてない？
 O1289. この布地にさわってみー。ちょっとがさがさしてへんか。
 J1290. (A)ここ痛みますか。—(B)いえ、別にどうもありません。
 O1290. (A)ここが痛むのん。—(B)うーん、そこはなんもない。
 J1291. 気を失ってばったり倒れた。
 O1291. 気一失のうてばたん倒れた。

97.光と視覚

- J1292. [写真機]絞りをよく合わせなくちゃ。
 O1292. 絞りをちゃんと合わせんと。
 J1293. 遠くに船が見えてきた。
 O1293. 遠くに船が見えてきた。
 J1294. 曲がりかどで見えなくなった。
 O1294. 曲がり角あたりで見えへんようになった。
 J1295. 曇って、日がさしていなかった。
 O1295. 曇ってて日一さしてへん。
 J1296. 丘の影が湖に映っている。
 O1296. 丘の影が湖に映ってる。
 J1297. 一日じゅう鏡に向かっている。
 O1297. 一日中鏡に向かっている。
 J1298. 人影が見えた。
 O1298. 人影が見えた。
 J1299. 外はまだ明るい。
 O1299. 外はまだ明るい。
 J1300. すっかり暗くなっちゃったね。もう何も見えないや。
 O1300. すっかりくろうなってしまうな。もうなんも見えへんし。
 J1301. この金はつやがなくなった。
 O1301. この金つやのうなった。
 J1302. (A)電灯が消えた。—
 O1302. (A){電気/ 電灯}が消えた。—
 J1303. (B)だれが消したんだ。すぐつけてきてくれ。
 O1303. (B)だれが消し{たんや/ てん}。すぐつけてこい (や)。
 J1304. 透き通っているだろう、ね？
 O1304. 透き通ってるやろ、な。

98.色

- J1305. とても落ち着いたいい色じゃないか。
 O1305. すごく落ち着いたええ色やないの。

- J1306. 黒い服を着ていた。
O1306. 黒い服着てた。
- J1307. グレーの帽子をかぶりなさい。
O1307. グレーの帽子を{かぶったら/ かぶれや}。
- J1308. 白があの人にはよく映る。
O1308. 白があの人にはようにおてる。
- J1309. このへやには青より赤のほうが合う。
O1309. この部屋には青より赤のほうが合う。
- J1310. ピンクのドレスを着ていた。
O1310. ピンクのドレスを着てた。
- J1311. 茶のくつをはいた。
O1311. 茶色の靴をはいた。
- J1312. あの人にはオレンジ色ははですぎる。
O1312. あの人には{オレンジ/ だいたいいろ}は派手すぎるわ。
- J1313. 黄色い花を買った。
O1313. 黄色い花をかうた。
- J1314. 羽は青だが、ちょっと緑がかっている。
O1314. 羽は青やけど、ちょっとだけ緑がかってる。
- J1315. この青いしみはどうしたの？
O1315. この青いしみどないしたん。
- J1316. 紫色のインクありますか。
O1316. 紫（色）のインク{ある/ あります}？
- J1317. 女たちは色とりどりに着飾っていた。
O1317. 女の人らは色とりどりに着飾ってた。
- J1318. わたしがほしいのはこんな色合いじゃない。
O1318. わたしがほしいんはこんな色合いとちゃうわ。
- J1319. この茶はちょっと濃すぎるね。
O1319. この茶色ちょっと濃すぎるな。
- J1320. この色は薄すぎる。
O1320. この色薄すぎる。
- J1321. 門は緑に塗ってもらったら？

- O1321. 門緑に塗ってもろたら。
 J1322. [染め]この色は洗っても確かにさめないんだろうね？
 O1322. あろてもこの色あせへんねやろうな。

99. 音

- J1323. 雨だれの音がする。
 O1323. 雨だれの音がする。
 J1324. ほら、あっちでこだまがするだろう。
 O1324. おい、あっちでこだまがするやろ。
 J1325. 水を打ったように静かだ。
 O1325. 水を打ったように静かや。
 J1326. 隣はひどくやかましい人たちだ。
 O1326. 隣はすごくやかましい人たちだ。
 J1327. 氷の割れる音がした。
 O1327. 氷が割れる音した。
 J1328. 一日じゅう鉄砲を撃つ音が聞こえた。
 O1328. 一日じゅう鉄砲を撃つ音が聞こえた。
 J1329. トラックがががあがあ通るたびに家じゅうが揺れるんだ。
 O1329. トラックがががあがあ通ったら、家（じゅう）揺れるんよ。
 J1330. ほら、サイレンが鳴り出した。
 O1330. ふん、サイレン鳴り出したで。
 J1331. 頭のまわりを虫がぶんぶん飛んでる。
 O1331. 頭の周りを虫がぶんぶん飛んでる。
 J1332. 呼び鈴を直さなきゃ。
 O1332. 呼び鈴直さんと。
 J1333. 呼び鈴が鳴ったね。
 O1333. 呼び鈴鳴ったで。
 J1334. 今 4 時を打ったところだ。
 O1334. 今 4 時を打ったとこや。
 J1335. 男のような声だね。
 O1335. 男みたいな声やな。

- J1336. 彼女のそばへやってきて、二言三言そっと耳打ちした。
 O1336. 彼女のそばに来て、そう一っとなんか（ふたことみこと）耳打ちした。
- J1337. 大声で話した。
 O1337. 大声で話した。
- J1338. 玉をころがすような声だね。
 O1338. 玉をころがすような声やな。
- J1339. 口笛がなかなかうまいもんだな。
 O1339. 口笛わりとうまいやん。
- J1340. つんぼじゃないから、そんな大きな声出すこたあないよ。
 O1340. {耳聞こえてる/ つんぼやないね}から、{そない/ そんなに}大きい声出さんでもええ{がな/ やろ}。
- J1341. 音が低すぎる。
 O1341. 音が低すぎる。
- J1342. ひどいキーキー声を出す人だね。
 O1342. めちゃくちゃキーキー声を出す人やな。
- J1343. [電話]もっとはっきり言って！ 話がよく聞き取れないよ。
 O1343. もうちょいはっきり言うて。話が聞き取られへん。
- J1344. ぶつぶつ言うてるばかりで、わけがわかりやしない。
 O1344. ぶつぶつ言うてるだけで、わけわからん。
- J1345. あの人は声がいいね。
 O1345. あの人声ええなあ。
- J1346. [レコード]ひどい音で、聞いちゃあいられないよ。
 O1346. ひどい音{すぎて/ やから/ なんで}、聞いてられへんわ。

100. におい

- J1347. どんなにおいの花だか知らないね。
 O1347. どんなにおいの花か知らんわ。
- J1348. 家の中はペンキのにおいがする。
 O1348. 家ん中ペンキのにおいする。
- J1349. [バラ]これはにおいのない種類だ。

- O1349. これはにおいのない種類や。
 J1350. においに引かれてやってくるんだよ。
 O1350. においに引かれてやってくるんや。
 J1351. この肉、においだした。
 O1351. この肉、においだした。

101.味

- J1352. どんな味か知らないよ。
 O1352. どんな味か知らん{よ/ わ/ で}。
 J1353. (A)この水、変な味がする。—
 O1353. (A)この水、変な味するで。—
 J1354. (B)とんでもない。味なんかないったら！
 O1354. (B)はあっ？ 味なんかないわ。
 J1355. [お茶]濃いほうがいいですか。
 O1355. 濃い{のん/ ほう}がええ。
 J1356. この酒はコクがない。
 O1356. この酒コクがない。
 J1357. このブドウがとてもうまそうだ。
 O1357. このブドウめっちゃうまそう。
 J1358. 苦いなあ、この薬！ わあ！
 O1358. 苦いなあ、この薬。 あー。
 J1359. この砂糖、ちっともきかないな。
 O1359. この砂糖、{全然あかん/ ちっとも効かへん}なあ。
 J1360. このパンは塩気が足りない。
 O1360. このパン塩(っ)気足ら{へん/ ん}。
 J1361. このオレンジ、口が曲がるほどすっぱいじゃないか。
 O1361. このオレンジ、めちゃくちゃすっぱいやないか。
 J1362. 苦い味がする。
 O1362. 苦い味がする。
 J1363. [ピーマン]舌がひりひりする。
 O1363. 舌がひりひりする。

102.温度

J1364. (A)これ、どのくらいの温度かしらねえ。—

O1364. (A)これ、どれぐらいの温度やろか。—

J1365. (B)これじゃ熱すぎるよ。

O1365. (B)これやと熱すぎるわ。

J1366. けさは水が冷たい。

O1366. 今朝は水が冷たい。

J1367. 暑い。

O1367. 暑い。

J1368. 寒くない？

O1368. 寒ないか。

J1369. このスープ、舌がやけどしそうだよ。

O1369. このスープ、舌やけどしそうやで。

J1370. 手が氷のように冷たいね。

O1370. 手一氷みたいに冷たいな。

J1371. ぶるっ！ 凍えそうだ。

O1371. うわっ。凍えそうや。

J1372. 暑くって死にそうだなあ、ここは。

O1372. 暑{うて/ すぎて}死にそうやなあ、ここは。

J1373. 水がなまぬるい。

O1373. 水がぬるい。

J1374. 水がちょっと冷たすぎるよ。

O1374. この水ちょっと冷たすぎるで。

J1375. まず手をあたためよう。

O1375. まず手一あたためよか。

J1376. お茶がちょうどいいかげんにさめたよ。

O1376. お茶ちょうどええぐらいに冷めたで。

103.重さ

J1377. その手紙、目方はいくらありますか。

- O1377. その手紙の重さ²⁴どれぐらい？
 J1378. 重くて持ち上がらなかった。
 O1378. 重{うて/ すぎて}持ちあがらへんかったわ。
 J1379. だいじょうぶ、目方は超過してないよ。
 O1379. 結構軽い (から、まだまだ大丈夫や)。 / だいじょうぶ、重量制限はまだ超えてへん。²⁵
 J1380. 石みたいに重い。
 O1380. 石みたいに重い。
 J1381. まるで軽石みたいだね。
 O1381. ほんま軽石みたいやな。
 J1382. 量り違えた。
 O1382. 量り間違えた。
 J1383. あの店では砂糖を 1 キロいくらで売っている。
 O1383. あの店、砂糖 1 キロなんぼで売ってる。
 J1384. この手紙は 20 グラムを越えてます。
 O1384. この手紙、20 グラム超えてるよ。
 J1385. はかりが入り用だね。
 O1385. はかりが{いる/ 必要や}な。

104.密度

- J1386. 葉がよく茂ってる。
 O1386. 葉一よ一茂っとる。
 J1387. 聴衆はまばらだった。
 O1387. 聴衆はまばらやった。
 J1388. この新しいくつは窮屈だ。
 O1388. この新しい靴は窮屈や。
 J1389. [バス]すし詰めだ。

²⁴ 原文は「poids」。「目方」が使用語彙ではない。

²⁵ 原文は「軽い、軽量」という意味の「léger」。原文では「*Lettre à expédier: Elle est assez légère.*」という文例が記されている。船便と出す際の重量制限のチェックという場面である。日本語訳も意識となっており、筆者もある程度それに準じた大阪方言で例示した。

- O1389. {満員/ すし詰め}や。
 J1390. 結び目がゆるんでるよ。
 O1390. 結び目ゆるんでるで。
 J1391. (A)→(B)綱をぴんと引っ張って！—
 O1391. (A)→(B)綱ぴーんと引っ張って。—
 J1392. (C)まだたるんでる。
 O1392. (C)まだたるんでる。
 J1393. 敷きぶとんが固くて。
 O1393. 敷きぶとんがかと一て。
 J1394. 石みたいに固いな。
 O1394. 石みたいに固いな。
 J1395. 曲がるかい？
 O1395. 曲がるか？
 J1396. 豆腐みたいに柔らかいや。
 O1396. 豆腐みたいに柔らかいなあ。
 J1397. とでも弾力があるんだ。
 O1397. めっちゃ弾力があるんや。
 J1398. さわってごらんよ。この生地ずいぶんあらいだろう。
 O1398. さわってみーや。この生地けっこうあらいやろ。
 J1399. 鏡のようにすべすべだね。
 O1399. 鏡みたいにすべすべやな。

105.固体・液体・気体

- J1400. 固いものが全然食べられないんです。
 O1400. 固いもんが全然食べられへんねん。
 J1401. 地面の雪はすっかり解けた。
 O1401. {地べた/ 地面}の雪全部とけたで。
 J1402. 芝ふは日が当たってすぐかわくよ。
 O1402. 芝生、日一当たるからすぐかわくで。
 J1403. このパン、干からびてこちこちだ。
 O1403. このパン、干からびてかちかちや。

- J1404. このへやはじめじめしてる。
O1404. この部屋じめじめしてる。
- J1405. これはぬれるといけないから……
O1405. これ濡れたらあかんから。
- J1406. ぐしょぬれになっちゃった。
O1406. びちゃびちゃになってしもた。
- J1407. 外とうをかけてかわかしときなさい。
O1407. コートかけてかわかしとき。
- J1408. 湖に氷が張り詰めた。
O1408. 湖に氷が張り詰めた。
- J1409. この砂糖、なかなか溶けないな。
O1409. この砂糖、なかなか溶けへんなあ。
- J1410. あれはガス工場だ。
O1410. あれはガス工場や。
- J1411. お湯が沸いてるよ。
O1411. お湯沸いてるで。
- J1412. 水がすっかり蒸発してしまった。
O1412. 水が全部蒸発してしもた。
- J1413. 畑の端で火をたいた。
O1413. 畑の端っこで火一たいた。
- J1414. このマッチ、なかなかつかないな。
O1414. このマッチ、なかなかつかへんな。
- J1415. 炎がちらちらする。
O1415. 炎がちらちらする。
- J1416. 火が消えちゃったから、もう一度つけてきて。
O1416. 火一消えてしもたから、もう一回つけてきて。
- J1417. うう、煙が目にはいった。
O1417. うう、煙が目に入った。
- J1418. 学校が燃えてる。
O1418. 学校燃えてる。

X. 空間

106. 寸法と形

- J1419. 箱の大きさを知りたいんです。
 O1419. 箱の大きさ知りたいんやけど。
 J1420. この客間には大きな敷物がほしいね。
 O1420. この客間に大きいしきもんほしいなあ。
 J1421. 小さくて、目では見えないんだよ。
 O1421. 小さいから、目（一）で見えへんねん。
 J1422. [ズボン]だけは同じです。
 O1422. たけ{いっしょ/ おんなじ}。
 J1423. 長すぎるね。
 O1423. 長すぎるなあ。
 J1424. ひもが少し短すぎる。
 O1424. ひもがちょっと短すぎる。
 J1425. この川の幅はどのくらいあるの？
 O1425. この川、幅どれくらいあるん？
 J1426. 道幅は来年には広くなります。
 O1426. 道幅は来年には広くなります。
 J1427. 橋がとても狭い。
 O1427. 橋がすごく狭い。
 J1428. 机は二つとも同じ高さです。
 O1428. 机は二つとも同じ高さです。
 J1429. お宅は高台にあるから、涼しいのでしょうかね。
 O1429. お宅は高台にあるから、涼しいんやろな。
 J1430. かもいが低いから、頭をぶつけますよ。
 O1430. かもい低いから、頭ぶつけるで。
 J1431. どのくらいの厚さか見せてください。
 O1431. どれくらいの厚さか見せてくれへん。
 J1432. ずいぶん厚い本だね。
 O1432. かなり厚い本やな。

- J1433. うんと薄い紙を 1 枚とってこない？
 O1433. かなり薄い紙、1 枚とってくれへん？
 J1434. ちょっと太すぎるよ、このなわじゃあ。
 O1434. ちょっと太すぎるで、このなわ。
 J1435. 細すぎるよ、このひもは。
 O1435. 細すぎるで、このひも。
 J1436. [くつ]こんな形のはいやだよ。
 O1436. こんな形のんは嫌や ({わ/ で})。

107.点・線・面

- J1437. [地図]ええ、その家のところに印をつけてあります。
 O1437. うん、その家んとこに印つけといた。
 J1438. 木が 1 列に並んでいる。
 O1438. 木ーが 1 列に並んでる。
 J1439. [タクシー]まっすぐやってください。
 O1439. まっすぐいってください。
 J1440. [たんす]かどにぶつかった。
 O1440. かどにぶつかった。
 J1441. よほど鋭い刃物らしい。
 O1441. よっほど鋭い刃物らしい。
 J1442. 四つに折ったら、ほら、ちょうどいいだろう。
 O1442. 四つに{折ってみ/ 折ったら}、な、ちょうどええやろ。
 J1443. 重みで棒が曲がってしまった。
 O1443. 重みで棒が曲がってしもた。
 J1444. うねうね曲がってるね、この道は。
 O1444. くねくね曲がるとるなあ、この道は。
 J1445. 家の後ろにとっても広い地所がある。
 O1445. 家の裏のすごく広い地所がある。
 J1446. 輪を描いて飛んでいる。
 O1446. 輪をかいて飛んでる。
 J1447. ほんとのうりざね顔だね。

- O1447. ほんましもぶくれやな。
 J1448. 四角い机を買った。
 O1448. 四角い机買うた。
 J1449. 入口の前の土をならした。
 O1449. 入口の前の土をならした。
 J1450. この道はでこぼこだ。
 O1450. この道は{ぼこぼこ/ でこぼこ}や。
 J1451. ほら、穴があるよ。落っこちるなよ。
 O1451. 見てみ、穴がある{ぞ/ よ/ で}。落ちんなよ。
 J1452. おでこに大きなこぶをこさえた。
 O1452. でこに大きいたんこぶできた。

108.立体

- J1453. 角砂糖を 1 箱買ってきてください。
 O1453. 角砂糖一箱買うてきて。
 J1454. ボールが隣のうちにはいった。
 O1454. ボールが隣のうちにはいった。
 J1455. それを巻いてください。
 O1455. それ巻いてくれへん。
 J1456. コップの縁までいっばいだ。
 O1456. コップの縁までまんたんや。
 J1457. この木はがらんどうになっている。
 O1457. この木ーがらんどうになってる。

109.位置

- J1458. どこにあるのか知らないね。
 O1458. どこに{あるんか/ あんのか}知らんわ。
 J1459. きゅうすに少しお茶をさしてくれ。
 O1459. きゅうすにちょっとお湯を入れてくれ。
 J1460. 帽子を取りなさい。
 O1460. 帽子をぬげ。

J1461. (A)テーブルの上に置いてきちゃった。—(B)ええ？

O1461. (A)テーブルの上に置いてきてしもた。 —(B)なにしてんねん。(さっさと取りに行つてこいや。) // あほか。 // ええ。

J1462. 鈴木さんも来ていました。

O1462. 鈴木さんも来てました。

J1463. 支配人はおりません。

O1463. 支配人はおりません。

J1464. 夕飯どきまでいました。

O1464. 晩飯どきまでいました。

110.接触・分離

J1465. 手が届かないよ。

O1465. 手—とどかへん。

J1466. さわっちゃいけない、やけどするよ。

O1466. さわったらあかん、やけどするで。

J1467. 車が門にぶつかってぺちゃんこになった。

O1467. 車が門にぶつかってぺちゃんこになった。

J1468. 写真を壁に張った。

O1468. 写真を壁に張った。

J1469. この手紙に切手を張ってくれ。

O1439. この手紙に切手張つといて。

J1470. 犬はつないである。

O1470. 犬はつないだ—る。

J1471. 二つの道はそこで出会っている。

O1471. 2つの道はそこで{ぶつかつてる/ 出会っている}。

J1472. そこの戸をしめてもらいたいね！

O1472. そこの戸—、しめて{もらえん/ くれへん}か。

J1473. ドアがあいた。

O1473. ドアが開いた。

J1474. ふたがぱたつとあいた。

O1474. ふたがぱたつとあいた。

- J1475. 島で川が 2 本になっている。
 O1475. 島で川が 2 本になってる。
 J1476. 氷が 1 かけら砕け落ちた。
 O1476. 氷が 1 かけら砕け落ちた。
 J1477. 花束を作るのにバラを摘んでいる。
 O1477. 花束つくんのにバラを摘んでる。
 J1478. 茶わんにひびがはいってる。
 O1478. 茶わんにひび入ってる。
 J1479. 手紙をずたずたに裂いた。
 O1479. 手紙をずたずたに裂いた。
 J1480. おや、書類がみんな床に散らばっちゃってる。
 O1480. あれ、書類が全部床に{散らばってる/ 落ちてる}。

111. 距離

- J1481. どのくらいの道のりか知らないね。
 O1481. {どれくらいの道のり/ どれくらいあるん}か知らんわ。
 J1482. おや、こんなところにあった。
 O1482. おっ、こんなとこにあった。
 J1483. そこにはまだ行ったことがなかった。
 O1483. そこにはまだ行ったことがなかった。
 J1484. 向こうに見える建物です。
 O1484. 向こうに見えるたてもんです。
 J1485. うちが川のそばです。
 O1485. うちが川のそばや。
 J1486. あの人はうちのすぐ隣に住んでいる。
 O1486. あの人はうちのすぐ隣に住んでる。
 J1487. こんなに遠いとは知らなかった。
 O1487. こんなに遠いとは{思わなかった/ 知らなかった/ 知らなんだ}。
 J1488. [郊外]とんでもない遠いところに住んでいる。
 O1488. {めちゃくちゃ/ とんでもなく}遠いとこに住んどる。
 J1489. 音がだんだん近づいてくる。

- O1489. 音がだんだん近づいてくる。
 J1490. 船はだんだん遠ざかっていく。
 O1490. 船はだんだん遠ざかっていく。
 J1491. 学校は川のこちら側です。
 O1491. 学校は川のこっち側です。
 J1492. 駅より先です。
 O1492. 駅より先や。

112. 高さ

- J1493. どのくらいの高さか知らないね。
 O1493. どれくらい高いんか知らんなあ。
 J1494. [本棚]上のほうかい、下のほうかい？
 O1494. 上一、下一？
 J1495. 枝が低くたれ下がっている。
 O1495. 枝が低く垂れ下がってる。
 J1496. 底のほうに沈んじゃった。
 O1496. 底の方に沈んでしもた。
 J1497. 頂上のあたりに雲が出てきたぞ。
 O1497. {てっぺん/ 頂上}のあたりに雲出てきたで。
 J1498. [犬]テーブルの下で寝てますよ。
 O1498. テーブルの下で寝てるで。
 J1499. 家の上を飛んでいった。
 O1499. 家の上を飛んでいった。
 J1500. 子どもたちは木陰ですわっている。
 O1500. 子どもたちは木陰で座ってる。
 J1501. 飛行機はどんどん上がっていく。
 O1501. 飛行機はどんどん上がっていく。
 J1502. 降りるんだ、通してくれよ。
 O1502. {降りるから/降りんねん}、通してくれや。
 J1503. 石がきがくずれた。
 O1503. 石垣がくずれた。

J1504. [ぐらぐらする机]足の下に何かはさもう。

O1504. 脚の下に何かはさも。

J1505. 石段に氷が張ってつるつるになっていたんだ。

O1505. 石段に氷が張ってつるつるになっていた。

J1506. 独房で首をつった。

O1506. 独房で首つった。

113.方位

J1507. (A)お宅はどっちの方角を向いているんですか。 —

O1507. (A)お宅はどっちの方角を向いてるん。 —

J1508. (B)海に面しているんです。

O1508. (B)海に面してるんや。

J1509. 荷物車は最後部です。

O1509. 荷物車は{一番後ろやで/ 最後部にあるで}。

J1510. 道のどちら側かしらね？

O1510. 道のどっち側や。

J1511. (A)左に曲がりなよ。 —

O1511. (A)左に{曲がったら/ 曲がれや}。 —

J1512. (B)いや、右のほうだよ。

O1512. (B)ちゃうわ、右や。

J1513. 北のほうは大雪だそうだよ。

O1513. 北のほうは大雪らしいで。

J1514. 南向きの窓だ、これは。

O1514. 南向きの窓や、これは。

J1515. 東風だ。

O1515. 東風や。

J1516. 西に向かって進もう。

O1516. 西に向かって進もか。

114.線の種類

J1517. そんな置き方じゃ倒れるぞ。

- O1517. そんな置き方や{と/ ったら}倒れるで。
 J1518. (A)横にすりゃあ積めるよ。—(B)やってみな。
 O1518. (A)横にしたら積めるわ。 —(B)やってみて。
 J1519. 飛行機はまっさかさまに墜落した。
 O1519. 飛行機はまっさかさまに墜落した。
 J1520. 柱が少し傾いている。
 O1520. 柱が少し傾いてる。
 J1521. 鉄道は海岸線に沿って走っている。
 O1521. 鉄道は海岸線に沿って走ってる。
 J1522. 向こう側へ渡ろう。
 O1522. 向こう側に渡る。
 J1523. 人込みを縫って進んだ。
 O1523. 人ごみをかいくぐって進んだ。
 J1524. すれ違ったのにこっちが気がつかなかった。
 O1524. すれちご (一) たのに、こっちが気一つかんかった。

115.内と外

- J1525. 中で食事しよう。
 O1525. 中で飯食お。
 J1526. 外の空気はひえびえとしてきた。
 O1526. 外の空気は冷とうなってきた。
 J1527. まん中じゃじゃまだね。少し窓のほうへ寄せなよ。
 O1527. まん中やとじゃまやな。ちょっと窓のほうに寄せたら。
 J1528. あの人のまわりに人がきができた。
 O1528. あの人の周りに人垣ができた。
 J1529. 庭は石べいを巡らしてある。
 O1529. 庭は石塀をめぐらせ{てる/ たーる}。
 J1530. 紙で包んだらいいでしょう。
 O1530. 紙で包んだらええんとちゃうのん。
 J1531. 郵便局の先で学校までは行かないところです。
 O1531. 郵便局の先らへんで、学校までは行かへんあたりにあるわ。

- J1532. 両側に門がある。
 O1532. 両側に門がある。
 J1533. 反対側の端にすわっていたんですよ。
 O1533. 反対側の端っこに座ってたんや。
 J1534. [茶わん]おや、縁のところが欠けてるよ。
 O1534. あれっ、縁んとこ欠けてるで。
 J1535. どうぞおはいりください。
 O1535. どうぞおはいりください。// 入ってちょうだい。
 J1536. 出口はどこですか。
 O1536. 出口どこ (や)。

116. 方向

- J1537. どっちのほうに行ったらいいのかな。
 O1537. どっちに行ったらええんや。
 J1538. たいして行きたくもない。
 O1538. たいして行きたくもない。
 J1539. あの人がやってくるのが見えた。
 O1539. あの人が来るんが見えた。
 J1540. 出かける時間だよ。
 O1540. 出かける時間やで。
 J1541. いつ着くのか言ってなかったよ。
 O1541. いつごろ着くんか言うてなかったな。
 J1542. 犬は肉切れをくわえて逃げていった。
 O1542. 犬は肉切れをくわえて逃げていった。
 J1543. わたしを追っかけてきた。
 O1543. 私を追いかけてきた。
 J1544. こんなもの、片づけちゃえ！
 O1544. こんなん、片づけて (し) まえや。
 J1545. ええ、持ってきました。
 O1545. はい、持ってきましたよ。
 J1546. 引っ張るから押してくれ。

- O1546. 引っ張るから押してくれ。
 J1547. [びん]いくら引いてもせんが抜けない。
 O1547. なんぼやっても栓が抜けへん。
 J1548. 駅から来たんです。
 O1548. 駅から来たんや。
 J1549. 郵便局まで行くところだ。
 O1549. 郵便局まで行くところや。
 J1550. [どろぼう]窓からはいったんだ。
 O1550. 窓から入ったんや。
 J1551. 左に曲がらなくちゃいけなかったんだよ。
 O1551. 左にまがらなあかんかったんや。
 J1552. もう帰ってきてるかい。
 O1552. もう帰ってきてるか。
 J1553. もう決して2度とあんなところへ行くもんか!
 O1553. だれがあんなところ、2度と行くかい。

117.運動

- J1554. 草の中で何か動いてるよ。
 O1554. 草の中で何か動いてるで。
 J1555. [写真]じっとして、もう動かないでください。
 O1555. じっと{しといて/ しーやー/ して}。もう動かんといて。
 J1556. 急いで! もうエンジンがかかっているよ。
 O1556. {急ぎー/ 急げ}。もうエンジン{かかっているよ/ ぞ/ で}。
 J1557. 止まってください。ここです。
 O1557. 止ま{りー/ ってー}。ここ(や)。
 J1558. 海は荒れていた。
 O1558. 海は荒れてた。
 J1559. 波が静まってきた。
 O1559. 波が静まってきた。
 J1560. ぴしゃりと1発横つつらを張り飛ばした。
 O1560. ばしーんと1発ほっぺたを張り倒した。

J1561. (A)何もしないのになぜぶつんだよ?—

O1561. (A)なんもしてへんのに、なんで{なぐんねん/ なぐられなあかんねん}。—

J1562. (B)向こうが先に三つもなぐったんだい、頭と腕と背中を!

O1562. (B)向こうが先に頭、腕、背中て3発なぐってきたんや。

J1563. あぶないよ。そんな長い棒を振り回しちゃ。

O1563. あぶないわ。そんな長い棒振り回したら。

J1564. もっとごしごしこすってごらんよ。

O1564. もっとごしごしこすってみーや。

118.場所の多少

J1565. あちこち旅行して回った。

O1565. あっちこっち旅行してまわった。

J1566. こういうものは搜したってそうざらにあるものじゃないよ。

O1566. こういうもんは搜したところで{めったに/ なかなか}あるもんやないで。

J1567. こんなもの、どこにだってあるさ。

O1567. こんなもん、どこにでもあるやろ。

J1568. [洪水]どっちを見ても水だった。

O1568. どこを見ても水だらけやった。

J1569. もうどこを搜したって売ってはいないさ。

O1569. もうどこ搜しても売ってへんやろ。

J1570. その病気がはやってる。

O1570. その病気が流行ってる。

119.空間の測定

J1571. 目分量で量っただけです。

O1571. 目分量で量っただけや。

J1572. 寸法をとってくれませんか。

O1572. 寸法とってくれへん。

J1573. メートル尺、どこへやった?

O1573. {ものさし/メートル尺}、どこ{いった/にやった}?

J1574. 3メートルと言ったり4メートルと言ったり、いったいどっちだい!

O1574. 3メーター{やわ/ちゅうたり}4メーター{やわ/ちゅうたり}、どっちやねん。(はっきりせえ。)

J1575. 地図にも出てない、ちっちゃな町さ。

O1575. 地図にも出てへん、ちっちゃい町やねん。

J1576. 今度は地理の試験があるんだってさ、

O1576. 今度は地理の試験がある{らしい/みたいや}で。

120.空間の利用

J1577. ここには置く場所がないよ。

O1577. ここには置く場所ないで。

J1578. あっちの広い教室ならみんなはいれるだろう。

O1578. あっちの広い教室やったら、みんな入れるんとかやうか。

J1579. へやはがらんとしていた。

O1579. 部屋はがら一んとしてた。

J1580. 身動きもできないよ、あの店じゃあ。

O1580. 身動きでけへんわ、あの店やったら。

J1581. (A)あいた席はありますか。—

O1581. (A)あいてる席はありますか。—

J1582. (B)空席はございません。いっぱいです。

O1582. (B)空席はございません。いっぱいです。

J1583. かさばりすぎるよ。置いていこう。

O1583. かさばりすぎや。置いてくで。

X I . 時間

121.時間と接続時間

J1584. 西洋人には時間はたいせつなものだ。

O1584. 西洋人にとったら時間は大事なもんや。

J1585. [天気]もってくればいいが。

- O1585. もってくれたらええんやけど。
 J1586. ここから駅までは、どのくらいかかるかちよっとわからないなあ。
 O1586. ここから駅まで、どれくらいかかるか、すまんけどようわからんわ。
 J1587. [訪問]3 時間も腰を落ち着けた。
 O1587. 3 時間もゆっくりしてしもた。//3 時間も腰を落ち着けた。
 J1588. 東京に来てからもう 5 年になる。
 O1588. 東京に来てからもう 5 年になるわ。
 J1589. これからはいつまでも平和が続くと人々は信じていた。
 O1589. これからはいつまでも平和が続くと人々は信じてた。
 J1590. 続けて読んでなさい。すぐにもどってくるから。
 O1590. 続けて読んでいて。すぐもどってくる{さかい/ んで/ から}。
 J1591. (A)出かけてくる。—(B)長くかかるの?—(A)いや、そうでもないさ。
 O1591. (A)出かけてくる。 —(B)なごかかんの。 —(A)そうでもないやろ。
 // {そんなに/ そない}かからんやろ。
 J1592. すぐに警察に電話しなさい。
 O1592. {さっさと/ すぐに}警察に電話せー。
 J1593. もうちょっと古いし、たいしたもんじゃありませんよ。
 O1593. 割と古いし、たいしたもんやないよ。
 J1594. 新築だよ、この家は。
 O1594. 新築やで、この家。

122. 日時

- J1595. 5 時に仕事を切り上げよう。
 O1595. 5 時に仕事切り上げ{るぞ/ るで/ よ}。
 J1596. 冗談言ってるときじゃないよ。
 O1596. しょうもないこと言うてる場合やないわ。
 J1597. へえ、わたしがいたころには、それはまだなかったけど……
 O1597. ふーん、わたしがいたころには、それはまだなかったなあ。
 J1598. 行ってしまってから 6 年になる。
 O1598. 行ってしもてから 6 年たった。
 J1599. 水曜日までに仕上がりますか。

- O1599. 水曜（日）までに{できる/ できんの/ 仕上がりますか}。
J1600. いや、彼のほうが女を呼び寄せたんだよ。
O1600. ちゃう、彼が女を{呼んだ/ 呼び寄せた}んや。
J1601. いや、彼のほうが女を呼び寄せてるんだよ。
O1601. ちゃう、彼が女を勝手に{呼んでる/ 呼び寄せてる}んや。
J1602. 雨でも行くんだよ。
O1602. 雨でも行くぞ。
J1603. 昔とはすっかり変わってしまった。
O1603. 昔とはすっかり変わってしもた。
J1604. 先のことはだれにもわかりやしない。
O1604. 先のことは誰にも分からん。
J1605. ちょっと前までここにいたんですが.....
O1605. ついさっきまでここにおったんやけど。
J1606. 今ちょうどお電話しようとしていたところなんです。
O1606. 今ちょうど電話しようと思てた（とこな）んですわ。
J1607. きのう一日じゅうあの人を待ってたんだが。
O1607. 昨日一日中あの人を待ってたんやけど。
J1608. おととい出てからずっとろくなことがないな。
O1608. おととい出てから、ずーっとろくなことあらへん。
J1609. きょうはかなり寒いな。
O1609. 今日はかなり寒いな。
J1610. あしたはどうする？
O1610. あしたどないすんねん。 / あしたどうする？
J1611. もしかすると、あさって会うかもしれない。
O1611. もしかしたら、あさって会うかもしらん。
J1612. ゆうべは気分が悪かった。
O1612. ゆうべは気分が悪かった。
J1613. 一夜明ければ、様子が変わるだろう。
O1613. 一晩あけたら、様子が変わるんとかやうか。
J1614. けさ小林さんに会いました。
O1614. 今朝小林さんに会った。

J1615. (A)きょうの午後にはここにあったんです。—(B)でも、今はないよ。

O1615. (A)今日の昼にはここにあったんや。 —(B)でも、いまはないやん。

J1616. 今晩は行かなかった。

O1616. 今晩は{行かへんかった/ 行かなんだ}。

J1617. (A)先週は行きましたか。 —(B)ええ、行きました。

O1617. (A)先週行った? —(B)ふん、行ったよ。

J1618. 来年もまた行こうよ。

O1618. 来年もまた行こか。

J1619. (A)2 年になるかな、彼がフランスに行ってから。 —

O1619. (A)2 年になるなあ、彼がフランスに行ってから。 —

J1620. (B)2 ヶ月ほどすると帰ってくるはずだよ。

O1620. (B)2 ヶ月ぐらいで帰ってくるはずや。

123.時の単位

J1621. やっぱり、まだ日に五、六秒進むんだ。

O1621. やっぱり、まだ日に 5,6 秒進むんや。

J1622. もうあと 5 分しかない。

O1622. あと 5 分しかあらへん。

J1623. 4 時半だ。

O1623. 4 時半や。

J1624. 2 時間おきに船が出る。

O1624. 2 時間おきに船が出る。

J1625. 準備の都合がありますから、二、三日前に知らせてください。

O1625. 準備の都合があるんで、2,3 日前に知らしてください。

J1626. 夜は今忙しいから、昼間にしてください。

O1626. 夜は今忙しいんで、昼間にしてくれませんか。

J1627. 一晩じゅうほとんど眠れなかった。

O1627. 一晩中ほとんど眠れんかった。

J1628. (A)あすの朝にはでき上がります。 —(B)もっと早くできないんですか。

O1628. (A)明日の朝にはできると思います。 —(B)もっとはよでけへんの。

- J1629. 忙しいんですが、昼からならあいてます。
O1629. 忙しいんやけど、昼からやったらあいてる。
J1630. あなたのいちばんご都合のいい晩は？
O1630. そちらの一番ご都合のいい晩はいつです？
J1631. 昼からずっと待ってたんだぞ。
O1631. 昼からずっと待とったんやで。
J1632. ゆうべは 12 時に寝た。
O1632. 昨日は 12 時に寝た。
J1633. 1 週間ぐらいでできます。
O1633. 1 週間ぐらいでできます。
J1634. きょうは何曜だっけ？
O1634. 今日何曜（日）や？
J1635. わかった、日曜の晩ということだね。
O1635. わかった。日曜の晩いうことで。
J1636. 思い出した、あの人が着いたのは何でも月曜日だったよ。
O1636. 思い出した。あの人が着いたんはたぶん月曜やったわ。
J1637. 火曜までなら、待たってかまわないよ。
O1637. 火曜までやったら、待ってもかまへんよ。
J1638. 水曜に背広ができてくるはずだったんだけど……
O1638. 水曜にスーツができてくるはずやったんやけど。
J1639. とにかく、もし明日おいでがなければ、木曜ということにしましょ
う。
O1639. そしたら、明日来られへんかったら、木曜ということ。
J1640. 1 週間後の金曜にしよう。
O1640. 1 週間後の金曜に{しよ/ せーへん}か。
J1641. きょうは土曜だったね？
O1641. 今日は土曜やったよな。
J1642. ひとつ週末旅行としゃれこむか、どうだい、きみ？
O1642. そやな、週末旅行とでもしゃれこむか、あんたはどないや。
J1643. また月末がやってきた。
O1643. また月末がやってきた。

J1644. きょうは何日だっけ？

O1644. 今日何日 (や) ？

J1645. (A)1 月にやるってのはどうかしら？—

O1645. (A)1 月にやるんはどうや。—

J1646. (B)どっちにしろ 2 月じゃおそすぎるな。

O1646. (B)どっちにしろ 2 月やとおそすぎんなあ。

J1647. (A)3 月に行きましたよ。—(B)そうでしたか。

O1647. (A)3 月に行ったわ。—(B)そうか。

J1648. 4 月の初めごろがいいでしょう。

O1648. 4 月のあたまぐらいがええんとちゃうか。

J1649. (A)誕生日は 5 月 4 日だよ。—

O1649. (A)誕生日は 5 月 4 日や。—

J1650. (B)ええ？ 6 月 4 日だとばかり思っていた。

O1650. (B)ええ？ 6 月 4 日やと思てた。

J1651. 7 月はどうします？ とくに当てはないの？

O1651. 7 月はどないする？ とくに当てはないんか。

J1652. 8 月 10 日が誕生日なんです。

O1652. 8 月 10 日が誕生日なんや。

J1653. (A)9 月にあそこへ行くことになってます。—(B)ああ、そうですか。

O1653. (A)9 月にあそこに行くことになってるんよ。—(B)そうなん。

J1654. (A)ぜひ 10 月にいらっしやい。—(B)ええ、考えときましよう。

O1654. (A)ぜひ 10 月においで。—(B)ほな、考えときますわ。

J1655. この手紙は 11 月 8 日付だ。

O1655. この手紙は 11 月 8 日付けや。

J1656. 12 月は押し迫ってすることが多いんです。

O1656. 12 月は直前でばたばたすることが多いなあ。

J1657. もうすぐお正月だね。

O1657. もうすぐ正月やな。

J1658. (A)まず、季節はいつがいちばん都合いいかね？—(B)春だね、やっぱり。

O1658. (A)とりあえず、いつの季節が一番都合がええのん。—(B)やっぱり春やな。

J1659. いなかっぺいいね、とくに春が。

O1659. いなかはええなあ。特に春。

J1660. じゃあ、この夏はどうしようか。

O1660. あんなあ、今年の夏どないする。

J1661. おりがあったら、この秋にあそこへ行こう。

O1661. 日が会うたら、秋にでもあそこに行くか。

J1662. この冬はまだ1度もかぜを引いてないよ。

O1662. この冬は{いっぺん/1回}も風邪引いてへんわ。

J1663. 1年間の契約でその家を借りた。

O1663. 1年契約でその家借りた。

J1664. 何百年も前からあるお寺なんだよ。

O1664. 何百年前からある寺なんや。

124.時の関係

J1665. わたしの生まれる前に死んだんです。

O1665. 俺が生まれる前に死んだんや。

J1666. 2時ちょっと過ぎにお宅へ伺います。

O1666. 2時ちょっと過ぎぐらいにそつちに伺います。

J1667. 帰ってきたときには、雨が降っていた。

O1667. 帰ってきたら、雨降ってた。

J1668. 何かあったんですか、前の日に？

O1668. 何かあったんか、昨日。

J1669. 翌日行くと返事をした。

O1669. 「明日行くわ」{て/と}返事{した/しといた}。

J1670. あれが行ったのはその2日前だった。

O1670. あれが行ったんは2日前やった。

J1671. 二月ほどしてなりました。

O1671. {二か月/ふたつき}ぐらいで治りました。

J1672. たずねる前に手紙を出しておいた。

- O1672. 行く前に手紙を出しといた。
 J1673. 去年行ったときは恐ろしく寒かった。
 O1673. 去年行ったときはめちゃくちゃ寒かった。
 J1674. 読み終わったら忘れずに返してくれ。
 O1674. {読んだら/読み終わった}忘れんうちに返して(くれ)や。
 J1675. 今まで待ったが、もうたくさんだ。
 O1675. 今まで待ったけど、もうかんべんしてくれ。
 J1676. これからはもう少し早く起きるようにします。
 O1676. これからはもう少しはよ起きるようにするわ。
 J1677. もうついたちですか。
 O1677. もうついたちか。
 J1678. まだ起きてません。
 O1678. まだ起きてま{せん/へん}。²⁶
 J1679. (A)わたしがもどってくるまで、いらっしゃいますか。—
 O1679. (A)わたしがもどってくるまで、いますか。—
 J1680. (B)いいえ、そんなにゆっくりしてはいられません。
 O1680. (B)いや、そんなにゆっくりはしてられへん。

125. 行為の進行段階

- J1681. 一息で飲み干した。
 O1681. 一気に{飲んでしもた/飲み干した}。
 J1682. だんだん聞いてみると、職がないんです。²⁷
 O1682. だんだん分かってきたんやけど、職がない{んよ/みたいやわ}。//
 空きがないんやて。
 J1683. 仕事のほうは、どのぐらい進んでます？
 O1683. 仕事、どれぐらい進んでる？
 J1684. どしゃ降りになったとき、庭にいました。
 O1684. どしゃ降りんとき、庭におったわ。

²⁶ O1678 で「起きてまへん」と言うと、ふざけた感じがする。

²⁷ 原文は「peu à peu」である。原文では「J'ai appris peu à peu qu'il n'avait pas de place.」という例文が記されている。日本語訳の「職がない」は意識となっている。

- J1685. 車が急に走り出したもんだから……
- O1685. 車が急に走り出したから。
- J1686. [長い訪問客]やれやれ、やっと帰ったよ。
- O1686. ふー、やっと帰ったわ。
- J1687. このまま続けていけば、金持ちになれないともかぎらない。
- O1687. このまま続けていったら、金持ちになれるんとかやうか。
- J1688. 試合は雨で中止になった。
- O1688. 試合は雨で中止になった。
- J1689. その音で夜通し眠れなかった。
- O1689. その音のせいで一晩中眠れんかった。
- J1690. (A)何してるの、手紙かい？—(B)うん、二、三通書いてるところなんだ。
- O1690. (A)何してんねん。手紙か。 —(B)そうや、2,3 通書いてるとこなんで。
- J1691. 休暇もうじきおしまいだ。
- O1691. 休みももうすぐ{終わる/ 終わりや}なあ。

126.速度・頻度

- J1692. この飛行機は速力はどのくらいですか。
- O1692. この飛行機どれぐらいの{スピード/ 速さ}で飛ぶんですか。
- J1693. 急いで行ってしまったから、話しかける暇もなかった。
- O1693. 急いで行ってしもたんで、話しかける暇もなかった。
- J1694. タクシーにしよう、バスはおそいから。
- O1694. タクシーにしよ。バスおそいし。
- J1695. [バス](A)すぐ来ますか。—(B)10 分おきなんです。
- O1695. (A)すぐ来ます？ —(B)10 分おきに来ます。
- J1696. 何度も手紙を書いたけど、だめだった。
- O1696. 何回も手紙書いたけど、{あかんかった/ ダメやった}。
- J1697. そりゃあ、来ることもありますよ、たまに来るだけですよ。
- O1697. そら、来てるといや来てるけど、ほんまたまにしか来んな。
- J1698. 1 度しか会ったことがない。

- O1698. 1 回しか会うてないわ。
 J1699. そんなこと 2 度と言うなよ！
 O1699. そんなん 2 度と言うな。
 J1700. あの人は 4 回来た。
 O1700. あの人は 4 回来た。
 J1701. 今度だけは水に流してやろう。
 O1701. 今度だけは{なかったことにする/ 水に流す}わ。
 J1702. この前そう言ったじゃないか、忘れたの？
 O1702. こないだそう言うたやないか。もう忘れたんか。
 J1703. 今度はいつお目にかかりましょう。
 O1703. 今度 (は) いつ{にしますか/ 会いますか/ お会いしますか}。
 J1704. 日曜にはときどきやってくる。
 O1704. 日曜にときどき来る。
 J1705. それ以後 1 度も会ってない。
 O1705. あれから 1 回も会ってないわ。
 J1706. いつ行っても留守だった。
 O1706. いつ行っても留守やった。
 J1707. 毎日会ってるんです。
 O1707. 毎日会うてるんよ。
 J1708. 1 日おきに行くんです。
 O1708. 1 日おきに行くんや。
 J1709. 週 3 回ここに来ることになっている。
 O1709. 週 3 でここに来ることになってる。

127. 時間・事件の限定

- J1710. わたしの時計は止まっていた。
 O1710. 私の時計は止まってた。
 J1711. 時代物だね、この時計は。
 O1711. 時代もんやな、この時計。
 J1712. 時間表を取ってきてくれ。
 O1712. 時間表取ってきて。

- J1713. 何日に当たるかちょっと暦で見てみてよ。
 O1713. 何日になんのか、ちょーカレンダー見てみて。
 J1714. 日記に書き留めておいた。
 O1714. 日記に書き留めといた。
 J1715. 話をしてください。
 O1715. 話をしてくれ。
 J1716. 歴史の先生です。
 O1716. 歴史の先生や。
 J1717. ちょうど彼の伝記を読み終えたところだ。
 O1717. ちょうど彼の伝記{読んだ/読み終わった}とこや。

128.時間の利用

- J1718. 急ごう、もうおそいから。
 O1718. {急ご/急がな}、もうおそいし。
 J1719. 早くたちたいんです。
 O1719. 早く{出たい/出発したい}んや。
 J1720. (A)間に合うように帰れる?—
 O1720. (A) 間に合うように帰れるか。—
 J1721. (B)間に合わないんじゃないかな。
 O1721. (B)間に合わんのんちゃう。
 J1722. 早く来すぎた。
 O1722. はよ来すぎた。
 J1723. (A)お急ぎですか。—(B)いいえ、急ぎません。
 O1723. (A)急いでんの。—(B)全然。急いでへんよ。
 J1724. どうぞごゆっくり! もうしばらくよろしいじゃありませんか。
 O1724. ええ、(もう) 帰んのかい。もうちょいゆっくりしていったらええのに。//まだしばらくおったらええやんか。
 J1725. あしたもしも暇だったら行きますよ、たぶん 5時から 6時までの間に。
 O1725. あした暇やったら行くわ。5時か 6時ぐらいでええか。
 J1726. 今ちょっと手が離せないなので、お目にかかれません。

- O1726. 今ちょっと手一離されへん{から/ のんで}、お会いできませんわ。
 J1727. おやおや、もう出かける時間だよ。
 O1727. おいつ。もう出かける時間やで。
 J1728. 9日に会う約束になってるんです。
 O1728. 9日に会う約束になってるんやけど。
 J1729. ぐずぐずしてたから、いい機会をのがしちゃった。
 O1729. ぐずぐずしとるから、ええ機会のがしてしもたやろうが。
 J1730. ちょうどいいときに来ましたね。とてもいい話があるんですよ。
 O1730. ちょうどええ時にきたな。まじでええ話{あるん/ あんね}やけど。
 J1731. 7日はちょっと都合が悪いんです。
 O1731. 7日はちょっと都合が悪いんや。
 J1732. 船ではどんなふうにご過ごしていたんです？
 O1732. 船でどんなふうにご過ごしてたん？
 J1733. 時間つぶしで、いい迷惑だよ。
 O1733. 時間つぶしかい。ほんま迷惑やわ。
 J1734. 時のたつのは早いもんだね。
 O1734. 時がたつのは早いなあ。
 J1735. 暇つぶしに映画へ行くのさ。
 O1735. 暇つぶしに映画見にいってくるわ。
 J1736. 見ろよ、流行の先端を行っているじゃないか、あの女。
 O1736. 見てみー。流行の先端いってるやん、あの女。
 J1737. 相変わらず古くさい考えなんだね、きみは。
 O1737. 相変わらず古くさい考えやなあ、おまえは。

X II. 順序・量・質

129. 秩序・規則

- J1738. 仕事のほうはきちんといっているかい？
 O1738. 仕事(は)うまくいってるんか。
 J1739. へやが片づいた。
 O1739. 部屋が片付いた。

- J1740. カラーのボタンを捜すんで、へやをひっかき回してしまった。
 O1740. カラーのボタン捜すために、へやんなか引っ掻き回してもた。
 J1741. よく片づいてるね！
 O1741. ようかたづいてるな。
 J1742. そんな規則があるとは知らなかった。
 O1742. そんな規則知らんわ。
 J1743. きまって日曜に來ます。
 O1743. いつつも日曜に來ます。
 J1744. どういうことなのか、例をあげてごらん。
 O1744. どういうことか、例あげてみ。
 J1745. (A)どこかいけないところがありますか。—(B)いいえ、このとおりでいいですよ。
 O1745. (A)なんかあかんとこあるんか。—(B)別に。この{まんま/ とおり}でええよ。
 J1746. あなただけ特別扱いはできません。
 O1746. あんただけ特別扱いちゅうわけにはいかんので。
 J1747. 若いころいろんな経験をした人です。
 O1747. 若いときにいろいろ経験した人なんで。
 J1748. 事故のこと、聞いた？
 O1748. 事故のこと、聞いた？
 J1749. 危うく難を逃れた。
 O1749. 危うく難を逃れた。
 J1750. この時計は狂ってるんです。
 O1750. この時計、狂ってるんよ。
 J1751. このかさ直してもらいたいんですが……
 O1751. このかさ直してもらいたいんやけど。

130. 継続・順番

- J1752. 次々にいろんな申し出をしてきた。
 O1752. 次々にいろんな申し出をしてきた。
 J1753. 今度はぼくの番だ。

- O1753. 次は私の番や。
 J1754. 上位の成績を収めた。
 O1754. 上位の成績を収めた。
 J1755. 番号を間違えた。
 O1755. 番号を間違えた。
 J1756. 初めからこっちのチームが押していた。
 O1756. 初めからこっちのチームが押してた。
 J1757. [分類](A)これはまん中に来て……
 O1757. (A)これはまん中に来て……
 J1758. (A)これは最後に来て……
 O1758. (A)これは最後に来て……
 J1759. (A)これは前に来て……
 O1759. (A)これは前 (のほう) に来て……
 J1760. (A)これは一緒のところに来て……
 O1760. (A)これはおんなじところに来て……
 J1761. (B)うん、それからこれは? —(A)それはすぐあとに来るんだ。
 O1761. (B){ほんなら/ そしたら}、これは。 —(A)それはすぐあとに来んねや。
 J1762. 確かにこっちの道かい?
 O1762. ほんまにこっちの道か?
 J1763. どっち? こっちですか、あっちですか。
 O1763. どっちや? こっち? あっち?
 J1764. カタログを見せていただけませんか。
 O1764. カタログ見せてくれへんか。

131.分類

- J1765. 一般的に言っているんで、もちろん例外はありますよ。
 O1765. 一般的な話なんで、もちろん例外はあるよ。
 J1766. 特別列車で来ました。
 O1766. 特別列車で来ました。
 J1767. 細かいところにもっと気をつけてほしいね。

O1767. 細かいとこまでもうちょい気一つけてくれたらええんやけど。

J1768. 会のおもな顔ぶれはどんなふうなの？

O1768. 会のおもだった顔ぶれどなん？

J1769. すると、二流の作品なんだね。

O1769. そしたら、二流の作品なんやな。

J1770. まず分類したらいいでしょう。

O1770. とにかく分類したらええ{やん/ ねん}。

J1771. 種類が違うよ。

O1771. 種類が{ちやう/ 違う}よ。

J1772. おのおの 1 枚ずつ買った。

O1772. それぞれ 1 枚ずつ買った。

J1773. これはどこへはいるの？

O1773. これどこに入るん？

J1774. 切手を集めてる。

O1774. 切手を集めてる。

132.分量・強調

J1775. 量はどのくらいあるのか知らない。

O1775. 量はどれくらいあんのか知らん。

J1776. 少し残ってる。

O1776. 少し残ってる。

J1777. (A)お酒はだいぶいけますか。—(B)いえ、いくらもいけません。

O1777. (A)酒はけっこう飲めんの。 —(B)いや、あんまり飲まれへん。

J1778. ちっともお上がりにならないじゃありませんか。

O1778. 全然食べはらへんやんか。

J1779. 何にも残ってない。

O1779. なんにも残ってへん。

J1780. だいぶ出血した。

O1780. {だいぶ/ かなり}出血した。

J1781. ばくだいな金を残して死んだ。

O1781. ばくだいな金を残して死んだ。

J1782. 程度問題だね。

O1782. 程度問題やな。

J1783. (A)冬はあまり早くは起きません。—

O1783. (A)冬はあんまり早くに起きへん。—

J1784. (B)そのほうがいいですとも。

O1784. (B)そのほうがええんとちゃうの。

J1785. すごい馬力のモーターだ

O1785. すごい馬力のモーターや。

J1786. ちっとも疲れてなんかいませんよ。

O1786. 別に疲れてへんよ。

J1787. あの人の歌はまだまあまあ聞けるじゃないか。

O1787. あの人の歌、まだまだまあまあ聞けるやん。

133.量の比較・増減

J1788. わたしのほうが年上ですよ。

O1788. 私の方が年上や。

J1789. 思っていたほどばかじゃないね。

O1789. 思ってたほど{あほ/ ばか}やないな。²⁸

J1790. よしきた、あと 200 円出せば勘定は合うんだね？

O1790. よし、あと 200 円はろたら勘定合うんやな。

J1791. いくらかまからない。

O1791. なんぼかまけて一や一。

J1792. 家じゅうでいちばん大きいんです。

O1792. 家ん中で一番大きいんや。

J1793. せめてそのくらいはしなくちゃいけないなあ。

O1793. せめてそれくらいはせんとあかんかなあ。

J1794. 多ければ多いほどけっこう。

O1794. 多かったら多いほどええやん。

J1795. しかればしかるほど言うことを聞かなくなる。

²⁸ O1789 で「ばか」を使う時は、東京でよそ行きの大阪弁を話していることが想定される。自身の大阪弁で話せる場面では「あほ」を使う。

O1795. しかつたらしかるほど、言うこと聞かんようになる。

134. 共存と欠如

J1796. 友だちと一緒にだったもんですから失礼しました。

O1796. 友だちと一緒にやったんですませんでした。

J1797. いや、今度はだれも連れてないで行ったんだ。

O1797. いや、今度は誰も連れていかんかったんや。

J1798. 電話をした上に、手紙もだしときますよ。

O1798. 電話するけど、手紙も出しとくわ。

J1799. あの人は日本語が話せないし、弟さんもだめなんです。

O1799. あの人の日本語しゃべられへんし、弟さんもあかんの（ん）よ。

J1800. 子どもを入れて、みんなで 10 人です。

O1800. 子どもを入れて、全部で 10 人や。

J1801. わたしの父のほかはみんな来ていた。

O1801. 私の父以外はみんな来てた。

J1802. 3 人とも行きました。

O1802. 3 人とも行きました。

J1803. みんなと仲たがいした、親友たちとさえも。

O1803. みんなと仲たがいした。親友も含めて。

J1804. わたしにあいさつもしなかった。

O1804. 私にあいさつもせへんかった。

J1805. わたしのほかにもたくさん行きます。

O1805. わたしのほかにもたくさん行きます。

J1806. 品がよくて、おまけに安い。

O1806. ものがよくて、そんで安い。

J1807. どちらもあまり気に入らない。

O1807. どちらもなんか気に入らん。

J1808. 野菜しか食べない。

O1808. 野菜しか食べへん。

J1809. いつか食事を一緒にしたことがあります。

O1809. 前に一緒に食事をしたことがあります。

J1810. 別にしておかなければならないよ。

O1810. 別にしとかなあかんで。

J1811. 何だいいの話は、何もかも混ぜこぜじゃないか！ いろんな問題を
ごちゃごちゃにしまって！

O1811. なんやあの話は。なんもかんもごちゃまぜやないか。いろんな問題を
を{ごちゃごちゃ/ ごちゃごちゃ}にしとんねや。

J1812. これは混じりけのない生の酒だ。

O1812. これはまじりっけのない生の酒や。

135.全体と部分

J1813. あるっだけ買った。

O1813. あるだけ買うた。

J1814. 合計は 1800 円になる。

O1814. 合計で 1800 円になる。

J1815. 財産を五つに分けた。

O1815. 財産を 5 つに分けた。

J1816. 一部分は鉄で、ほかは木でできている。

O1816. 一部は鉄で、ほかは木一でできてる。

J1817. 会では加藤さんをはじめいろいろの人に会いました。

O1817. 会では加藤さんをはじめいろんな人に会いました。

J1818. 仕事の 4 分の 1 を終えた。

O1818. 仕事の 4 分の 1 ぐらい終わった。

J1819. 値段が 15 パーセントから 20 パーセント上がった。

O1819. 値段が 15 パーから 20 パーぐらい上がった。

J1820. 1 人は死んだが、もう 1 人はまだ生きている。

O1820. 1 人は死んでしもたけど、もう 1 人はまだ生き{とる/ てる}。

J1821. ほかのところは、たいへんけっこうです。

O1821. ほかんとこは、{けっこうできてるわ/ かなりええんとちゃうの}。

J1822. ほかの人たちはみんな行っちゃった。

O1822. ほかの人たちはみんな{行ってしもた/ もう行きおった}。

J1823. しごく簡単だよ。

- O1823. すごい簡単やで。
 J1824. それに、あまり込み入っていると長続きしないしね。
 O1824. ほんで、あんまりごちゃごちゃしてたら長続きせーへんからな。
 J1825. 600 円ずつです。
 O1825. 600 円ずつ ({{な/ や}})。
 J1826. バスは満員だ。
 O1826. バスは満員や。
 J1827. だいたいこれでいいんだが、完全とはいえないね。
 O1827. だいたいこれでええんやけど、完璧やないな。
 J1828. (A)何時だい?—(B)だいたい 11 時だね。
 O1828. (A)何時や。 —(B)11 時ぐらいや。

136.数量

- J1829. あんまりたくさんあって、勘定できませんよ。
 O1829. ぎょうさんありすぎて、数えられへんわ。
 J1830. 確かな数はわかりませんが、ざっと 500 人ぐらいでしょう。
 O1830. 正確な数はわからんけど、(ざっと) 500 人ぐらいおるんとちゃうか。
 J1831. その前に買うものがたくさんある。
 O1831. その前に{{買うとく/ 買ったく}}もんがけっこうある。
 J1832. ほんとうのことを知っているのは二、三人ぐらいのもんだ。
 O1832. ほんまのことを知ってるんは 2,3 人ぐらいやろ。
 J1833. ここに住んでるフランス人は、あの人 1 人きりです。
 O1833. ここに住んでるフランス人は、あの人 1 人だけや。
 J1834. 仲間のうちでもだれも見た者はない。
 O1834. {{知り合いん中でも/ 仲間うちで}}、{{誰も見てないって/ 誰も見た}}
 {{やつ/ もん}}おらへん。
 J1835. それは幾箱もあるんだ。
 O1835. それ何箱もあるで。
 J1836. ほら、二つ三つあげよう。
 O1836. ほな、二つ三つあげ{{よ/ るか}}。

- J1837. 勘定ぐらいできるよ。
 O1837. 計算ぐらいできるわ。
 J1838. この事務所には計算機がないんだ。
 O1838. この事務所、電卓{ないんや/ あらへん}。
 J1839. 数学の素質がないんだな。
 O1839. 数学のセンスが{ない/ あらへん}なあ。

137.数字

- J1840. この数字は全然読めないね。
 O1840. この数字全然読まれへん。
 J1841. こりゃいかん、ゼロが一つ足りないぞ。
 O1841. こらあかん。ゼロ一つ足らへん。
 J1842. 1 時過ぎに伺います。
 O1842. 1 時過ぎに行きます。
 J1843. 2 時間も待ったんですよ！
 O1843. 2 時間待ったんやで。
 J1844. 3 メートルで足りますか。
 O1844. 3 メーターで足りる？
 J1845. 4 年ごとにある。
 O1845. 4 年ごとにある。
 J1846. 5 時ごろに来る。
 O1846. 5 時ごろに来る。
 J1847. 6 時ごろに帰ってきた。
 O1847. 6 時ごろに帰ってきた。
 J1848. おそくとも 7 時にはあっちへ着かなきゃならない。
 O1848. おそくとも 7 時にはあっちに着かなあかんねん。
 J1849. 8 時に起こしてね。
 O1849. 8 時に起こして (くれ)。
 J1850. 9 時にうちに帰ってきた。
 O1850. 9 時にうちに帰ってきた。
 J1851. 10 分しかかからなかった。

- O1851. 10 分しかかからなかった。
- J1852. 11 時からここにいるんです。
- O1852. 11 時からここにおるんや。
- J1853. 1 ダースもらいます。
- O1853. 1 ダースもらうわ。
- J1854. もう 13 歳だ。
- O1854. もう 13 歳や。
- J1855. 1400 円で買った。
- O1855. 1400 円で買うた。
- J1856. 1500 円になります。
- O1856. 1500 円{です/ や}。
- J1857. (A)上はいくつになるの?—(B)もう 16 になりました。
- O1857. (A)上 (の子) はいくつ (になった (ん)) ? —(B)もう 16{です/ になりました}。
- J1858. (A)きょうは 17 日だったね?—
- O1858. (A)きょうは 17 日やったな。—
- J1859. (B)いえ、18 日です。
- O1859. (B){いや/ ちゃう (わ) }, 18 日や。
- J1860. みんなで 19 人だった。
- O1860. 全部で 19 人やった。
- J1861. 数えてみたら 21 あったよ。
- O1861. 数えてみたら 21 あったわ。
- J1862. 32 歳だと言っているが、ほんとは 42 歳なんです。
- O1862. 32 歳やて言うてるけど、ほんまは 42 歳なんや。({どんなけ/ 10 も} しば読んでんねん。)
- J1863. 40 近いんでしょう。
- O1863. 40 近いんやろ。
- J1864. (A)厚い本? —(B)いや、五、六十ページだよ。
- O1864. (A)厚い本? —(B)いや、5,60 ページや。
- J1865. 少なくとも 60 にはなってるはずだが、そうは見えないな。
- O1865. 少なくとも 60 にはなってるはずなんやけど、そうは見えへんなあ。

J1866. 70 の坂を越している。

O1866. 70 の坂を越してるな。

J1867. 志願者が 80 人以上もいた。

O1867. 志願者が 80 人以上おった。

J1868. (A)来年でちょうど 90 歳なんですよ。—(B)いいお年ですね。

O1868. (A)来年でちょうど 90 歳なんよ。—(B)いいお年ですね。// ええ(お年やなあ。

J1869. 105 番地です。

O1869. 105 番地や。

J1870. あいた！ 10 万の金がばあになったか！

O1870. うわー。10 万 (円) ばーになった。

J1871. 購読者が 1 万以上ある。

O1871. 購読者が 1 万人以上おる。

J1872. 218 万かかったんだ、あの家は。

O1872. 218 万かかったんや、あの家 (買うんに)。

J1873. 5 億円の資本だそうだ。

O1873. 5 億円の資本らしいで。

J1874. 公債は数十億です。

O1874. 公債は数十億や。

J1875.[星]とても数えられないよ、数に切りがないからね。

O1875. 数えられるわけないやろ。切り (が) {あらへん/ ない}。

138.量の多少

J1876. (A)足りないな。—(B)そうかねえ。—

O1876. (A)足らんな。—(B)ほんまか。—

J1877. (A)うん、ちょっと足りないよ。

O1877. (A)うん。やっぱりちょっと足らんわ。

J1878. 十分いただきました。

O1878. 十分いただきました。

J1879. ちょうど 2 杯分ある。

O1879. ちょうど 2 杯分ある。

- J1880. (A)お金足りる?—(B)だいじょうぶ、十分足りますよ。
 O1880. (A)お金足りる? —(B)だいじょうぶ、十分足りるよ。
 J1881. 酒好きも、ああ過ぎちゃあね。
 O1881. 酒好きも、あそこまで{いってまう/ 飲みすぎる}となあ。

139. 質・やり方

- J1882. この地方の気候はとても変わってる。
 O1882. この地方の気候はかなり変わってる。
 J1883. 別にこれといって変わった点はないようですが……
 O1883. 別に変わったとこ、ないと思うけど。
 J1884. 決してそんなことを言った覚えはない。
 O1884. 間違ってもそんなこと言うた覚えはない。
 J1885. そんな働き方ではだめだよ。
 O1885. そんな働き方{やと/ では}あかん ({ぞ/ わ})。

X III. 存在と関係

140. 存在

- J1886. 実際あるんですか、そんなこと?
 O1886. ほんまに{あんの/ あるんか}、{そんなん/ そんなこと}。
 J1887. その家はずっと前になくなってしまった。
 O1887. その家やったら、だいぶ前にのうなつてもたわ。
 J1888. それはむすこが作ったのです。
 O1888. それはむすこが作ったんや。
 J1889. 火事で工場が丸焼けになった。
 O1889. 火事で工場が丸焼けになった。
 J1890. だいじにとっておきなさい。
 O1890. 大事にとときや。
 J1891. この辺は土地がよく肥えているからです。
 O1891. この辺は土地がよく肥えてるからや。
 J1892. ここからはまるっきり何も取れません。

O1892. こっから{ほんまになん (に) も/ まるっきりなにも}取れへんわ。

141.関係

J1893. でもねえ、きみの知ったことじゃないだろう？

O1893. でもなあ、お前の知ったこっちゃないやろ。

J1894. なるほどそのとおりでが、絶対そうだとも言えないよ。

O1894. 確かにそのとおりでけど、必ずしもそう (や) とは言われへんのんとちゃうか。

J1895. あんまり絶対的な断定をしすぎよ。

O1895. めちゃくちゃ絶対的な断定をしすぎやな。

J1896. じかに会って聞いてごらんよ。

O1896. じかに会うて聞いてみたらええやん。

J1897. 遠回しに探りを入れてきた。

O1897. 遠回しに探り入れて{きおった/ きた}。

J1898. もっと具体的に言うてみてくださいませんか。

O1898. もうちょい具体的に言うてくれへんか。

J1899. 内容があまり抽象的でだれにもわからない。

O1899. 内容があまりにも抽象的で、だれもわからへん。

J1900. そんなこと、ありっこないさ。

O1900. そんなん、あるわけないやろ。

142.状態と行動

J1901. 考えが変わらなければ、あす出かけていきますよ。

O1901. 考えが変わらんかったら、あす出かけるよ。

J1902. 性質のほうはやっぱり変わらないね。

O1902. 性質はやっぱり変わらん。

J1903. まっかになっておこった。

O1903. 真っ赤になって怒った。

J1904. こんなあんばいなら、相当はかがいきましょうね。

- O1904. {この調子/ こんなん}やったら、相当はかどる（やろ）なあ。²⁹
- J1905. この国が衰えていったのもそういうわけなんだ。
- O1905. この国が衰えていったんもそういうわけなんや。
- J1906. いつ起こったの、その事件？
- O1906. いつ起こったん、その事件。
- J1907. 道に行き倒れていたんです。
- O1907. 道に行き倒れになっとった。
- J1908. あいにく今のところ形勢が芳しくないんだ。
- O1908. なんやろ、今んとこ形勢が{芳しく/ よく/ よう}ないわ。
- J1909. くるくる意見の変わる男だな。
- O1909. ころころ意見が変わる男やな。
- J1910. 決心がついた。何と言ったって変わらないぞ。
- O1910. 決めた。何言うても変えへんから。
- J1911. この色はもうはやらないって話だよ。
- O1911. この色はもうはやらんらしいで。
- J1912. さしあたってできることはこのくらいのことですね。
- O1912. とりあえずできることはこれぐらいやないか。
- J1913. もう出かけることは決まっているんだ。
- O1913. もう出かけることは決まってるんや。

143.交替

- J1914. へやを取り替えたほうがいいでしょう。
- O1914. 部屋を取り替えたほうがええやろ。
- J1915. すいませんですが、おさしつかえなかったら場所を代わっていただけませんか。
- O1915. すいません。ほんまさしつかえないようでしたら、場所代わってもらえませんか。
- J1916. あの人の代わりに行ったらどう？
- O1916. あの人の代わりに行ったらどうや。

²⁹ 「はかがいく」が使用語彙ではない。

J1917. 青だか黒だかよくわからないな。

O1917. 青か黒かようわからんな。

J1918. やめてしまえと言う者もあるし、続けろと言う者もある。

O1918. やめて(し)まえという奴もいてるし、続けたらという奴も{いてる/おる}。

J1919. 降ったり照ったり、おかしい天気だ。

O1919. 雨降ったり晴れたり、変な天気や。

J1920. もっとお互いに助け合わなければいけないよ。

O1920. もうちょいお互い助け合わなあかんで。

144.強さ

J1921. 電力がどのくらいだか知らないね。

O1921. 電力がどのくらいやか知らんわ。

J1922. (A)風は強い?—

O1922. (A)風強い?—

J1923. (B)風は弱いよ。

O1923. (B)風弱いで。

J1924. (A)この生地はじょうぶですか。—(B)ええ、じょうぶですとも。よくもちますよ。

O1924. (A)この生地丈夫か。—(B)うん、丈夫やで。ようもつんちゃう。

J1925. こりゃあこわれそうな花瓶んだね。

O1925. こら壊れそうな花瓶やな。

J1926. とてもひどい風だ……、見合わせたらどう?

O1926. かなりひどい風や……、見合わせたらどないや。

J1927. 強すぎず、弱すぎず、ちょうどいい風だぞ。

O1927. 強すぎず、弱すぎず、ちょうどええ風やな。

145.因果関係

J1928. 事故の原因はわからない。

O1928. 事故の原因はわからん。

J1929. 言わないこっちゃない、だからこんなことになったのさ。

O1929. 言わんこっちゃない、そやからこんなことになんねん。

J1930. けちんぼだから、みんなにきらわれるんだ。

O1930. けちやから、みんなにきらわれんねん。

J1931. ごきげんが悪いと思ったら、そのせいなんだな。

O1931. 機嫌が悪いと思たら、そのせいなんか。

J1932. このことではずいぶん迷惑した。

O1932. この件ではかなり迷惑した。

146. 目的

J1933. うまいぞ！ いい手が見つかった。

O1933. {よっしゃ/ よし}。ええ手が見つかった。

J1934. うそをついてうまく切り抜けた。

O1934. うそついてうまいこと切り抜けた。

J1935. 教え方がとてもうまい。

O1935. 教え方が{けっこう/ めちゃくちゃ}うまい。

J1936. わたしの生涯の目的は音楽です。

O1936. 私の生涯の目的は音楽です。

J1937. 遅れないように早く出かけた。

O1937. 遅れへんようにはよ出かけた。

J1938. [犬]逃げないようにつないでおいた。

O1938. 逃げへんようにつないどいた。

J1939. この計画は実行できそうもない。

O1939. この計画は実行{でけへんのんとちゃうん/ できそうにない}。

J1940. 必要なしたくはぼくがしておこう。

O1940. 必要な準備はおれがしとくわ。

J1941. 旅行の用意はできましたか。

O1941. 旅行の準備はできたんか。

J1942. ちょっとその気になってみたが、すぐ投げ出してしまった。

O1942. ちょっとだけその気になってやってみたんやけど、すぐ投げ出してしもた。

J1943. とてもやさしいってば！ だれにだってできるよ。

- O1943. めっちゃ簡単やて。だれでもできるわ。
 J1944. こんなにむずかしいなんて思いも寄らなかった。
 O1944. こんなにむずかしいて{思てもなかった/ 思いもせんかった}わ。
 J1945. しごく簡単で、とても便利な方法です。
 O1945. ほんま簡単で、めっちゃ便利や方法やから。
 J1946. (A)あんまり使いやすくないね。—(B)ないよりましさ。
 O1946. (A)あんまり使いやすくないなあ。 —(B)ないよりましやろ。
 J1947. 遠足がうまくいくかどうかはお天気しただい。
 O1947. 遠足がどうなるかは天気しだいやな。
 J1948. [就職]またしくじった。きびしい世の中になったもんだな。
 O1948. また失敗した。きびしい世の中やなあ。

147. 假定・帰結

- J1949. 雨が降ったらどうする？
 O1949. 雨降ったらどうする？
 J1950. たとえできても、したくないんだ。
 O1950. かりにできたとしても、やりたくないねん。
 J1951. もし落っこちたとしたら。
 O1951. もし落ちたとしたら。
 J1952. 場合によりけりだ。
 O1952. 場合によりけりや。
 J1953. [授業]待ち時間が多すぎなければ、お引き受けします。
 O1953. あんまり待たんでええのんやったら、引き受けるわ。// 待ち時間がそんなになんやったら、お引き受けします。
 J1954. そういう条件では応じかねます。
 O1954. そういう条件やったら{無理やなあ/ 引き受けられへんわ}。
 J1955. いっしょうけんめいやらないと、お目玉だぞ。
 O1955. {ちゃんと/ いっしょうけんめい}やらんと、怒られるぞ。
 J1956. わたしの言ったとおりにさえすれば、きつとうまくいくよ。
 O1956. 私の言うとおりにしたら、{ええようになるから/ 必ずうまいこといくよ}。

148.論理的様態

- J1957. (A)まあ、できない相談じゃないけど……—(B)ええ、そうですとも。
 O1957. (A)まあ、{できない/ でけへん}相談やないとは思うけど。 —(B)そやろ。
- J1958. そんなこと言ったって無理ですよ。
 O1958. そんなこと言うたって無理やろ。
- J1959. (A)あなたをおいて、ほかにやれる人がないんだよ。 —
 O1959. (A){あんた/ 君}をおいて、ほかにやれる人がおらんのよ。 —
- J1960. (B)むずかしすぎて、ほんとにぼくにはできないよ。 —
 O1960. (B)むずかしすぎて、ほんま俺にはでけへんわ。 —
- J1961. (A)どうしても行かなければならないんだよ。
 O1961. (A)どうしても行かなあかんねん。
- J1962. きょうみんなやっつてしまわなくてもいいんだよ、もちろん。
 O1962. 今日全部やっつてしまわんでもええんやで。ほんまに。
- J1963. ほんの偶然にすぎないんだよ。
 O1963. 偶然ちゃうの。
- J1964. そうなるのが運命だったんだ。
 O1964. そう{なんのん/ なるん}が運命やったんや。

149.一致・不一致

- J1965. まるでウリ二つだ。
 O1965. ほんま{そっくり/ ウリ二つ}やなあ。
- J1966. すぐ違いに気がついた。
 O1966. すぐに違いに気一ついた。
- J1967. よくわかります。実はわたしも同じ考えなのです。
 O1967. ようわかるわ。私もおんなじ考えなんで。
- J1968. どうもそれよりほかしかたないな。
 O1968. そうせんとは{しかたない/ しゃあない}かなあ。// それ以外ないなあ。
 // そうする以外ないなあ。
- J1969. まったく同じものです。

O1969. まったく同じもんです。

J1970. ほかに見るものもないんじゃない？

O1970. ほかに見るものないんじゃないの。

J1971. (A)ほんとに、もう一度行って、鈴木さんにじかに会ったほうがいいんじゃない？ —

O1971. (A)ほんま、もう 1 回行って、鈴木さんにじかに会うたほうがええんとちゃうの。 —

J1972. (B)いや、あの人じゃなくて、だれかほかの人がそう言ったんだよ。

O1972. (B)いや、あの人やのうて、だれかほかの人がそない言うたんちゃうの。

J1973. 相変わらず同じところに住んでいるんですか。

O1973. 相変わらずおんなじとこに住んでるん？

J1974. めったによそへは行きません。

O1974. めったによそには行きません。

J1975. 出がけに郵便配達 came。

O1975. 出がけに郵便やさん came。

J1976. この次にはもっとうまくいくといいですね。

O1976. この次もっとうまくいったらええな。

J1977. まったく変化のない景色だね。

O1977. まったく変わらん景色やな。

J1978. この音楽は変化に富んでいる。

O1978. この音楽は変化に富んでる。

J1979. ぼくのなくしたかぎに間違いありません。

O1979. 私がなくした鍵で間違いはないわ。

J1980. 兄弟だけど、まるで逆の性質だね。

O1980. 兄弟やけど、まったく反対の性格やな。

J1981. さあ、わたしのまねをしなさい。

O1981. そしたら、私のまねしてみ。

J1982. ここに見本があるんだけど、このとおりのものが作れますか。

O1982. ここに見本あるけど、このとおりに作れる？

J1983. こういうことは、比べることができないんだよ。

O1983. こういうのんは、比べられへんなあ。

J1984. 金こそあるが、幸福ではない。

O1984. 金はあるけど、{幸せ/ 幸福}やない (わ)。

J1985. こないだのきみの話のとおりだね。

O1985. こないだの君の話のとおりやな。

J1986. この緑とこの青じゃあ、合わないね。

O1986. この緑とこの青やと、合わへんなあ。

150. 定・不定

J1987. 例の手紙、来たよ。

O1987. 例の手紙、来たで。

J1988. 手紙が来てるよ。

O1988. 手紙来てるで。

J1989. 正確にやらなければ、何度やったって、いい結果は出ないよ。

O1989. ちゃんとやらんと、何回やっても、ええ結果は出へんで。

J1990. だいたいそんなところさ。

O1990. だいたいそんなとこやな。

J1991. とてもはっきり覚えている。

O1991. すごくはっきり覚えてる。

J1992. ええ、ぼんやり覚えてます。

O1992. はい、ぼんやり覚えてます。

J1993. わたしに何か来てますか。

O1993. 私になんか来てる？

J1994. だれか来ましたか。

O1994. 誰か来た (ん) (か) ?

J1995. どこかでぼくのめがねを見なかった？

O1995. どっかでおれのめがね、見んかった？

J1996. 暇になったら、一度伺いましょう。

O1996. 暇になったら、{1 回/ いっぺん}行きますわ。

J1997. 今晚 5 時ごろにもう一度伺います。

O1997. 夕方の 5 時ごろにもう {1 回/ いっぺん}行きます。

J1998. あったら、少しくれよ。

O1998. あるんやったら、ちょっとちょうだい。

J1999. 50 人ほど来ていた。

O1999. 50 人ぐらい来てた。

J2000. 道が急に曲がっているところがあるんだ。

O2000. 道が急に曲がってるとこあるんや。

4 おわりに

本稿ではまだ詳細な分析を行っていない。また、原文に対して、今以上の複数訳がありうる。よって、修正個所が今後出てくる可能性があり、それらに関してまだまだ検討の余地がある。さまざまな研究分野でここでの文例を引用し分析していただき、フィードバックしていただけると幸甚である。

【参考文献】

Frei, Henri (1953) *Le livre des deux mille phrases*. Genève: Droz.

フレ, アンリ (1971) 『日本語二千文』早稲田大学語学教育研究所

岡村隆博・沢木幹栄・中島由美・福嶋秩子・菊池聡 (2006) 『徳之島方言二千文辞典』信州大学人文学部

The 2000 sentences of the Osaka dialect

Takahiro FUKUMORI

This paper is a corpus of the Osaka dialect based on *Le livre des deux mille phrases* (Frei 1953). The book is a dictionary of sentences presenting 2,000 vocabulary items as indices and an example sentence for each headword. It is an attempt to identify differences between not only vocabularies but contexts. It was published to verify differences between languages by translating the sample sentences into other languages.

The translated versions of the book include *Nihongo nisenbun*, which was published in 1971. The author of this thesis – an Osaka native – translated the 2,000 sample sentences in common Japanese presented in *Nihongo nisenbun* into the Osaka dialect. While large-scale corpora have become the mainstream as digital devices develop, the 2,000-sentence corpus provides consistent standards for sample sentences. Therefore, the author of the thesis chose the 2,000-sentence corpus so that it is easier to compare translations for different dialects. Additionally, it is presumed that comparable materials should not only be in common Japanese (which is based on the Tokyo dialect) but also the Osaka dialect for the future when a 2,000-sentence corpus is organized for a dialect that does not have a large-scale corpus.

Faculty of Foreign Languages

Daito Bunka University

1-9-1 Takashimadaira, Itabashi, Tokyo 175-8571, Japan

E-mail: ICG01649@nifty.com